

令和 4 年度

# 業 務 年 報

令和 5 年 3 月

鳥 取 県 病 害 虫 防 除 所

# 目 次

## I 病害虫防除所の概要

1 組織・業務体制の変遷	1
2 業務内容	2
3 組織・人員	
(1) 職員	2
(2) 病害虫発生状況調査員	3
(3) 病害虫防除所及び関係機関の体制	4

## II 病害虫発生予察事業

1 事業の目的	5
2 事業実施方針	5
3 対象病害虫の種類	5
4 発生予察情報の種類と用語の使用法	7
5 令和4年度に発表した情報	
(1) 発表状況	9
(2) 内 容	
ア 警 報	10
イ 注意報	10
ウ 特殊報	21
エ 発生予報	22
オ 指導情報	24
カ ホームページのアクセス件数、更新回数	26
(3) 情報の発送先とその伝達手段	27
(4) 情報発信の流れ図	28
6 普通作物病害虫の発生予察調査結果	
(1) 主な普通作物病害虫の発生程度別面積	29
(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	31
(3) 調査の概要と結果	
ア イ ネ	35
イ ムギ類 (二条オオムギ)	55
ウ ダイズ	57

7	果樹病害虫の発生予察調査結果	
(1)	主な果樹病害虫の発生程度別面積	62
(2)	主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	63
(3)	調査の概要と結果	
	ア ナシ	65
	イ ブドウ	79
	ウ カキ	81
8	野菜病害虫の発生予察調査結果	
(1)	主な野菜病害虫の発生程度別面積	84
(2)	主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	86
(3)	調査の概要と結果	
	ア スイカ	92
	イ キャベツ	94
	ウ ブロッコリー	97
	エ ネギ	100
	オ イチゴ	104
	カ ナガイモ	105
	キ ラッキョウ	105
	ク サトイモ	106
	ケ トマト	107
Ⅲ	ミバエ類等侵入警戒調査事業	108
付表	令和4年半旬別気象表	
1	鳥取市（鳥取地方気象台）	109
2	北栄町（園芸試験場）	111
	本業務年報中の表における注意事項	113

# I 病虫害防除所の概要

## 1 組織・業務体制の変遷

- ・昭和 16 年： 昭和 15 年の北日本のいもち病、西日本のウンカによる被害を発端として、普通作物病虫害発生予察事業を全国で開始
- ・昭和 25 年： 植物防疫法制定
- ・昭和 26 年： 植物防疫法の一部改正
  - ・指定病虫害、指定外病虫害を規定
- ・昭和 27 年： 植物防疫法に基づき病虫害発生予察事業開始  
県内 8 か所（鳥取、岩美、気高、八頭、東伯、西伯、米子、日野）に病虫害防除所設置
- ・昭和 40 年： 果樹等病虫害発生予察事業開始  
普通作物病虫害発生予察事業実施要綱の制定
  - ・県予察員、地区予察員の設置
- ・昭和 41 年： 県内 5 か所（鳥取、八頭、倉吉、米子、日野）に病虫害防除所を統合
- ・昭和 51 年： 県内 3 か所（鳥取、倉吉、米子）に病虫害防除所専任職員配置  
（昭和 49 年の斑点米カメムシ類被害により、発生予察体制の強化）
- ・昭和 55 年： 野菜病虫害発生予察事業開始
- ・昭和 60 年： 植物防疫法一部改正により、指定病虫害発生予察事業補助金の一部交付金化
  - ・病虫害防除所の設置形態、名称、事業内容の規定
  - ・発生予察情報の提供責任者を原則として病虫害防除所に規定  
（水稻病虫害に係る警報については、都道府県主管部長に限る）
  - 植物防疫事業実施要項及び同運用の制定
  - 植物防疫推進事業実施要領及び同運用の制定
  - ・県予察員、地区予察員の名称区分廃止
- ・昭和 61 年： 県内 5 か所の病虫害防除所を統合し、鳥取市橋本に鳥取県病虫害防除所を設置
- ・平成 4 年： 県農業共済組合連合会からの依頼に基づき、県農業共済組合職員 25 人を病虫害防除員に委嘱
- ・平成 9 年： 植物防疫情報総合ネットワーク（J P P-N E T）の本格稼働により J P P-N E T へ予察データの送信開始  
アメダスデータ（気温、降水量、日照時間、風速）利用による、水稻いもち病発生予察システム（B L A S T A M）の稼働開始

- ・平成10年： 花き病虫害発生予察事業開始
- ・平成12年： 病虫害防除所のホームページを開設
- ・平成15年： 植物防疫法の一部改正  
植物防疫事業交付金の一部を一般財源化  
食品安全基本法の制定  
農林水産省消費・安全局の設置  
農薬取り締まり業務を県農林水産部から県生活環境部へ移管
- ・平成16年： 病虫害防除所のインターネット利用者に対する予報情報のメール配信の開始
- ・平成20年： 鳥取県農林総合研究所農業試験場内に、病虫害防除所を設置  
農業試験場・園芸試験場環境研究室の研究員が兼務する体制となる。
- ・平成23年： 病虫害防除員を休止
- ・平成26年： 農林総合研究所の廃止による再編に伴い、再び農業試験場内に病虫害防除所を設置(農業試験場・園芸試験場環境研究室の研究員が兼務する体制は継続)
- ・令和2年： 次長職（園芸試験場長が兼務）を新たに設置

## 2 業務内容

- (1) 発生予察事業に関する事務
- (2) 植物の検疫に関する事務
- (3) 防除についての企画に関する事務
- (4) その他防除に関する事務
- (5) 農薬の使用等に関する助言、指導、その他の援助

## 3 組織・人員

### (1) 職員

職名	氏名	担当作物
所長	坂東 悟	本務：農業試験場
次長	八田 辰也	本務：園芸試験場
課長	岩下 由紀子	本務：農業試験場
補佐	香河 良行	本務：〃
係長	米村 善栄	本務：園芸試験場
農林技師	山田 剛	普通作物（本務：農業試験場）
	鶴田 博人	普通作物（本務：〃）
	田中 陽子	野菜（本務：園芸試験場）
	宇山 啓太	普通作物（本務：農業試験場）
	藤原 更紗	普通作物（本務：〃）
	山田 高之	果樹（本務：園芸試験場）
	古井 佑樹	果樹（本務：〃）
	岩田 侑香里	野菜（本務：〃）
	鈴木 木祐	野菜（本務：〃）

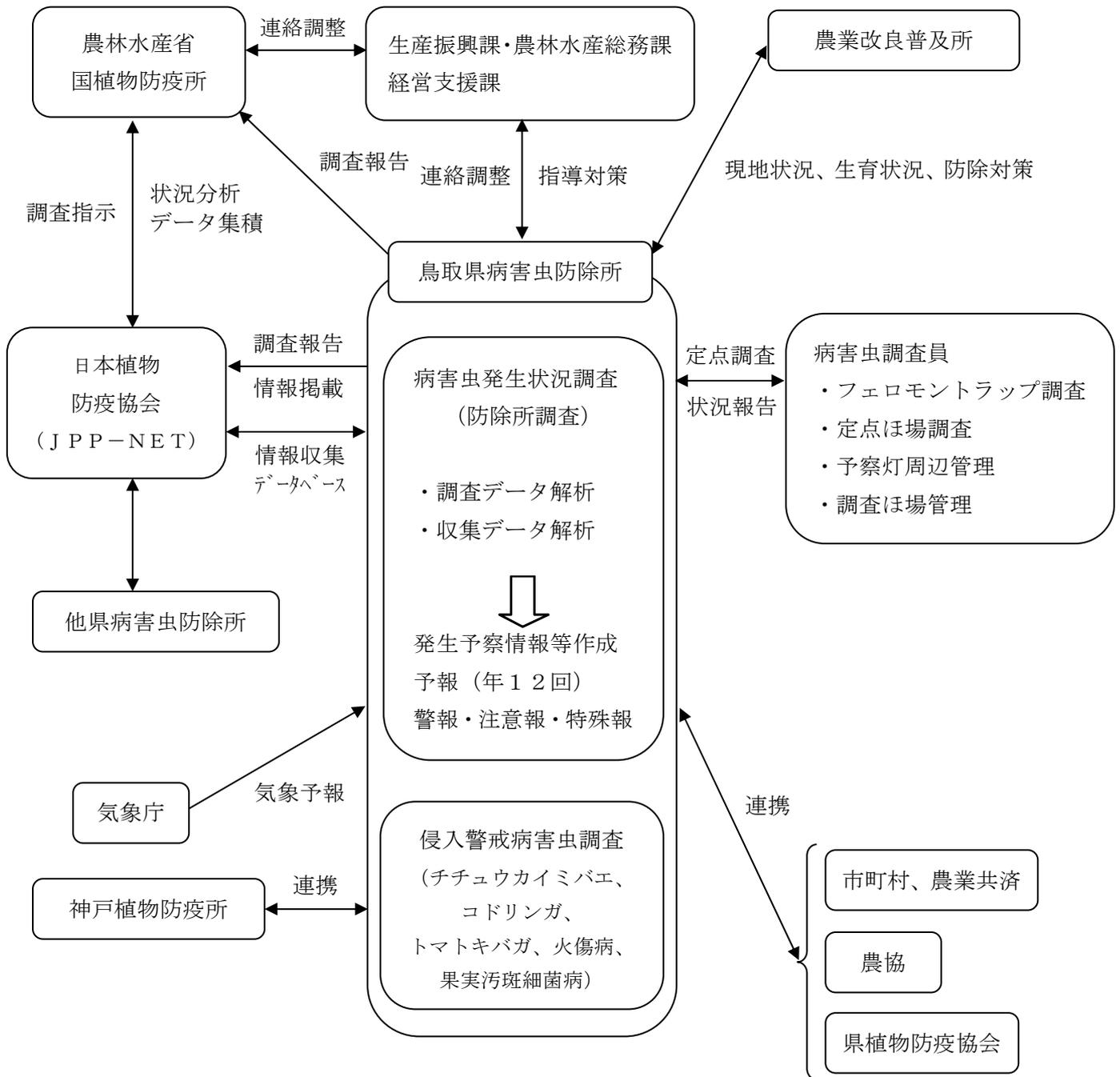
## (2) 病害虫発生状況調査ほ調査員

防除所職員でカバーしきれない調査、予察灯管理等について、補完的業務を行うために設置。調査並びに調査ほの管理については調査員が行う。

区 分	調 査 地 点	対 象 病 害 虫	備 考
普通作	岩美郡岩美町牧谷	イネ害虫	予察灯設置
	東伯郡琴浦町光好	〃	〃
	西伯郡日吉津村富吉	〃	〃
	東伯郡北栄町大谷	ニカメイガ (イネ)	フェロモントラップ調査
	東伯郡琴浦町下大江※	斑点米カメムシ類 (イネ)	〃
	鳥取市河原町和奈見	ハスモンヨトウ (ダイズ)	〃
果 樹	八頭郡八頭町池田	ナシ病害虫	観察・フェロモントラップ調査
	東伯郡湯梨浜町北福	〃	〃
	鳥取市福部町湯山	ナシ害虫	フェロモントラップ調査
	八頭郡八頭町花原	〃	予察灯設置
	東伯郡湯梨浜町別所	〃	〃
野 菜	倉吉市下米積	コナガ (キャベツ)	フェロモントラップ調査
	西伯郡大山町下甲	ハスモンヨトウ、コナガ (ブロッコリー)	〃
	倉吉市沢谷	イチゴ病害虫	観察
	東伯郡湯梨浜町橋津	〃	〃
	東伯郡湯梨浜町はわい長瀬	〃	〃
	米子市夜見町	シロイチモジヨトウ(ネギ)	フェロモントラップ調査

※ 調査員の体調不良により、調査は未実施

### (3) 病虫害防除所及び関係機関の体制



## Ⅱ 病虫害発生予察事業

### 1 事業の目的

農業生産の安定を確保し、生産物の品質を向上させるためには農作物の有害動植物の防除を適期に経済的に行う必要がある。そのため、有害動植物の繁殖、気象、農作物の生育状況などを調査して、その発育と損害を予察し、これに基づく情報を関係者に広く提供し、効率的な防除に資するとともに、農作物の有害動植物による損害を未然に防止することを目的とする。

### 2 事業実施方針

発生予察実施要綱並びに要領に基づき普通作物、果樹、野菜の発生予察に必要な基礎調査と発生状況の把握を行い、的確な予察情報の提供に務める。

### 3 対象病虫害の種類

#### (1) 植物防疫法における指定有害動植物等の根拠規定

##### ア 指定有害動植物（指定病虫害）

植物防疫法第22条の規定に基づく病虫害  
(鳥取県の該当は農作物12作目、対象病虫害60種類)

##### イ 指定有害動植物以外の有害動植物（重要病虫害）

植物防疫法第31条の規定に基づく病虫害  
(鳥取県の該当は農作物12作目、対象病虫害52種類)

#### (2) 対象病虫害一覧表

区分	対象作物	指定病虫害	重要病虫害
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、ばか苗病、縞葉枯病、もみ枯細菌病、ニカメイガ、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカ、フタオビコヤガ、コブノメイガ、トビイロウンカ、セジロウンカ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ	ごま葉枯病、苗立枯病、心枯線虫病、イチモンジセセリ
	ムギ	うどんこ病、赤かび病	黒穂病、斑葉病、黒節病、網斑病
	ダイズ	吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウ	紫斑病、モザイク病、子実害虫類（シロイチモジマダラメイガ、マメシクイガ）

区分	対象作物	指定病虫害	重要病虫害
果樹	ナシ	黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カメムシ類、ハダニ類、アブラムシ類	赤星病、うどんこ病、輪紋病、ニセナシサビダニ、コナカイガラムシ類（クワコナカイガラムシ、マツモトコナカイガラムシ）
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、アザミウマ類、カイガラムシ類、カメムシ類、ハマキムシ類	うどんこ病、灰色かび病、樹幹害虫（ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ）
	ブドウ	灰色かび病、晩腐病、べと病	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、ハマキムシ類
野菜	スイカ	アブラムシ類	つる枯病、炭疽病、疫病、うどんこ病、菌核病、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）
	キャベツ	黒腐病、菌核病、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ、コナガ、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	軟腐病、べと病、黒斑細菌病、モンシロチョウ、タマナギンウワバ
	ブロッコリー	コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ	軟腐病、黒腐病、べと病、黒すす病、アブラムシ類、モンシロチョウ、タマナギンウワバ
	ネギ	黒斑病、さび病、べと病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、シロイチモジヨトウ	萎縮病、軟腐病、白絹病、萎ちょう病、ネギハモグリバエ
	イチゴ	炭疽病、うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類	
	ナガイモ	シロイチモジヨトウ	炭疽病、ナガイモコガ、カンザワハダニ
	ラッキョウ		白色疫病、灰色かび病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ

## 4 発生予察情報の種類と用語の使用法

### (1) 根拠法令等

#### ア 発生予察情報の種類

植物防疫事業の運用について（平成18年4月7日17消安第12412号）

#### イ 用語の基準とその使用法

発生予察事業の調査実施基準（病虫害発生予察資料8 病虫害発生予察事業の実施について 平成13年3月 農林水産省生産局植物防疫課発行）

### (2) 発生予察情報の種類

**ア 発生予報：**有害動植物の発生予想を定期的に発表するものとする。発表の時期及び回数については、農作物、有害動植物の性質等の考慮のうえ、防除に有効に利用されるよう定めるものとする。記載事項は、有害動植物名、有害動植物の発生時期、発生面積、発生程度、発生地域及びそれらの平年比、前年比、予報の根拠の概要、防除上注意すべき事項（防除の要否、回数、防除時期、使用薬剤等）、その他必要な事項とする。

**イ 警報：**重要な有害動植物が大発生することが予想され、かつ早急に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表するものとする。記載事項は、有害動植物名、発生の予想される地域及び時期、発生程度、防除時期及び防除法、その他必要な事項とする。

**ウ 注意報：**警報を発表するほどではないが、重要な有害動植物が多発することが予想され、かつ早目に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表するものとする。記載事項は、有害動植物名、発生の予想される地域及び時期、発生程度、防除時期及び防除法、その他必要な事項とする。

**エ 特殊報：**新規に有害動植物を発見した場合、重要な有害動植物の生態及び発生消長に特異な現象が認められた場合に速やかに発表するものとする。記載にあたっては、その内容により問題の重要性、意義等につき解説を加えるよう配慮するものとする。

### (3) 用語の定義とその使用法

**ア 発生面積：**発生の認められるほ場の面積をいう。ただし、ここでいう発生とは、病害の場合には農作物に肉眼で認められる病徴の出現した状態のことをいい、害虫の場合にはほ場に生息している状態のことをいう。

**イ 発生量：**発生の程度と広がり両面を加味したものをいい、数値で（例えば、単位面積当たりの虫数）、又は（4）のイの（イ）のように表現する。

#### (4) 用語の基準とその使用法

##### ア 平年値

###### (ア) 気象上の観測値

気象庁では過去 30 年の観測値の平滑平年値をとっているため、これに準ずる。  
30 年の資料がない場合には、全観測値の平均を平年値とする。

###### (イ) 病害虫の発生時期、発生量、発生面積

原則として、過去 10 か年の平均とする。

###### (ウ) 農作物の生育時期

原則として、過去 5 か年の平均とする。

##### イ 平年値との比較

###### (ア) 時 期

平 年 並	平年値を中心として前後 2 日以内。
やや早い	平年値より 3～5 日早い。
やや遅い	平年値より 3～5 日遅い。
早 い	平年値より 6 日以上早い。
遅 い	平年値より 6 日以上遅い。

###### (イ) 量（発生量、発生面積及び被害量等）

平 年 並	平年値を中心にして 40% の度数の入る幅
やや多い	平年並の外側 20% の度数の入る幅
やや少ない	同 上
多 い	上記三者の外側 10% の度数の入る幅
少 ない	同 上

##### ウ 半旬のとり方

半旬については、暦日半旬を用いるものとする。

##### エ 発生程度別基準

発生程度は、甚、多、中、少、無の 5 段階に分ける。この基準は各論で病害虫ごとに定める。

## 5 令和4年度に発表した情報

### (1) 発表状況

種 類	発表回数	対 象 病 害 虫 及 び 回 数
警 報	発表なし	
注意報	5回	[ネギ] ベと病 [ナシ] 黒星病 [果樹全般] カメムシ類 [ブロッコリー] 黒すす病 [カキ] 炭疽病
特殊報	発表なし	
予 報	12回	[イネ] 葉いもち3回、穂いもち3回、紋枯病3回、苗立枯病2回、 ばか苗病3回、イネシンガレセンチュウ2回、縞葉枯病(ヒメトビ ウンカ)3回、斑点米カメムシ類3回、イネミズゾウムシ3回、セ ジロウンカ2回、トビイロウンカ2回、コブノメイガ1回、フタ オビコヤガ2回 [オオムギ] 赤かび病1回、うどんこ病1回、網斑病1回 [ダイズ] 紫斑病2回、カメムシ類2回、ハスモンヨトウ3回 [ナシ] 黒斑病8回、黒星病7回、赤星病2回、輪紋病2回、ハダニ 類7回、カメムシ類3回、クワコナカイガラムシ2回、アブラム シ類2回、ニセナシサビダニ2回、シンクイムシ類5回 [カキ] 落葉病1回、炭疽病5回、うどんこ病1回、灰色かび病 1回、カキノヘタムシガ2回、樹幹害虫(ヒメコスカシバ・フタ モンマダラメイガ)2回 [ブドウ] ベと病4回、灰色かび病1回、チャノキイロアザミウマ 2回、ハマキムシ類2回 [果樹共通] カメムシ類5回 [ネギ] さび病5回、黒斑病5回、軟腐病3回、ベと病5回、白絹病 3回、ネギハモグリバエ7回、ネギアザミウマ6回、シロイチモ ジヨトウ2回 [ネギ・ナガイモ] シロイチモジヨトウ2回 [スイカ] つる枯病2回、うどんこ病4回、菌核病2回、褐色腐敗病 ・疫病1回、つる枯病・炭疽病2回、アブラムシ類3回、ハダニ 類3回 [スイカ・メロン] アブラムシ類2回、ハダニ類1回 [ナガイモ] 炭疽病3回、ナガイモコガ2回、ハダニ類2回、シロイ チモジヨトウ1回 [ラッキョウ] 灰色かび病1回、白色疫病3回 [イチゴ] うどんこ病3回、灰色かび病1回、炭疽病2回、アブラム シ類2回、ハダニ類2回 [キャベツ・ブロッコリー・イチゴ] ハスモンヨトウ2回 [キャベツ・ブロッコリー] 軟腐病2回、黒腐病2回、ベと病2回、 黒すす病2回、コナガ2回、ヨトウムシ1回、ハスモンヨトウ 2回、アブラムシ類2回 [ブロッコリー] コナガ1回

## (2) 内 容

### ア. 警 報

発表なし

### イ. 注意報

令和4年度病害虫発生予察注意報第1号（令和4年5月27日）
-------------------------------

#### 注意報の概要

県西部の砂畑ほ場において、べと病の発生が増加している。今後の気象条件によっては、急激に発病が増加する恐れがあるため、防除の徹底が必要である。

病害虫名：ネギべと病

- 1 対象作物 ネギ
- 2 発生地域 県西部
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い

#### 5 注意報発令の根拠

- (1) 本年の現地白ネギほ場におけるべと病の発生時期は平年並である。
- (2) 県西部（現地調査ほ場）における5月24日現在の平均発病株率は18.0%（平年4.4%）で平年と比較して高い（表1）。
- (3) 5月25日現在、県東部と中部の現地調査ほ場における本病の発生は確認されなかった（表1）。
- (4) 向こう1か月の気象予報では、本病にやや好適な条件であり、引き続き発病の増加が見込まれる。

#### 6 防除上注意すべき事項

- (1) 発病後のまん延が早いため、発病前からの防除に努める。
- (2) 登録薬剤は、表2に示すとおり。
- (3) 同一成分を含む薬剤は連用しない。また、成分ごとの総使用回数及び使用時期（収穫前日数）に注意して薬剤を選定する（表3）。

表1 県白ネギほ場におけるべと病の発生状況（5月24、25日調査）

地 点	調査ほ場数	発生ほ場数	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)
境港市	5	4	80.0	32.0
米子市	5	2	40.0	4.0
県西部全体	10	6	60.0 (19.0)	18.0 (4.4)
県東部	10	0	0	0
県中部	10	0	0	0

※調査対象は、県西部調査ほ場が春ネギ及び夏ネギ、県東部及び中部調査ほ場が秋冬ネギ

※（ ）内の数値はH24年～R3年の5月下旬における平年値

表2 ネギベと病の主な防除薬剤（令和4年5月26日現在の農薬登録内容）

薬剤名	希釈倍率	使用時期	本剤の使用回数	成分(FRACコード)	
アリエッティ水和剤	800倍	収穫3日前まで	3回以内	ホセチル(P07)	
アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前まで	4回以内	アゾキシストロビン(11)	
オロンディスウルトラSC	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	オキサチアピプロリン(49)	マンジプロパミド(40)
カーニバル水和剤	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	ジメモルフ(40)	TPN(M05)
ザンプロDMフロアブル	1500～2000倍	収穫14日前まで	3回以内	ジメモルフ(40)	アメクトラジン(45)
シグナムWDG	1500倍	収穫7日前まで	3回以内	ピラクロストロビン(11)	ボスカリド(7)
ジマンダイセン水和剤	600倍	収穫14日前まで	3回以内	マンゼブ(M03)	
ピシロックフロアブル	1000倍	収穫前日まで	3回以内	ピカルブトラゾクス(U17)	
フェスティバルC水和剤	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	ジメモルフ(40)	銅(M01)
フォリオゴールド	800～1000倍	収穫14日前まで	3回以内	メタラキシルM(4)	TPN(M05)
プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	ベンチアバリカルブイソプロピル(40)	TPN(M05)
ペンコゼブフロアブル	500～600倍	収穫14日前まで	3回以内	マンゼブ(M03)	
ランマンフロアブル	2000倍	収穫3日前まで	4回以内	シアゾファミド(21)	
リドミルゴールドMZ	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	メタラキシルM(4)	マンゼブ(M03)
レーバスフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	マンジプロパミド(40)	

表3 成分ごとの総使用回数（令和4年5月26日現在の農薬登録内容）

成分名	総使用回数
アゾキシストロビン	5回以内(粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)
アメクトラジン	3回以内
オキサチアピプロリン	2回以内
シアゾファミド	4回以内
ジメモルフ	3回以内
TPN	4回以内(土壌灌注は1回以内、散布は3回以内)
銅	—
ピカルブトラゾクス	3回以内
ピラクロストロビン	3回以内
ベンチアバリカルブイソプロピル	3回以内
ホセチル	3回以内
ボスカリド	3回以内
マンジプロパミド	2回以内
マンゼブ	3回以内
メタラキシルM	5回以内(種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内、散布は3回以内)

## 令和4年度病害虫発生予察注意報第2号（令和4年6月2日）

### 注意報の概要

本年は4月中～下旬の孢子飛散量が平年に比べて多く、5月下旬現在、それらの影響と考えられるナシ黒星病の病斑が認められている。今後、本病の発生に好適な条件になることが見込まれ、‘新甘泉’や‘幸水’等では袋掛け前の感染により収穫果の被害発生が懸念されるため、防除を徹底する必要がある。

病害虫名：ナシ黒星病

1 対象作物 ニホンナシ

2 発生地域 県下全域

3 発生時期 平年並

4 発生量 多い

5 注意報発令の根拠

- (1) 本年の4～5月におけるナシ黒星病の子のう孢子及び分生子の飛散推移は、本病の発生の助長要因である（表1）。
- (2) 一部の地域において、発生量の多い園が認められている。また、5月中旬に実施した県内13地点の巡回調査の結果、複数の園で発生が認められた。
- (3) 中国地方では、6月5日以降、かなりの低温になると予想されている（5月30日、広島地方気象台発表）。
- (4) 向こう1か月の気象予報（5月26日発表）から、今後、ナシ黒星病の発生に好適な条件になると考えられる。

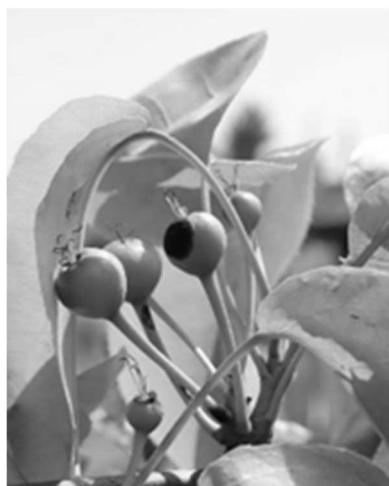
6 防除上注意すべき事項

- (1) 発病した葉や幼果等（図1）は伝染源となる。定期的に園内を見廻り、発病部位を見つけ次第切除して園外処分する。
- (2) 赤ナシの有袋栽培では、袋掛け直前に必ず薬剤散布を行って速やかに袋掛けを行う。特に、果実感受性の高い品種では6月上～中旬を目安に袋掛けを終える。
- (3) ‘新甘泉’、‘幸水’及び‘王秋’等の果実は7月上～中旬頃まで黒星病に対する果実感受性が高い。
- (4) 現在発生量が多い園では、発病部位の切除処分を実施した上で表2の薬剤を散布する。なお、DMI剤を用いる場合は必ず保護殺菌剤を混用して散布する。散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守る。
- (5) 定期防除の散布間隔が長くなるように注意し、降雨量が多い場合は追加散布を検討する。

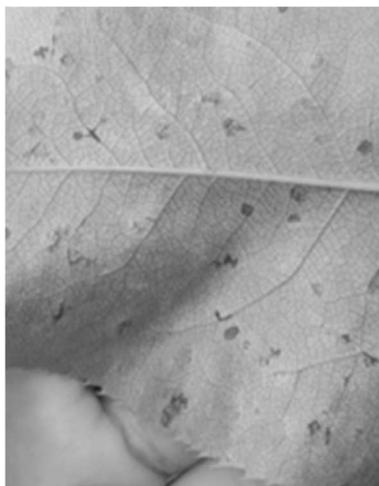
表1 県予察ほ場における半旬別の孢子飛散量とその推移

月・半旬	子のう孢子 <sup>a)</sup> (個)		分生子 <sup>b)</sup> (個)	
	本年	平年 (H28~R3)	本年	平年 (H24~R3)
4・3	305	15.5	36.9	6.5
4・4	2	6.0	— <sup>c)</sup>	6.2
4・5	59	54.3	47.1	35.2
4・6	62	3.7	48.4	15.1
5・1	0	1.3	— <sup>c)</sup>	11.0
5・2	1	0.2	2.0	21.1
5・3	1	0	6.2	8.4
5・4	0	0	— <sup>c)</sup>	18.2
5・5	0	0	10.0	70.5
5・6	0	0	75.1	14.6

- a) 罹病落葉100枚あたりの孢子数。  
 b) 採取された雨水あたりの孢子数。  
 c) 無降雨のため調査未実施。



幼果



葉身



葉柄

図1 ナシ黒星病の病斑

表2 ナシ黒星病の主な防除薬剤と農薬使用基準\*

作物	薬剤名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	FRAC コード**	薬剤グループ
ナシ	アンビルフロアブル	1,000～ 2,000	収穫7日前まで	3回以内	3	DMI
	スコア顆粒水和剤	2,000～ 4,000	収穫14日前まで	3回以内		
	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000～ 4,000	収穫前日まで	3回以内	11	QoI
	ナリアWDG	2,000	収穫前日まで	3回以内	11+7	QoI+SDHI
	カナメフロアブル	4,000～ 8,000	収穫前日まで	3回以内	7	SDHI
	チウラム水和剤 (チオノックフロアブル又 はトレノックスフロアブル)	500	収穫30日前まで	5回以内	M3	ジチオカー バメート及 び類縁体
	オキシラン水和剤	500～ 600	収穫3日前まで	9回以内	M1、M4	無機化合物 +フタルイ ミド
	有機銅水和剤 (キノンドーフロアブル又 はドキリンフロアブル)	1,000	収穫3日前まで	9回以内	M1	無機化合物
	キャプレート水和剤	600～80 0	収穫7日前まで	4回以内	M4、1	フタルイミ ド+MBC殺 菌剤
	ベルコートフロアブル	1,500	収穫14日前まで	5回以内	M7	ビスグアニ ジン

\*農薬の登録内容は令和4年5月25日現在

\*\*FRACコードは殺菌剤の作用機構の分類を示す。

## 令和4年度病害虫発生予察注意報第3号（令和4年6月27日）

### 注意報の概要

6月中旬現在、果樹カメムシ類の発生量が多く、果樹全般において果実被害の発生が懸念される。今後、果樹園への飛来量が増加すると予想されるため、防除を徹底する必要がある。

### 病害虫名：果樹カメムシ類

- 1 対象作物 果樹全般
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発表の根拠

- (1) カメムシ類の予察灯及び集合フェロモントラップにおける調査において、4月上旬から6月中旬までのチャバネアオカメムシの総誘殺数（越冬世代成虫）は、平年を上回っている地点が散見されており（表1、2）、越冬世代成虫の発生量が多いと予想される。
- (2) 6月中旬現在、果樹園におけるカメムシ類の多飛来は確認していない。
- (3) 向こう1か月の気象予報（6月23日発表）から、今後、カメムシ類の活動に好適な条件になると見込まれ、果樹園への飛来量増加が予想される。

### 6 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類の被害や飛来状況は、ほ場間差が大きいため、園内外をこまめに見回り、早期発見に努め、被害果実やカメムシ類の発生が多い場合は早急に防除を行う（ネオニコチノイド系又は合成ピレスロイド系殺虫剤のいずれかを選択）。特に、過去の多発生年に早期に被害を受けた地域では注意する。
- (2) 果樹園への飛来量が増加する時期は、例年第1世代成虫が発生する7月中下旬頃であるが、多発生年において、7月上旬頃から果樹園への飛来量が増加した事例があるので注意する。
- (3) 防除は、カメムシ類が飛来する夕方か早朝が効果的である。ただし、薬剤が乾きにくい気象条件では薬害が発生しやすいため、夕方散布を実施しない。また、カメムシ類は移動性が高いため、広域的な防除に努める。
- (4) 合成ピレスロイド系殺虫剤の多用が、カイガラムシ類及びハダニ類の発生を助長した事例があるので、必要最小限の使用にとどめる。
- (5) 各樹種の防除薬剤は表3を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守る。

表1 予察灯における果樹カメムシ類の総誘殺数（4月上旬～6月中旬）

調査地点	チャバネアオカメムシ		クサギカメムシ		ツヤアオカメムシ	
	令和4年	平年*	令和4年	平年*	令和4年	平年*
八頭町	65	109.6**	<u>16</u>	6.9**	<u>19</u>	8.3**
鳥取市河原町	<u>362</u>	215.3	17	16.7	65	76.1
湯梨浜町	<u>386</u>	178.6	<u>13</u>	7.3	116	111.0
北栄町	<u>390</u>	176.5	<u>10</u>	4.4	84	139.9

\*平年：平成24～令和3年の平均値、下線部は平年又は前年を上回る誘殺数を示す。

\*\*八頭町は令和3年度から調査地点を変更したため、平年ではなく前年の値を示す。

表2 集合フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの総誘殺数（4月上旬～6月中旬）

調査地点	令和4年	平年*
八頭町	70	102.8
北栄町	<u>189</u>	120.2

\*平年：平成24年～令和3年の平均値、下線部は平年を上回る誘殺数を示す。



チャバネアオカメムシ成虫

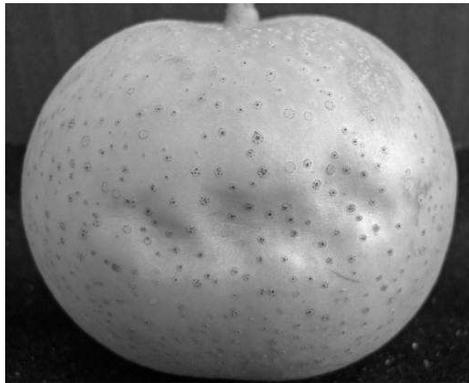


クサギカメムシ成虫

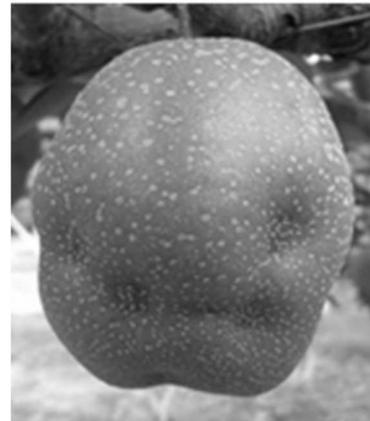


ツヤアオカメムシ成虫

写真1 主要な果樹カメムシ類



二十世紀の被害（有袋）



二十世紀の被害（無袋）

写真2 果樹カメムシ類による果実被害（収穫期）

表3 果樹カメムシ類の主な防除薬剤と使用基準\*

作物名	農薬の名称	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	IRAC コード**	薬剤の系統
なし	スミチオン乳剤	1,000 倍	有袋：収穫14日前まで	6回以内	1 B	有機リン系
			無袋：収穫21日前まで			
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3回以内	4 A	ネニコチノイド系
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	3 A	合成ピレストリン系
	シペルメトリン水和剤 (アグロスリン水和剤)	1,000倍～ 2,000倍	収穫前日まで	3回以内		
	シペルメトリン水和剤 (イカズチWDG)	1,500 倍	収穫前日まで	3回以内		
	テルスターフロアブル	3,000倍～ 6,000倍	収穫前日まで	2回以内		
かき	スミチオン水和剤 40	800倍～ 1,000倍	収穫30日前まで	3回以内	1 B	有機リン系
	キラップフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	2 B	フェルビタール系
	ジノテフラン水溶剤*** (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3回以内	4 A	ネニコチノイド系
	クロラントラニプロール ジノテフラン水和剤*** (キックオフ顆粒水和 剤)	2,000 倍	収穫前日まで		ジノテ フラン ：4 A クロラ ントラ ニプロ ール ：2 8	
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫3日前まで		3回以内	4 A
	アグロスリン水和剤	1,000倍～ 2,000倍	収穫前日まで	3回以内	3 A	合成ピレストリン系
	ぶどう	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3回以内	4 A
りんご	スミチオン水和剤 40	800倍～ 1,000倍	収穫30日前まで	3回以内	1 B	有機リン系
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3回以内	4 A	ネニコチノイド系
もも	スミチオン水和剤 40	800倍～ 1,000倍	収穫3日前まで	6回以内	1 B	有機リン系
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3回以内	4 A	ネニコチノイド系
	アグロスリン水和剤	2,000倍	収穫前日まで	5回以内	3 A	合成ピレストリン系

\*農薬の登録内容は令和4年6月23日現在

\*\*IRAC コードは殺虫剤の作用機構の分類を示す。

\*\*\*ジノテフランを含む農薬の総使用回数は4回以内（塗布は1回以内、散布は3回以内）

## 令和4年度病害虫発生予察注意報第4号（令和4年9月15日）

### 注意報の概要

9月中旬現在、県中西部においてブロッコリー黒すす病の発生量が多くなっています。今後も本病の発生に好適な気象条件が続くと予想されますので、防除を徹底してください。

病害虫名：ブロッコリー黒すす病

- 1 対象作物 ブロッコリー
- 2 発生地域 県中～西部
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発令の根拠

(1) 9月14日の現地ほ場の巡回調査では、発生ほ場率\*は88.8%（参考、9月下旬の発生ほ場率の平年値：33.3%）と高い。

\*9地点調査（大山町5地点、琴浦町4地点）による発生ほ場率を示す。

(2) 本病は、気温25℃付近が発病適温であり、多湿条件下で発生が多くなる。また、降雨と強風により発生が多くなるため、台風に伴う風雨によって発病が助長されやすい。

(3) 向こう1か月の気象予報から、本病の発生量が多いと予想される。特に、現在本病の発生が見られているほ場では、発生量の増加と花蕾への感染が懸念される。

### 6 防除上注意すべき事項

(1) 現在、ブロッコリー生産ほ場では、生育期～出蕾直前のほ場が多数ある。葉の病斑は花蕾への伝染源となるため、生育期～出蕾前の防除を徹底する。

(2) 防除薬剤は表1を参考とする。

(3) 農薬使用にあたっては、使用基準を遵守する。



写真1 葉の発病



写真2 花蕾の発病（内部）



写真3 花蕾の発病（表面）

表1 ブロッコリー黒すす病に登録のある薬剤（登録内容は令和4年9月15日現在）

農薬の名称	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	有効成分	FRACコード
アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	アゾキシストロビン	11
ファンタジスタ顆粒水和剤	3000倍	収穫3日前まで	3回以内	ピリベンカルブ	11
メジャーフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ピコキシストロビン	11
ホライズンドライフロアブル	2500倍	収穫前日まで	3回以内	シモキサニル・ ファモキサドン	27 11
シグナムWDG	1500倍	収穫7日前まで	2回以内	ピラクロストロビン・ ボスカリド	11 7
アフエットフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ペンチオピラド	7
パレード20フロアブル	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	ピラジフルミド	7
ベジセイパー	1000倍	出蕾前、但し 収穫21日前まで	2回以内	ペンチオピラド TPN	7 M05

令和4年度病害虫発生予察注意報第5号（令和4年9月29日）

注意報の概要

9月下旬現在、県内全域においてカキ炭疽病の発生園が認められている。向こう1か月の気象予報（9月22日、広島地方気象台発表）から、今後、カキ炭疽病の発生に好適な気象条件となることが予想され、防除対策を徹底する必要がある。

病害虫名：カキ炭疽病

- 1 対象作物 カキ
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発表の根拠

- (1) 県西部の現地ほ場において、7月上旬以降に枝病斑が認められた。
- (2) 9月下旬現在、県内全域の現地ほ場において発病果が認められた。
- (3) 9月下旬現在、県西部の現地園4園における平均発病果率は2.3%であり、9月上旬の同園における調査（平均発病果率：1.0%）に比べて被害果率が上昇した（表1）。

- (4) 発病果及び発病枝の病斑上には鮭肉色の分生子塊が形成されており（図1）、今後まとまった降雨があった場合に健全な果実への感染拡大が懸念される。
- (5) 向こう1か月の気象予報から、本病の発生に好適な気象条件となる可能性がある。

## 6 防除上注意すべき事項

- (1) 定期的に園内を見まわり、発病が認められた果実や枝（図1）は直ちに切除して、埋めるか園外に持ち出して処分する。発生園では本作業を必ず実施する。
- (2) 枝病斑を探す際は、主枝や亜主枝から発生した新梢や二次伸長した枝を中心に観察する。
- (3) 防除薬剤は表2を参考とする。
- (4) 降雨量が多い場合は薬剤の防除効果の低下が懸念されるため、累計降雨量100mmを目安に追加防除を実施する。
- (5) 既に収穫直前～収穫期となっている品種もあることから、薬剤防除にあたっては使用基準を遵守する。

表1 県西部ほ場4園におけるカキ炭疽病の発生量（9月26日時点）<sup>a)</sup>

園地	調査果数（果）	発病果率（%）
A	300	4.7
B	300	3.0
C	300	0.7
D	300	0.7
平均	300.0	2.3

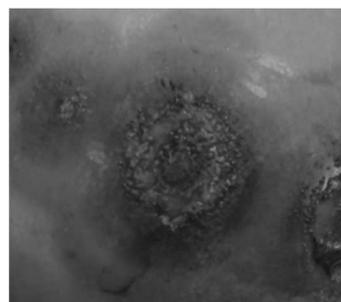
<sup>a)</sup>西部農業改良普及所の調査による。



果実病斑



枝病斑



鮭肉色の分生子塊

図1 カキ炭疽病

表2 カキ炭疽病の防除薬剤（令和4年9月26日現在）

農薬の名称	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	FRAC コード <sup>a)</sup>	薬剤のグループ名
トップジンM水和剤	1,000～ 1,500倍	収穫前日まで	6回以内	1	MBC 殺菌剤
ベンレート水和剤	2,000～ 3,000倍	収穫前日まで	6回以内		
オンリーワンフロアブル	2,000～ 3,000倍	収穫前日まで	3回以内	3	DMI 殺菌剤
スコア顆粒水和剤	3,000倍	収穫前日まで	3回以内		
フルーツセイバー	1,500～ 2,000倍	収穫前日まで	3回以内	7	SDHI
ナリアWDG	2,000～ 3,000倍	収穫前日まで	2回以内	7、11	SDHI、 QoI 殺菌剤
ストライド顆粒水和剤	3,000～ 4,000倍	収穫14日前まで	4回以内	M11	マレイミド

<sup>a)</sup>FRAC コードは殺菌剤の作用機構の分類を示す。

#### ウ. 特殊報

発表なし

## エ. 発生予報

号	発表日	普通作	果 樹	野 菜
1	令和4年 4月 6日	イネ (苗立枯病、ば か苗病、イネシン ガレセンチュウ) オオムギ(赤かび病、 うどんこ病、網斑 病)	ナシ (黒斑病、黒星病、 赤星病、ハダニ類、 カメムシ類)	ラッキョウ (灰色かび病、ネギ ハモグリバエ) ネギ (べと病、さび病、ネギハ モグリバエ) スイカ・メロン (アブラムシ 類)
2	令和4年 4月20日	イネ (苗立枯病、ば か苗病、イネミズ ゾウムシ)	ナシ (黒斑病、黒星病、 赤星病、カメムシ類) カキ (灰色かび病、樹幹 害虫 (ヒメコスカシ バ、フタモンマダラメ イガ) ) ブドウ (灰色かび病、 べと病)	ネギ (べと病、さび病、ネギハ モグリバエ・ネギアザミウ マ) ラッキョウ (ネギハモグリバエ) スイカ (菌核病、つる枯病、 うどんこ病) スイカ・メロン (アブラムシ類、 ハダニ類)
3	令和4年 5月18日	イネ (葉いもち、縞 葉枯病 (ヒメトビ ウンカ)、イネミ ズゾウムシ)	ナシ (黒斑病、黒星病、 ハダニ類、ニセナシサ ビダニ、アブラムシ 類) 果樹共通 (カメムシ類)	スイカ (菌核病、つる枯病、 うどんこ病、アブラムシ類、 ハダニ類) ネギ (べと病) ブロッコリー (コナガ)
4	令和4年 6月 1日	イネ (葉いもち、縞 葉枯病 (ヒメトビ ウンカ)、イネミ ズゾウムシ)	ナシ (黒斑病、黒星病、 輪紋病、アブラムシ 類、ニセナシサビダ ニ、シンクイムシ類) カキ (落葉病、炭疽病、 カキノヘタムシガ) ブドウ (べと病、チャノ キイロアザミウマ、ハ マキムシ類 (チャノコ カクモンハマキ)	スイカ (つる枯病・炭疽病、 うどんこ病、アブラムシ類、 ハダニ類) イチゴ (育苗期) (うどんこ 病、炭疽病、アブラムシ類、 ハダニ類) ネギ (べと病、さび病、黒斑病、 ネギアザミウマ、ネギハモグ リバエ)
5	令和4年 7月 6日	イネ (葉いもち、穂 いもち、紋枯病、 縞葉枯病 (ヒメト ビウンカ)、セジ ロウンカ、斑点米 カメムシ類、フタ オビコヤガ)	ナシ (黒斑病、黒星病、 輪紋病、クワコナカイ ガラムシ、ハダニ類、 シンクイムシ類) カキ (炭疽病、樹幹害虫 (ヒメコスカシバ・ フタモンマダラメイ ガ)) ブドウ (べと病) 果樹共通 (カメムシ類)	ネギ(さび病、黒斑病、白絹病、 軟腐病、ネギハモグリバエ、 ネギアザミウマ) スイカ(つる枯病・炭疽病、うど んこ病、褐色腐敗病・疫病、 アブラムシ類、ハダニ類) イチゴ (うどんこ病、炭疽病、 アブラムシ類、ハダニ類) ナガイモ (炭疽病)

号	発表日	普通作	果 樹	野 菜
6	令和4年 8月 3日	イネ (穂いもち、紋 枯病、セジロウン カ、トビイロウン カ、斑点米カメム シ類、コブノメイ ガ、フタオビコヤ ガ) ダイズ (紫斑病、 ハスモンヨトウ、 カメムシ類)	ナシ (黒斑病、ハダニ類、 シンクイムシ類) カキ (うどんこ病、炭疽 病、カキノヘタムシガ) 果樹共通 (カメムシ類)	ネギ (軟腐病、白絹病、黒斑病、 ネギハモグリバエ、ネギアザ ミウマ、シロイチモジヨトウ) ナガイモ (炭疽病、ナガイモコ ガ、ハダニ類、シロイチモジ ヨトウ) キャベツ・ブロッコリー (ハス モンヨトウ)
7	令和4年 8月24日	イネ (穂いもち、紋 枯病、トビイロウン カ、斑点米カメム シ類) ダイズ (紫斑病、ハ スモンヨトウ、カ メムシ類)	ナシ (シンクイムシ類、 ハダニ類) カキ (炭疽病) 果樹共通 (カメムシ類)	キャベツ・ブロッコリー・イチ ゴ (ハスモンヨトウ) ネギ・ナガイモ (シロイチモジ ヨトウ)
8	令和4年 9月 7日	ダイズ (ハスモンヨト ウ)	ナシ (黒斑病、黒星病、 クワコナカイガラムシ、 シンクイムシ類、ハダ ニ類) カキ (炭疽病) ブドウ (べと病、チャノ キイロアザミウマ、ハ マキムシ類) 果樹共通 (ナシ・カキ・ ブドウ・リンゴ) (カメムシ類)	ネギ (軟腐病、白絹病、黒斑病、 ネギハモグリバエ、ネギアザ ミウマ) ネギ・ナガイモ (シロイチモジ ヨトウ) ナガイモ (炭疽病、ナガイモコ ガ、ハダニ類) キャベツ・ブロッコリー (べと 病、黒腐病、軟腐病、黒すす 病、アブラムシ類、コナガ、 ヨトウムシ) キャベツ・ブロッコリー・イチ ゴ (ハスモンヨトウ)
9	令和4年 10月 5日			キャベツ・ブロッコリー (軟腐 病、黒腐病、べと病、黒すす 病、アブラムシ類、コナガ、 ハスモンヨトウ) ネギ (黒斑病、さび病、べと病、 ネギアザミウマ、ネギハモグリ バエ、シロイチモジヨトウ) ラッキョウ (ネギハモグリバエ)
10	令和4年 12月 7日			ラッキョウ (白色疫病、ネギハ モグリバエ) イチゴ (うどんこ病、灰色かび 病)
11	令和5年 2月 1日			ラッキョウ (白色疫病)
12	令和5年 3月 1日	イネ (ばか苗病、 イネシンガレセ ンチュウ)	ナシ (黒斑病、黒星病、ハ ダニ類、カメムシ類)	ラッキョウ (白色疫病)

オ. 指導情報

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[イネ]	いもち病、もみ枯細菌病	令和4年4月26日	育苗期の防除対策
	いもち病	令和4年6月27日	感染好適条件の出現状況及び防除対策
		令和4年7月11日	
		令和4年7月22日	
		令和4年7月28日	
		令和4年8月10日	
	令和5年3月23日	ストロビルリン系薬剤の使用方針と防除対策	
	斑点米カメムシ類	令和4年8月5日	発生状況及び防除対策
[コムギ]	黄斑病	令和4年5月20日	発生状況及び防除対策
		令和5年3月1日	
[ダイズ]	ハスモンヨトウ	令和4年9月8日	発生状況及び防除対策
[ナシ]	黒斑病	令和4年5月7日	ポリ袋検定結果
		令和4年6月21日	発病状況及び防除対策
		令和4年7月28日	
		令和4年10月7日	
			令和5年2月28日
	黒斑病孢子飛散情報	令和4年4月1日	半旬毎の黒斑病菌孢子飛散状況
		令和4年4月6日	
		令和4年4月12日	
		令和4年4月16日	
		令和4年4月21日	
		令和4年4月27日	
		令和4年5月2日	
		令和4年5月6日	
		令和4年5月11日	
		令和4年5月18日	
		令和4年5月23日	
		令和4年5月27日	
		令和4年6月2日	
		令和5年3月28日	
	黒星病	令和4年4月16日	発生状況及び防除対策
令和4年5月18日			
令和4年5月27日			
令和4年6月27日			
令和4年7月9日			
令和5年2月28日		腋花芽における病芽率	

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[ナシ]	黒星病飛散情報	令和4年4月1日	半旬毎の黒星病菌子のう胞子、 分生子飛散状況
		令和4年4月6日	
		令和4年4月12日	
		令和4年4月16日	
		令和4年4月21日	
		令和4年4月27日	
		令和4年5月2日	
		令和4年5月6日	
		令和4年5月11日	
		令和4年5月18日	
		令和4年5月23日	
		令和4年5月27日	
		令和4年6月2日	
		令和5年3月22日	
		令和5年3月28日	
ニセナシサビダニ		令和4年5月17日	発生状況及び防除対策
		令和4年5月27日	
		令和4年6月6日	
		令和4年6月15日	
		令和4年6月28日	
クワコナカイガラムシ		令和4年5月2日	発生状況及び防除対策
アブラムシ類		令和4年5月27日	発生状況
ハダニ類		令和4年7月29日	発生状況
		令和4年12月12日	越冬状況
カメムシ類		令和4年7月29日	巡回調査結果
[カキ]	炭疽病	令和4年8月26日	発生状況及び防除対策
	フジコナカイガラムシ	令和4年6月8日	発生状況及び防除対策
[果樹共通]	カメムシ類	令和4年5月16日	予察灯及びフェロモントラップ の誘殺状況
		令和4年5月24日	
		令和4年6月2日	
		令和4年6月15日	
		令和4年6月23日	
		令和4年7月4日	
		令和4年7月13日	
		令和4年7月22日	
		令和4年8月3日	
		令和4年8月15日	
		令和4年8月25日	
令和4年9月2日			

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[果樹共通]	カメムシ類	令和4年9月13日	予察灯及びフェロモントラップの誘殺状況
		令和4年9月26日	
		令和4年10月3日	
		令和4年10月13日	
		令和4年10月25日	
	クサギカメムシ	令和4年11月8日	
	クサギカメムシ	令和4年12月12日	越冬状況
[ダイズ・野菜]	ハスモンヨトウ	令和4年8月17日	発生状況及び防除対策
[野菜]	シロイチモジヨトウ	令和4年8月12日	発生状況及び防除対策
	ハスモンヨトウ	令和4年9月1日	
	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ	令和4年9月30日	
[ネギ]	シロイチモジヨトウ	令和4年9月5日	発生状況及び防除対策
[サツマイモ]	基腐病	令和4年5月19日	発生状況及び防除対策
[ネギ・ラッキョウ]	ネギハモグリバエ	令和4年4月15日	発生状況及び防除対策
[ラッキョウ]	ネギハモグリバエ	令和4年6月6日	発生状況及び防除対策
	白色疫病	令和5年2月24日	
[ブロッコリー]	黒すす病	令和4年6月8日	発生状況及び防除対策
		令和4年9月9日	
[キャベツ・ブロッコリー]	黒腐病	令和4年9月29日	発生状況及び防除対策
[ダイズ・カキ・ネギ・ブロッコリー]	台風の通過により注意が必要な病虫害(ダイズ腐敗病、カキ炭疽病、ネギ軟腐病、ブロッコリー細菌性病害、ブロッコリー黒すす病)	令和4年9月8日	発生に注意が必要な病害等と対策

#### カ. ホームページのアクセス件数、更新回数

令和5年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アクセス件数	685	1,051	973	1,024	852	844	682	442	329	450	670	534	8,536
更新回数	8	12	13	6	8	12	8	2	3	1	3	5	81

(3) 情報の発送先とその伝達手段（令和4年度）

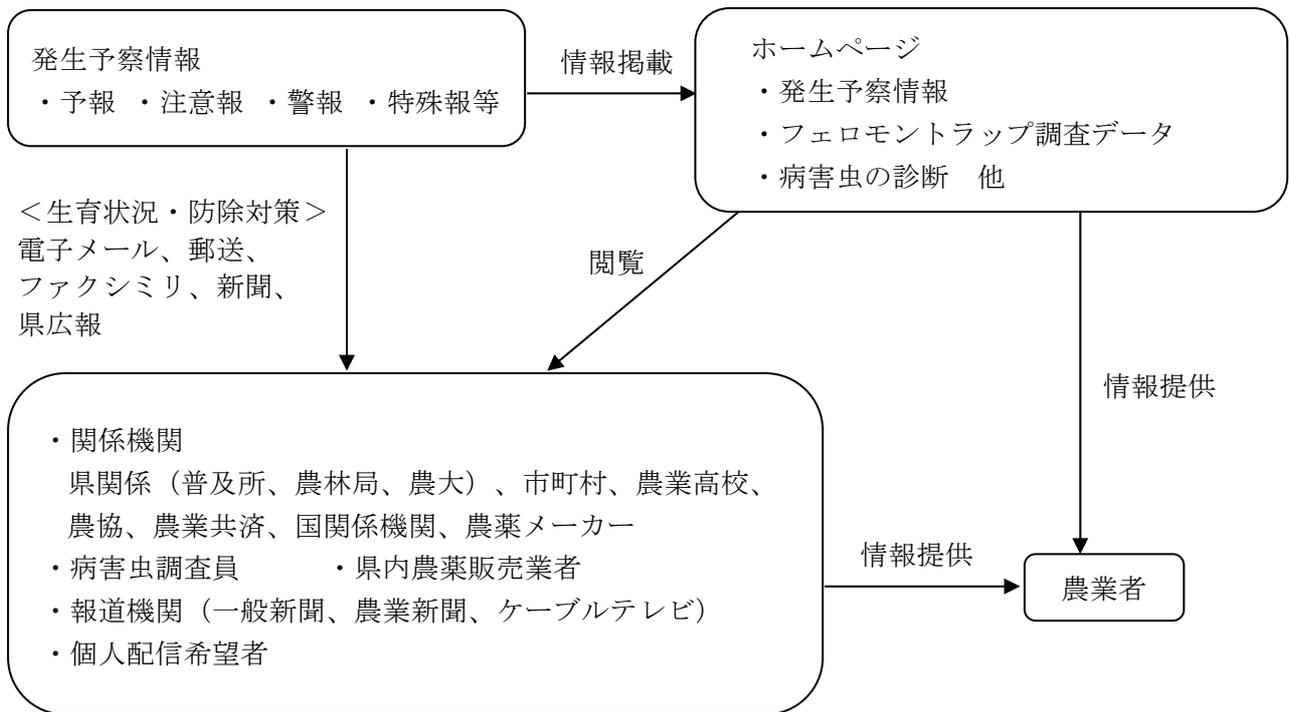
発 送 先	発送数	伝 達 手 段		
		A	B	C
県庁関係課（経営支援課、生産振興課等）	5	○		
総合事務所農林局 農(林)業振興課	5	○		
農業大学校	1	○		
農業高等学校	4	○		
市町村関係課	20	○		
国関係機関	3	○		○
農業協同組合	3	○		
県農業協同組合連合会（中央会、全農県本部）	2	○		
県農業共済組合	1	○		
県産米改良協会	1	○		
病虫害調査員	17		○	
個別配信				
農業改良普及所（所長、次長）	7	○		
経営支援課（専門技術員等）	7	○		
農業試験場（関係研究員）	4	○		
園芸試験場（関係研究員）	6	○		
農業協同組合等（各課、各営農センター等）	41	○		
鳥取大学	2	○		
農薬製造販売会社	16	○		
ケーブルテレビ放送会社	3	○		
新聞社	1	○		
情報配信希望者（農業者他）	28	○	○	
合 計	177			

注) (1) 発表した情報：病虫害発生予報、注意報、警報、特殊報、指導情報  
 （上記以外の指導情報については、該当農業改良普及所に作目ごとに随時提供）

(2) 伝達手段

A：電子メール、B：郵送、C：植物防疫総合情報ネットワーク（JPP-NET）

#### (4) 情報発信の流れ図



- ・ 個人配信の希望者にはホームページ上から申し込んでもらい、登録後は希望アドレスに直接メールを配信。

## 6 普通作物病害虫の発生予察調査結果

### (1) 主な普通作物病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	年次	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
				甚	多	中	少	計	
イネ	本年 12,000	葉いもち	本年	3	12	92	1373	1480	12.3
			平年	7	116	460	1934	2517	19.3
	平年 13,020	穂いもち	本年	1	3	80	480	564	4.7
			平年	4	22	170	1060	1256	9.6
	前年 12,400	紋枯病	本年	7	80	240	5280	5607	46.7
			平年	11	63	242	4848	5164	39.7
		白葉枯病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0.7	0.7	0.0
		ばか苗病	本年	0	0	0	20	20	0.2
			平年	0	0	0	42	42	0.3
		心枯線虫病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		もみ枯細菌病	本年	0	0	1	60	61	0.5
			平年	0	0	0.4	236	236.4	1.8
		ごま葉枯病	本年	0	20	460	960	1440	12.0
			平年	2	73	247	830	1152	8.8
		縞葉枯病	本年	0	0	0	1356	1356	11.3
			平年	0	0	42	1952	1994	15.3
		ニカメイガ 第1世代	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	63	63	0.5
		ニカメイガ 第2世代	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	44	44	0.3
		セジロウンカ	本年	0	0	0	3840	3840	32.0
			平年	0	0	339	7118	7457	57.3
		トビロウンカ	本年	0	0	1	9	10	0.1
			平年	0	7	81	1500	1588	12.2
		ヒメトビウンカ	本年	0	0	240	6084	6324	52.7
			平年	0	9	676	8627	9312	71.5
		ツマグロヨコバイ	本年	0	0	0	3756	3756	31.3
			平年	0	77	622	6008	6707	51.5
	イチモンジセセリ	本年	0	0	0	0	0	0	
		平年	0	0	0	98	98	0.8	
	コブノメイガ	本年	0	0	0	636	636	5.3	
		平年	6	51	155	1896	2108	16.2	
	イネミズソウムシ	本年	0	0	400	4720	5120	42.7	
		平年	0	0	252	3750	4002	30.7	
	斑点米カメムシ類	本年	0	308	2154	6923	9385	78.2	
		平年	130	630	2351	7076	10187	78.2	
	フタオビコヤガ	本年	0	0	0	396	396	3.3	
		平年	0	0	6	1573	1579	12.1	

作物名	作付面積 (ha)	病虫害名	年次	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
				甚	多	中	少	計	
ムギ	本年	さび病類 (小さび病)	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	前年	うどんこ病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	1	3	4	3.9
	前年	赤かび病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0.1	0.1	0.1
	前年	斑葉病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0.2	0.2	0.2
	前年	黒穂病類	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	前年	雲形病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	前年	縞萎縮病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	前年	黒節病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	1	2	3	2.9
前年	網斑病	本年	0	9	37	46	92	100	
		平年	0	7	15	74	96	94.1	
ダイズ	本年	紫斑病	本年	0	0	0	111	111	15.7
			平年	0	0	12	186	198	28.4
	前年	モザイク病 (褐斑粒)	本年	0	0	1	43	44	6.2
			平年	0	0	2	109	111	15.9
	前年	ハスモンヨトウ	本年	0	0	0	225	225	31.8
			平年	12	13	93	443	561	80.6
前年	カメムシ類	本年	0	60	121	404	585	82.6	
		平年	12	67	207	359	645	92.7	

\* 平年の面積率 = (発生程度別面積の平年値の計) / (作付面積の平年値) × 100

注) 発生程度別面積は、定点巡回調査、必要に応じた追加調査をもとに算出。

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. イネ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
苗立枯病 (平年並)	一部で発生が認められた。	育苗環境が不適切であった。
葉いもち (平年並)	本田における葉いもちの発生は、7月上旬頃から山間地等の常発地及び一部の平坦地において散見されたが、梅雨明け(7月26日頃)後は病勢が停滞した。 7月下旬の発生ほ場率は、平年並であった(本年:12.3%、平年:18.8%)。	本病弱抵抗性品種の作付割合が90%以上と高い。 全体としては苗いもちの発生が少なかったが、一部で発病苗の本田への持ち込みがみられた。 6月第3半旬から7月第2半旬は高温少雨で経過し、感染に不適であった。7月第3半旬から梅雨明け(7月26日頃)までは曇雨天で経過したが、その後は高温で経過したため、病勢が停滞した。
穂いもち (平年並)	山間地等の一部の常発地及び一部の中生品種において、葉いもち発生ほ場を中心に穂いもちの発生がみられた。9月上旬の発生ほ場率は平年並であった(本年:4.7%、平年:9.4%)。	出穂期は平年並であった。 7月第6半旬以降が高温で経過したため、感染に不適であった。一部の葉いもち発生ほ場において、発病が確認された。
紋枯病 (平年並)	9月上旬の発生ほ場率は、平年並であった(本年:46.7%、平年:39.7%)。 近年、発生地域間差、ほ場間差が大きくなっている。	7月中旬から梅雨明け(7月26日頃)までは曇雨天が続いたため、本病の水平進展が助長された。梅雨明け(7月26日頃)から8月第1半旬は降雨日が少なかったため、一時的に病勢が停滞したが、8月第2半旬から9月第1半旬は高温多雨で経過したため、上位進展に好適であった。9月第2半旬から9月第4半旬は、気温が高かったが降雨日が少なかったため、上位進展はやや緩慢であった。
白葉枯病 (平年並)	発生は認められなかった。	7月以降のほ場の浸冠水がなかった。
ばか苗病 (平年並)	一部で発生が認められた。 近年、問題となる大発生はないが、一部の糯米、酒米等で発生が散見されている。	JAから供給される温湯消毒種子の使用が大半であるが、酒米、糯米等では消毒時間が短いため、効果が不十分である。 一部の大規模農家の種子消毒が不適切であった。
心枯線虫病 (平年並)	発生は認められなかった。	前年の本種による葉先枯症状は認められなかったため、汚染率は低いと推察される。

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
もみ枯細菌病 (平年並)	中生品種を中心に発生が認められ、発生ほ場率は平年並であった(本年:0.5%、平年:1.8%)。	本病が発生しやすい中生品種の栽培面積が約3割を占めている。
ごま葉枯病 (平年並)	中生品種を中心に発生が認められ、極一部の秋落ち症状が発生しやすい地域では、多発生ほ場も散見された。発生ほ場率は平年並であった(本年:12.0%、平年:9.0%)。 近年、発生が増加傾向にある。	秋落ち症状が発生しやすい中生品種の栽培面積が約3割を占めている。 近年、アシカキが伝染源となっているほ場も散見される。
縞葉枯病 (平年並)	発生ほ場率は11.3%(平年:15.6%)で、平年並であった。	近年、ヒメトビウンカの発生が増加傾向であったが、ウンカ類に対して高い効果を示す育苗箱施用剤が導入され、発生が減少している。
ニカメイガ 第1世代 (平年並)	発生は認められなかった。	昨年の第2世代幼虫の発生は認められなかった。
ニカメイガ 第2世代 (平年並)	発生は認められなかった。	第1世代幼虫の発生は認められなかった。
セジロウンカ (やや少ない)	予察灯への初誘殺は6月29日(平年:7月4日)で平年よりやや早かった。予察灯への誘殺数は平年並であった。7月下旬の発生ほ場率は32.0%(平年:56.7%)で、平年よりやや少ない発生であった。	本田への飛来量がやや少なかったと考えられる。
トビイロウンカ (やや少ない)	予察灯への初飛来は8月20日で、誘殺数は平年よりやや少なかった。8月下旬の巡回調査では定点での発生は認められなかったが、9月末に県内で局所的に本種の加害による坪枯れが認められた。	9月末に行った追加調査の結果から、本田への飛来範囲は狭かったと推測される。予察灯への初飛来は遅く、飛来量もやや少なかったが、9月の気象は高温傾向で推移したことから、本種の発生にやや好適な条件となり、飛来した一部のほ場で増殖したと考えられる。
ヒメトビウンカ (やや少ない)	7月下旬の発生ほ場率は52.7%(平年:71.6%)で、平年よりやや少ない発生であった。	本種の発生量が多かった地域を中心に、ウンカ類に対して高い効果を示す育苗箱施用剤が使用されたため、発生が抑えられていると考えられる。
ツマグロヨコバイ (やや少ない)	7月下旬の発生ほ場率は29.3%(平年:48.4%)で、平年より少なく、9月上旬の発生ほ場率は31.3%(平年:51.5%)で、最終的にはやや少ない発生となった。	近年、発生量は少なく推移している。

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
コブノメイガ (やや少ない)	9月上旬の発生ほ場率は5.3% (平年：16.4%) で、平年よりやや少ない発生であった。	飛来量がやや少なかった。
イネミズゾウムシ (やや多い)	水田への成虫侵入盛期は平年並であった。6月中旬の発生ほ場率は42.7% (平年：30.8%) で、やや多い発生であったが、大半のほ場が少発生であった。	県内全域で効果の高い育苗箱施用剤が普及している。
斑点米カメムシ類 (平年並)	<p>6～8月の予察灯への誘殺数は平年並であった。</p> <p>7月下旬～8月初めに穂揃い期を迎えた早植え、極早生品種では、発生ほ場率は81.4% (平年：92.9%) で平年よりやや低かったが、要防除水準を超えているほ場率は58.1% (平年：64.7%) で平年並であった。すくい取り虫数は18.4頭 (捕虫網25往復50回振り虫数、平年：21.4頭) で平年並であった。</p> <p>8月中旬の巡回調査定点における発生ほ場率は78.2% (平年：78.3%) で平年並、すくい取り虫数は5.8頭 (捕虫網25往復50回振り虫数、平年：8.1頭) で平年並であった。なお、一部地域でイネカメムシの発生が増加している。</p>	<p>6月の気象経過は本種の発生に好適であったが、7月の気象はやや不適であった。よって、8月上旬時点での発生は平年並となった。</p> <p>また、8月上旬の気象は発生に好適であったが、中旬以降は天候不順となった。よって、雑草地等での増殖は平年並となり、水田への飛来量は平年並となったものと考えられる。</p>
フタオビコヤガ (少ない)	7月下旬の発生ほ場率は3.3% (平年：11.8%) で、平年より少ない発生であった。	本種の発生が多かった地域では、効果の高い育苗箱施用剤が導入されたため、発生ほ場が減少した。

## イ. ムギ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
うどんこ病 (やや少ない)	発生は認められなかった。	本病に強い品種が導入されている。
赤かび病 (平年並)	発生は認められなかった。	出穂期が平年より早かった。 感染適期が低温で経過した。
黒穂病類 (平年並)	発生は認められなかった。	採種ほ場では、ほとんど発生が認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。
黒節病 (やや少ない)	発生は認められなかった。	採種ほ場では、ほとんど発生が認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。また、発病を助長する3～4月の霜害の発生がみられなかった。
大麦縞萎縮病 (平年並)	発生は認められなかった。	抵抗性品種が作付されている。
斑葉病 (平年並)	発生は認められなかった。	採種ほ場では、ほとんど発生が認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。
網斑病 (平年並)	二条オオムギでは、発生ほ場率が100%と平年と同様に高く、発生程度も平年並であった。	

## ウ. ダイズ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
紫斑病 (平年並)	発生ほ場率は平年並(本年:15.6%、平年:28.7%)で、ほとんどが少発生ほ場であった。	本病に比較的強い品種が広く普及している。
モザイク病 (やや少ない)	発生ほ場率は6.3%(平年:15.9%)で、やや少ない発生であった。	種子の保菌率が低率であった推察される。また、アブラムシ類の防除が徹底された。
ハスモンヨトウ (少ない)	8～9月上旬のフェロモントラップ誘殺数は平年並であった。9月中旬の発生ほ場率は31.8%(平年:80.6%)で、最終的には少ない発生となった。	常発地では、防除が徹底されたため、最終的には少ない発生となった。
カメムシ類 (平年並)	一部で多発生ほ場が確認されたが、最終的な発生ほ場率は82.9%(平年92.7%)で、平年並の発生となった。	基幹防除が行われた。

(3) 調査の概要と結果

ア. イネ

(ア) 調査地点

a. 県予察ほ場 鳥取市橋本

b. 一般ほ場

地区名	市町村名	発生程度別調査定点		ウンカ類追加調査地点
		巡回調査地点	程度別追加調査地点	
東部	鳥取市	嶋	賀露、朝月、河内	賀露
	〃 国府町	玉鉾		細川
	〃 福部町	栗谷		下坂本
	〃 気高町	重高	下原	
	〃 鹿野町		小別所	
	〃 青谷町	奥崎		
	〃 河原町	福和田		
	〃 用瀬町	鷹狩		
	〃 佐治町		古市	
	岩美町	蒲生	浦富	浦富
八頭町 (旧郡家町)	池田			
〃 (旧船岡町)		橋本		
〃 (旧八東町)	徳丸			
若桜町	須澄			
智頭町	三田			
中部	倉吉市	小鴨	下米積、服部	
	〃 関金町	今西		石脇
	湯梨浜町 (旧羽合町)	長瀬		
	〃 (旧泊村)		北福	
	〃 (旧東郷町)		牧	
	三朝町		米里	曲
	北条町			穂波
	大栄町	瀬戸		笠見
琴浦町 (旧東伯町)	美好			
〃 (旧赤碕町)	出上			
西部	米子市	東八幡	奈喜良、車尾	車尾、東八幡
	〃 淀江町	福岡		
	境港市			
	南部町 (旧西伯町)	原	下鴨部	
	〃 (旧会見町)	天万		
	伯耆町 (旧岸本町)	吉長		
	〃 (旧溝口町)	二部、宇代		富吉
	日吉津村			
	大山町	佐摩	平	
	〃 (旧名和町)		旧奈和	
〃 (旧中山町)		羽田井	下甲	
江府町	洲河崎			
日野町	黒坂			
日南町	矢戸、下石見	下阿毘縁		
調査地点数・ほ場数	巡回調査 30地点×3ほ場 程度別調査 30地点×5ほ場	程度別調査 20地点×5ほ場 (気象条件、発生状況 により実施の有無を判断)	12地点×5ほ場 (予察灯への誘殺状況に より実施の有無を判断)	
調査時期	6月上旬～中旬、 6月下旬 7月上旬～中旬 7月下旬～8月上旬、8月 中旬 7月下旬、9月上旬	7月下旬、9月上旬	8月下旬～9月上旬	
調査項目	初期害虫、いもち病、 カメムシ類ほか	全般	ウンカ類	

c. 予察灯

鳥取市橋本、岩美町牧谷、琴浦町光好、日吉津村富吉

(イ) 調査観察結果

a. イネの生育状況

第1表 県予察ほ場におけるイネの生育状況

品種	生育遅延状況 (月. 日)		
	田植期 (平年比)	出穂期 (平年比)	収穫期
コシヒカリ (5.25植)	5.25 (±0)	8.4 (-1)	9.12
日本晴 (5.25植)	5.25 -	8.17 -	10.5

b. 病害の発生状況

(a) 県予察ほ場

第2表 県予察ほ場における葉いもち、穂いもちの発病状況

(無防除区)

品種	調査 月日	葉いもち						穂いもち		
		発病株率 (%)			病斑面積率 (%)			発病穂率 (%)		
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
コシヒカリ (5.25植)	6.21	0	0	±0	0	0	±0			
	7.1	0	0	±0	0	0	±0			
	11	0	0.8	-0.8	0	0.00	±0			
	21	6.0	16.6	-10.6	0.01	0.04	-0.03			
	8.1	6.0	17.8	-11.8	0.01	0.04	-0.03			
	9.7							0	0.28	-0.28
日本晴 (5.25植)	6.21	0	-	-	0	-	-			
	7.1	0	-	-	0	-	-			
	11	0	-	-	0	-	-			
	21	2.0	-	-	0.00	-	-			
	8.1	2.0	-	-	0.00	-	-			
	10	2.0	-	-	0.00	-	-			
10.3							0	-	-	

注1) フェルテラチェス箱粒剤(50g/箱)。

第3表 県予察ほ場における紋枯病の発生状況

(無防除区)

品種	調査月日	発病株率 (%)			病斑高率 (%)			被害度			発病度		
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
コシヒカリ (5.25植)	6.21				0	0	±0						
	7.1				0	0	±0						
	11				0	4.8	-4.8						
	21				20.4	18.1	+2.3						
	8.1				24.2	24.5	-0.3						
	10				29.0	31.9	-2.9						
	19				39.1	39.0	+0.1						
	9.1				48.9	48.1	+0.8						
	9.7	43.1	67.3	-24.2	54.3	54.5	-0.2	23.9	38.2	-14.3	26.7	38.4	-11.7
日本晴 (5.25植)	6.21				0	-	-						
	7.1				0	-	-						
	11				0	-	-						
	21				24.3	-	-						
	8.1				27.5	-	-						
	10				26.3	-	-						
	19				29.8	-	-						
	9.1				38.4	-	-						
	12				47.7	-	-						
10.3	56.1	-	-	48.9	-	-	26.3	-	-	28.1	-	-	

注1) フェルテラチェス箱粒剤(50g/箱)。

注2) 梅雨明け後に病勢が停滞したため、8月に病斑高率が低下した。

第4表 県予察ほ場における内穎褐変病(収穫後調査)、もみ枯細菌病(本田調査)の発生状況

品種	内穎褐変病 発病粗率 (%)				もみ枯細菌病 発病穂率 (%)
	濃い	薄い	しいな	計	
コシヒカリ (5.25植)	4.4	2.6	5.3	12.3	0
日本晴 (5.25植)	3.1	2.0	3.5	8.6	9.1

注) 内穎褐変病発病粗率は収穫後に無防除区を調査

(調査粒数は、コシヒカリ：約15,000粒、日本晴：約12,000粒)

(b) 一般ほ場

第5表 一般ほ場におけるいもち病、ばか苗病、ごま葉枯病の発病状況

地区	月・ 半旬	いもち病						ばか苗病						ごま葉枯病									
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	
			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計		
東 部	7・6	60	0	0	0	6	6	10.0	60	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	60	0	0	0	4	4	6.7	-	-	-	-	-	-	-	60	0	0	1	7	8	13.3	
中 部	7・6	30	0	0	0	3	3	10.0	30	0	0	0	1	1	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	30	0	0	0	1	1	3.3	-	-	-	-	-	-	-	30	0	0	2	2	4	13.3	
西 部	7・6	60	0	0	0	3	3	5.0	60	0	0	0	1	1	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	60	0	0	0	1	1	1.7	-	-	-	-	-	-	-	60	0	0	3	3	6	10.0	
全 県	7・6	150	0	0	0	12	12	8.0	150	0	0	0	2	2	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	150	0	0	0	6	6	4.0	-	-	-	-	-	-	-	150	0	0	6	12	18	12.0	

注) いもち病は、7月は葉いもち、8月は穂いもち(早生品種主体)の調査。発生ほ場率は、地区毎の単純平均。

第6表 一般ほ場における紋枯病、縞葉枯病、白葉枯病の発病状況

地区	月・ 半旬	紋枯病							縞葉枯病							白葉枯病								
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率(%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率(%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率(%)		
			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			
東部	7・6	60	-	-	-	-	16	26.7	60	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	0	0	3	32	35	58.3	60	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	0	0	0	0	
中部	7・6	30	-	-	-	-	3	10.0	30	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	
	8・6	30	0	0	0	10	10	33.3	30	-	-	-	-	-	-	30	0	0	0	0	0	0	0	
西部	7・6	60	-	-	-	-	9	15.0	60	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	
	8・6	60	0	1	0	24	25	41.7	60	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	0	0	0	0	
全県	7・6	150	-	-	-	-	28	18.7	150	0	0	0	0	0	0	150	0	0	0	0	0	0	0	
	8・6	150	0	1	3	66	70	46.7	150	-	-	-	-	-	-	150	0	0	0	0	0	0	0	

第7表 一般ほ場におけるもみ枯細菌病の発病状況

地区	月・ 半旬	もみ枯細菌病						
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率(%)
			甚	多	中	少	計	
東部	8・6	60	0	0	0	0	0	0
中部	8・6	30	0	0	0	0	0	0
西部	8・6	60	0	0	0	0	0	0
全県	8・6	150	0	0	0	0	0	0

c. 害虫の発生状況

(a) 県予察ほ場

第8表 県予察ほ場におけるニカメイガフェロモントラップの半旬別誘殺数

世代	月	半旬					
		1	2	3	4	5	6
越冬世代成虫	4月	0	0	0	0	0	0
	5月	0	0	0	0	0	0
	6月	0	0	0	0	0	0
	7月	0	0	0	0	0	0
第1世代成虫	8月	0	0	0	0	0	0

第9表 県予察ほ場におけるセジロウンカ成幼虫の発消長(25株払い落とし虫数)

調査 月日	コシヒカリ(5.24植)						きぬむすめ(5.24植)					
	防除区			無防除区			防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
6.30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7.11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7.19	0	0	0	0	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0
8.1	0	0	0	0	5.9	5.9	0	0	0.5	0.5	6.4	6.9
8.9	0	0	0	0	4.4	4.4	0	1.0	1.0	0	15.2	15.2
8.22	0	0	0	1.0	8.8	9.8	0	0	0	1.0	1.0	2.0

第10表 県予察ほ場におけるトビイロウンカ成幼虫の発消長（25株払い落とし虫数）

調査月日	コシヒカリ（5. 24植）						きぬむすめ（5. 24植）					
	防除区			無防除区			防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
6.30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7.11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7.19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第11表 県予察ほ場におけるヒメトビウンカ成幼虫の発消長（25株払い落とし虫数）

調査月日	コシヒカリ（5. 24植）						きぬむすめ（5. 24植）					
	防除区			無防除区			防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
6.30	0	0	0	0	3.9	3.9	0	0	0	0	10.3	10.3
7.11	0	0	0	0	3.9	3.9	0	0	0	0	18.6	18.6
7.19	0	0	0	0	1.5	1.5	0	0	0	0	10.8	10.8
8.1	0	0	0	0	12.7	13.2	0	0	0	0	25.0	25.0
8.9	0	0	0	0	14.2	14.2	0	1.0	1.0	0	35.8	35.8
8.22	0	1.0	1.0	1.5	10.8	12.3	0	1.5	2.0	2.5	8.8	11.3

(b) 一般ほ場

第12表 一般ほ場におけるイネミズゾウムシの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	イネミズゾウムシ					
			発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
			甚	多	中	少	計	
東部	6・3	60	0	0	0	18	18	30.0
中部		30	0	0	1	7	8	26.7
西部		60	0	0	4	34	38	63.3
全県		150	0	0	5	59	64	42.7

第13表 一般ほ場におけるセジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	セジロウンカ					トビイロウンカ					ヒメトビウンカ								
			発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計		
東部	7・6	60	0	0	0	16	16	26.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	33.3
	8・6	85	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
中部	7・6	30	0	0	0	9	9	30.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22	73.3
	8・6	35	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
西部	7・6	60	0	0	0	16	16	26.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	34	37	61.7
	8・6	87	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
全県	7・6	150	0	0	0	41	41	27.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	76	79	52.7
	8・6	207	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-

第14表 一般ほ場におけるイネシガラセンチュウ、フタオビコヤガの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	イネシガラセンチュウ					フタオビコヤガ						
			発生程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率(%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全県	7・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第15表 一般ほ場におけるニカメイガ、コブノメイガの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	ニカメイガ					コブノメイガ						
			発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3.3
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	10.0
西部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	5.0
全県	7・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	5.3

第16表 一般ほ場におけるツマグロヨコバイの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	ツマグロヨコバイ					発生ほ場率(%)
			発病程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	10	10	16.7
	8・6	60	0	0	0	17	17	28.3
中部	7・6	30	0	0	2	10	12	40.0
	8・6	30	0	0	0	5	5	16.7
西部	7・6	60	0	0	0	22	22	36.7
	8・6	60	0	0	0	25	25	41.7
全県	7・6	150	0	0	2	42	44	29.3
	8・6	150	0	0	0	47	47	31.3

第17表 フェロモントラップにおけるニカメイガ雄成虫の半旬別誘殺数

世代	月・半旬	琴浦町槻下	
		本年	平年
越冬世代	5・5	0	0
	5・6	0	0
	6・1	0	0.2
	6・2	0	0.3
	6・3	0	0.1
	6・4	0	0.5
	6・5	0	0.3
	6・6	0	0.2
	合計	0	1.6
第1世代	8・1	0	0.2
	8・2	0	0.1
	8・3	0	0
	8・4	0	0
	8・5	1	0.5
	8・6	0	1.3
		合計	1

第18表 一般ほ場における斑点米カメムシ類の発生状況（8月10～19日調査）

地区名	市町村名	地点名	斑点米カメムシ類の種類								合計	
			アカシ <sup>ア</sup> カスミカメ	ホソミ <sup>ホ</sup> カスミカメ類	ホソハ <sup>ホ</sup> カメムシ	トゲ <sup>ト</sup> シラホシ カメムシ	クモ <sup>ク</sup> ヘリ カメムシ	シラ <sup>シ</sup> ホシカメムシ	ムギ <sup>ム</sup> カスミカメ	イネ <sup>イ</sup> カメムシ		
東部	鳥取市	嶋	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7
	〃	国府町	玉鉾	5.7	0.3	0	0	0	0	0	0	6.0
	〃	福部町	栗谷	6.0	0	0	0	0.7	0	0	0	6.7
	〃	気高町	重高	8.0	0	0	0	0	0	0	0	8.0
	〃	青谷町	奥崎	24.0	0	0	0	3.3	0	0	0	27.3
	〃	河原町	福和田	3.0	0	0	0.3	2.3	0	0	0.3	5.9
	〃	用瀬町	鷹狩	1.7	0	0.3	0.3	1.3	0	0	0	3.6
	〃	八頭町(旧郡家町)	池田	2.7	0	0.3	0	1.0	0	0	0	4.0
〃	(旧八東町)	徳丸	3.7	0	0	0	0.7	0	0	0	4.4	
	若桜町	須澄	0.3	0	0.3	0.3	0.3	0	0	0	1.2	
中部	倉吉市	小鴨	0.3	0	0	0	0.3	0	0	0	0.6	
	〃	関金町	今西	7.0	0	0	0.7	0	0	0	7.7	
	湯梨浜町(旧羽合町)	長瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	北栄町	瀬戸	8.0	0	0	0	0.3	0	0	0	8.3	
	琴浦町(旧東伯町)	美好	6.0	1.0	0	0	3.7	0	0	0	10.7	
	〃	(旧赤碕町)	出上	11.7	0	0	0	0	0	0	0	11.7
西部	米子市	東八幡	4.7	0	0	0	0	0	0	0	4.7	
	〃	淀江町	福岡	2.0	0	0.3	0	0	0	0	2.3	
	南部町(旧西伯町)	原	2.0	0	0	0	2.7	0	0	7.0	11.7	
	〃	(旧会見町)	天万	0.7	0	0	0.3	0	0	0	0.7	1.7
	〃	(旧溝口町)	二部	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0.7
	大山町	佐摩	1.0	0	0	0	0	0	0	0	1.0	
	江府町	洲河崎	2.3	0	0	0	0	0	0	0	2.3	
	日野町	黒坂	0	0.7	0	1.0	0	0	0	0	1.7	
	日南町	矢戸	2.3	0	0	0	0	0	0	0	2.3	
	〃	下石見		0	0	0	0	0	0	0	0	
東部	虫数(頭)		5.6	0	0.1	0.1	1.0	0	0	0	6.8	
	発生ほ場率(%)		83.3	3.3	10.0	10.0	40.0	0	0	3.3	93.3	
中部	虫数(頭)		5.5	0.2	0	0.1	0.7	0	0	0	6.5	
	発生ほ場率(%)		72.2	11.1	0	5.6	22.2	0	0	0	77.8	
西部	虫数(頭)		1.6	0.1	0	0.1	0.3	0	0	0.8	2.8	
	発生ほ場率(%)		50.0	6.7	3.3	10.0	10.0	0	0	10.0	63.3	
県平均 R4年	虫数(頭)		4.2	0.1	0	0.1	0.7	0	0	0.3	5.4	
	発生ほ場率(%)		67.9	6.4	5.1	9.0	24.4	0	0	5.1	78.2	

注) 捕虫網25往復50回振りすくい取りによる平均成・幼虫数

## (c) 予察灯

第19表 予察灯におけるニカメイガ成虫誘殺状況

項目	地 点								
	鳥取市橋本		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
越冬世代成虫	初飛来日	-	-	7月12日	-	-	-	-	-
	最盛日	-	-	7月12日	-	-	-	-	-
	最盛半旬	-	-	7月第3半旬	-	-	-	-	-
	50%誘殺日	-	-	-	-	-	-	-	-
	終息日	-	-	7月12日	-	-	-	-	-
	総誘殺数(頭)	0	0	1	0.9	0	0	0	0
性比(♀/(♀+♂))	-	-	0	-	-	-	-	-	
第1世代成虫	初飛来日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛半旬	-	-	-	-	-	-	-	-
	50%誘殺日	-	-	-	-	-	-	-	-
	終息日	-	-	-	-	-	-	-	-
	総誘殺数(頭)	0	0	0	0.1	0	0	0	0
性比(♀/(♀+♂))	-	-	-	-	-	-	-	-	

注) -は値がない、又は総誘殺数10頭以下の年が過去10年間の内、5年以上ある場合

第20表 予察灯におけるセジロウンカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取市橋本		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	6月29日	7月12日	7月19日	7月2日	8月17日	7月5日	7月8日	6月29日
最盛半旬	8月5半旬	8月4半旬	9月2半旬	8月4半旬	8月4半旬	8月4半旬	8月5半旬	8月4半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	91	18.7	120	169.5	661	150.8	104	308.9
終息日	10月3日	10月3日	9月27日	10月9日	10月3日	11月19日	10月3日	10月13日
誘殺日数(日)	28	19.1	36	45	30	37.0	39	50.9
総誘殺数(頭)	272	49.9	339	506.5	835	316.9	314	584.4
性比(♀/(♀+♂))	0.29	0.34	0.35	0.35	0.42	0.39	0.32	0.34

第21表 予察灯におけるトビイロウンカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取市橋本		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	9月5日	8月6日	9月27日	7月31日	8月20日	8月17日	7月7日	8月9日
最盛半旬	9月1半旬 9月3半旬	8月4半旬	9月6半旬	8月4半旬	9月3半旬	8月4半旬	10月1半旬	8月4半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	((1))	15.0	((1))	61.3	((2))	25.0	((2))	69.0
終息日	9月12日	10月14日	9月27日	10月5日	9月19日	2月9日	10月3日	9月29日
誘殺日数(日)	2	4.2	1	14.9	3	1.8	4	7.3
総誘殺数(頭)	2	8.6	1	127.1	4	9.1	5	43.7
性比(♀/(♀+♂))	((1))	0.43	((0))	0.47	((1))	0.87	((0.8))	0.44

注) (( ))内数値は、誘殺数が10頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値。

第22表 予察灯におけるヒメトビウンカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取市橋本		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	6月29日	7月19日	6月29日	7月1日	7月2日	7月9日	7月8日	6月24日
最盛半旬	9月2半旬	8月4半旬	8月6半旬	8月4半旬	7月1半旬	8月4半旬	9月2半旬	8月4半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	(6)	48.1	(27)	34.4	(3)	6.2	(6)	14.6
終息日	10月3日	9月23日	9月26日	10月3日	9月22日	9月20日	10月3日	9月27日
誘殺日数(日)	19	14.2	17	25.9	5	10.0	11	21.6
総誘殺数(頭)	26	57.1	49	92.2	6	16.9	19	49.3
性比(♀/(♀+♂))	(0.62)	0.34	(0.35)	0.39	(0.67)	0.38	(0.41)	0.34

注) ( ) 内数値は、誘殺数が30頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値。

第23表 予察灯におけるツマグロヨコバイ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取市橋本		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	9月13日	7月4日	7月24日	6月19日	7月5日	6月23日	7月6日	6月26日
最盛半旬	9月3半旬	8月4半旬	9月1半旬	8月4半旬	7月6半旬、	8月4半旬	7月6半旬	8月4半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	((1))	21.8	322	1655.6	(3)	530.0	23	50.1
終息日	9月13日	9月15日	9月28日	9月30日	8月31日	11月3日	9月16日	9月21日
誘殺日数(日)	1	10.8	43	48.7	14日	52.1	23	29.9
総誘殺数(頭)	1	39.3	623	2902.0	18	1170.0	50	118.3
性比(♀/(♀+♂))	((0))	0.39	0.38	0.44	(0.33)	0.47	0.22	0.21

注) (( )) 内数値は、誘殺数が10頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値。

第24表 予察灯によるニカメイガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—	↑	—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0.9	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0.9	0	0		0
6	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
7	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	欠測	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	1	0.1	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	1	0.1	0	0		0
8	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	0	0	0	0.1	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0.1	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0.2	0	0		0
9	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	欠測	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0.0	0	0		0
10	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
合計		0	0	1	1.2	0	0	0	0

第25表 予察灯によるセジロウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0		—		—	↑		
	2	0	0		—		—			
	3	0	0		—		—			
	4	0	0		—		—			
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0			0
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0	0	0.1	0	0		0	
	5	0	0	0	0.1	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0.2	
	小計	0	0	0	0.2	0	0			0.2
6	1	0	0	0	0	0	0	↓	0.2	
	2	0	0	0	0.1	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0.2		0.5	
	4	0	0	0	0	0	0.2		1.3	
	5	0	0.1	0	0.1	0	1.2		1.5	
	6	1	0.2	0	0.6	0	0.1		5.0	
	小計	1	0.3	0	0.8	0	1.7			8.5
7	1	1	0.9	0	2.9	0	3.2	↓	18.2	
	2	欠測	0.7	0	15.0	0	7.9		14	13.3
	3	0	1.4	0	16.3	0	4.4		0	14.9
	4	0	0.1	2	2.5	0	5.6		37	6.7
	5	3	0.3	11	7.7	0	2.6		22	9.5
	6	0	0.2	1	47.5	0	14.3		2	21.2
	小計	4	3.6	14	91.9	0	38.0		75	83.8
8	1	3	0.4	2	17.3	0	7.4	0	11.1	
	2	0	2.6	0	27.5	0	29.8	0	16.3	
	3	5	3.1	7	21.5	0	12.8	0	12.2	
	4	69	3.2	34	26.3	661	69.3	69	35.4	
	5	91	3.4	40	37.6	52	19.4	104	25.1	
	6	49	4.8	65	89.5	27	29.1	17	125.8	
	小計	217	17.5	148	219.7	740	167.9	190	226.0	
9	1	16	4.9	21	52.0	3	33.4	22	21.8	
	2	9	5.4	120	44.6	47	18.3	3	25.1	
	3	13	7.9	27	38.5	31	19.9	5	38.4	
	4	0	2.4	0	33.0	2	16.8	0	19.3	
	5	欠測	6.1	4	13.5	1	3.9	5	146.3	
	6	0	0.7	5	3.1	9	3.0	10	8.2	
	小計	38	27.4	177	184.7	93	95.3	45	259.2	
10	1	12	0.8	0	5.4	2	2.8	4	3.2	
	2	0	0.1	0	1.3	0	5.2	0	2.7	
	3	0	0	0	0.6	0	10.4	0	0.6	
	4	0	0.1	0	0.1	0	0.6	0	0.6	
	5	0	0.1	0	1.9	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	12	1.1	0	9.3	2	19.0	4	7.0	
合計		272	49.9	339	506.5	835	321.9	314	584.8	

第26表 予察灯によるトビロウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0					↑		
	2	0	0							
	3	0	0							
	4	0	0							
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0			0
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0	0	0	0	0		0	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0			0
6	1	0	0	0	0.1	0	0	↓	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0	0	0	0	0		0	
	5	0	0	0	0.2	0	0		0.1	
	6	0	0	0	0.8	0	0.1		0.3	
	小計	0	0	0	1.1	0	0.1			0.4
7	1	0	0.1	0	0.9	0	0	↓	0	
	2	欠測	0	0	1.0	0	0		1	0.8
	3	0	0	0	0	0	0		0	0
	4	0	0	0	0.4	0	0		0	1.0
	5	0	0.1	0	0.6	0	0		0	0
	6	0	0.4	0	1.3	0	0		0	0
	小計	0	0.6	0	4.2	0	0		1	1.8
8	1	0	0	0	1.3	0	0	0	0.9	
	2	0	0.2	0	14.1	0	0	0	1.2	
	3	0	0.4	0	3.7	0	0	0	0.3	
	4	0	0.2	0	3.2	1	0	0	0.6	
	5	0	0.7	0	6.0	0	0.6	0	0.1	
	6	0	0.2	0	5.5	0	0	0	1.3	
	小計	0	1.7	0	33.8	1	0.6	0	4.4	
9	1	1	0.6	0	26.1	0	1.0	0	3.1	
	2	0	1.9	0	3.7	0	0.4	0	3.7	
	3	1	1.7	0	16.2	2	0	0	1.7	
	4	0	1.6	0	20.5	1	0	0	0.1	
	5	欠測	0	0	3.2	0	0	1	3.0	
	6	0	0	1	4.6	0	1.0	1	1.3	
	小計	2	5.8	1	74.3	3	2.4	2	12.9	
10	1	0	0.1	0	1.3	0	0	2	2.6	
	2	0	0.1	0	8.7	0	4.6	0	18.9	
	3	0	0.2	0	3.5	0	0.4	0	2.4	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0.1	0	0.1	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0	
	小計	0	0.5	0	13.7	0	5.2	2	23.9	
合計		2	8.6	1	127.1	4	8.3	5	43.4	

第27表 予察灯によるヒメトビウンカ成虫の半旬別誘殺

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0		—		—	↑	—	
	2	0	0		—		—		—	
	3	0	0		—		—		—	
	4	0	0		—		—		—	
	5	0	0	0	0.2	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0.2	0	0			0
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0	0	0	0	0		0	
	5	0	0	0	0	0	0		0.1	
	6	0	0.1	0	0	0	0		0.2	
	小計	0	0.1	0	0	0	0			0.3
6	1	0	0	0	0	0	0	↓	0	
	2	0	0	0	0.3	0	0		0.1	
	3	0	0	0	0.1	0	0		0.2	
	4	0	0	0	0	0	0		0.1	
	5	0	0	0	0.1	0	0		0.2	
	6	3	0.6	1	0.4	0	0.5		0.2	
	小計	3	0.6	1	0.9	0	0.5			0.8
7	1	1	1.1	2	0.1	3	0.1	↓	0.5	
	2	欠測	0.2	0	0.5	0	0		1	0.7
	3	0	0.1	0	0.5	0	0.2		0	0.8
	4	0	0.3	0	1.4	0	0.7		1	2.3
	5	1	0.1	0	1.8	0	1.1		0	1.3
	6	0	0.2	0	0.8	1	1.3		0	3.0
	小計	2	2.0	2	5.1	4	3.4		2	8.6
8	1	0	0.1	1	1.0	0	0.8	0	1.9	
	2	0	0.3	0	4.1	0	0.7	0	2.7	
	3	0	0.4	3	2.2	0	0.8	0	2.1	
	4	1	1.2	1	4.7	0	2.4	1	5.9	
	5	0	3.2	0	20.3	0	2.3	0	11.1	
	6	1	2.3	27	13.3	0	0.4	0	3.3	
	小計	2	7.5	32	45.6	0	7.4	1	27.0	
9	1	2	2.1	4	6.2	1	1.2	1	2.4	
	2	6	2.3	3	10.5	0	1.1	6	1.8	
	3	5	36.1	5	13.8	0	0.8	4	2.3	
	4	1	2.9	1	3.1	0	0.2	2	1.7	
	5	欠測	1.3	0	3.0	1	0.4	0	2.0	
	6	1	1.0	1	1.4	0	0	0	0.6	
	小計	15	45.7	14	38.0	2	3.8	13	10.8	
10	1	4	0.8	0	0.6	0	0	1	0.8	
	2	0	0	0	0.4	0	0.1	0	0.2	
	3	0	0.2	0	1.3	0	1	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	4	1.1	0	2.4	0	0.7	1	1.0	
合計		26	57.0	49	92.2	6	15.8	17	48.5	

第28表 予察灯によるツマグロヨコバイ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0		—		—	↑	—	
	2	0	0		—		—		—	
	3	0	0		—		—		—	
	4	0	0		—		—		—	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0			0
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0.1	
	4	0	0	0	0.1	0	0		0	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0.1	0	0			0.1
6	1	0	0	0	0	0	0	↓	0	
	2	0	0	0	0.3	0	0		0.1	
	3	0	0	0	1.1	0	0.3		1.2	
	4	0	0.1	0	0.6	0	0.1		1.9	
	5	0	0.3	0	0.6	0	0.5		0.7	
	6	0	0.1	0	0.7	0	1.1		3.0	
	小計	0	0.5	0	3.3	0	2.0			6.9
7	1	0	0.6	0	1.3	1	4.4	↓	4.4	
	2	欠測	0.8	0	5.7	1	7.0		7	4.6
	3	0	2.7	0	14.7	0	18.4		1	2.9
	4	0	2.3	0	42.7	1	27.6		2	4.9
	5	0	7.1	9	156.7	3	70.3		0	27.5
	6	0	1.9	28	112.1	3	133.7		23	10.2
	小計	0	15.4	37	333.2	9	261.4		33	54.5
8	1	0	1.2	2	66.6	2	118.0	2	11.7	
	2	0	0.5	1	64.2	1	83.4	1	1.2	
	3	0	0	3	16.4	0	21.2	4	0.9	
	4	0	0.4	80	29.0	3	41.9	0	2.4	
	5	0	0.8	10	40.9	1	10.3	1	4.8	
	6	0	2.0	65	164.0	2	7.9	3	8.3	
	小計	0	4.9	161	381.1	9	282.8	11	29.3	
9	1	0	1.6	322	227.5	0	21.4	2	6.9	
	2	0	4.2	53	457.9	0	47.4	3	5.7	
	3	1	9.3	40	1412.0	0	383.4	0	6.1	
	4	0	3.1	4	41.6	0	41.1	1	12.3	
	5	欠測	0.3	5	22.0	0	12.4	0	0.9	
	6	0	0	1	10.1	0	1.0	0	1.0	
	小計	1	18.5	425	2171.1	0	506.9	6	32.9	
10	1	0	0	0	3.7	0	0.1	0	0.1	
	2	0	0	0	8.3	0	0.2	0	0.1	
	3	0	0	0	1.3	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	13.3	0	0.3	0	0.2	
合計	1	39.3	623	2902.1	18	1053.5	50	124.0		

第29表 予察灯によるイネミズゾウムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0		—		—	↑	—	
	2	0	0		—		—		—	
	3	0	0		—		—		—	
	4	0	0		—		—		—	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0		0	
5	1	0	0.1	0	0	0	0	欠測	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0.2	0	0		0	
	4	0	0	0	0.1	0	0		0	
	5	0	0.1	0	0.2	0	0		0.4	
	6	0	0.2	0	0.1	0	0		0	
	小計	0	0.5	0	0.6	0	0		0.4	
6	1	0	0	0	0.1	0	0	↓	0	
	2	0	0.2	0	0	0	0		0	
	3	0	0.2	0	0.2	0	0		0	
	4	0	0	0	0	0	0		0.1	
	5	0	0.1	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0.5	0	0.4	0	0		0.1	
7	1	0	0	0	0.1	0	0	↓	0	
	2	欠測	0	0	0	0	0		1	0
	3	0	0.1	0	0	0	0		0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0		0	0.1
	5	0	0	2	0.1	0	0.1		0	0.2
	6	0	0.3	0	0.6	0	0.6		0	0
	小計	0	0.5	2	0.8	0	1.6	1	0.3	
8	1	0	0.6	0	0.4	0	0.4	0	0	
	2	0	0.1	0	0.1	0	0.6	0	0	
	3	1	0.9	0	0.2	0	0.4	0	0	
	4	0	0.3	0	0	0	0.1	0	0	
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	1	1.9	0	0.8	0	1.6	0	0	
9	1	0	0.2	0	0	0	0.1	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	欠測	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0.2	0	0	0	0.1	0	0	
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1	3.6	2	2.6	0	3.2	1	1.0		

第30表 予察灯によるコブノメイガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—	↑	—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
6	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0.1	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0.1	0	0	0	0		0
7	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	欠測	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
8	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0.2	0	0	0	0		0
	6	0	0.4	0	0.1	0	0		0
	小計	0	0.6	0	0.1	0	0		0
9	1	0	0	0	0	0	0.1	↓	0
	2	0	0.1	0	0.1	0	0		0
	3	0	0.3	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	欠測	0	0	0	0	0		0
	6	0	0.1	0	0	0	0		0
	小計	0	0.5	0	0.1	0	0.1		0
10	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
合計		0	1.2	0	0.6	0	0.1	0	0.1

第31表 予察灯によるアカスジカスミカメ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0		—		—	↑	—	
	2	0	0		—		—		—	
	3	0	0		—		—		—	
	4	0	0		—		—		—	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0		0	
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0	
	2	0	0	0	0.1	0	0.1		0	
	3	0	0.2	0	0.1	0	0.1		0.2	
	4	0	3.1	0	0.5	0	0.3		0	
	5	2	10.7	0	0.5	1	0.1		0.8	
	6	0	16.5	2	4.7	0	0.8		0.8	
	小計	2	30.5	2	5.9	1	1.4		1.9	
6	1	0	11.4	4	8.8	0	0.6	↓	0.9	
	2	0	8.3	2	18.0	2	0.9		0.3	
	3	1	6.4	0	33.0	0	2.8		0.2	
	4	11	10.2	1	31.3	2	3.4		1.3	
	5	2	44.2	29	66.9	9	5.1		4.8	
	6	25	95.7	170	181.1	20	24.2		10.9	
	小計	39	176.2	206	339.1	33	36.9		18.4	
7	1	11	135.6	242	217.4	17	65.8	↓	33.6	
	2	欠測	145.5	96	178.8	12	87.5		8	20.1
	3	32	66.2	22	85.7	0	106.6		7	12.2
	4	18	36.9	4	55.2	1	54.3		1	13.2
	5	4	30.5	7	49.2	1	60.0		1	19.3
	6	23	7.2	5	42.6	18	59.9		1	9.3
	小計	88	421.9	376	628.9	49	434.0	18	107.7	
8	1	80	10.6	6	26.1	26	50.0	↓	3	5.1
	2	8	6.2	0	22.0	19	50.4		0	6.3
	3	10	6.4	2	24.7	13	25.6		1	4.6
	4	8	14.0	3	19.8	2	18.4		2	4.4
	5	12	13.1	1	37.2	6	17.9		11	9.3
	6	21	8.3	18	34.3	0	13.4		6	7.7
	小計	139	58.6	30	164.1	66	175.8	23	37.4	
9	1	4	6.3	12	33.8	0	8.3	↓	7	9.0
	2	0	5.7	9	35.4	1	6.2		6	10.4
	3	4	16.4	26	51.3	0	7.2		3	4.3
	4	127	5.2	37	21.8	2	1.9		16	5.2
	5	欠測	2.6	35	28.7	1	2.6		11	2.4
	6	8	2.7	17	37.2	0	2.7		4	2.3
	小計	143	38.9	136	208.2	4	28.9	47	33.8	
10	1	51	3.8	9	32.3	0	1.3	↓	6	7.6
	2	0	1.2	1	30.2	0	0.8		0	1.4
	3	0	0.3	0	3.2	0	0		0	0.1
	4	0	0	3	0.6	0	0		0	0.4
	5	0	0.2	3	1.7	0	0		0	0
	6	0	0	0	0.2	0	0		0	0
	小計	51	5.5	16	68.2	0	2.1	6	9.6	
合計		462	731.6	766	1414.3	153	679.1	94	208.8	

第32表 予察灯によるホソミドリカスミカメ類成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0		—		—	↑	—	
	2	0	0		—		—		—	
	3	0	0		—		—		—	
	4	0	0		—		—		—	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	0.1
	小計	0	0	0	0	0	0			0.1
5	1	0	0	0	0	0	0.3	欠測	0.3	
	2	0	0	0	0.5	0	1.3		0.5	
	3	0	0	0	0.3	1	0.1		1.8	
	4	0	0.1	0	0.2	0	0.1		1.4	
	5	0	0	0	0.1	0	0.3		0.9	
	6	0	0.1	0	0.4	0	0		0.1	
	小計	0	0.2	0	1.5	1	2.2			5.0
6	1	0	0	0	0.7	0	0.4	↓	0.3	
	2	0	1.6	0	6.0	0	0		6.6	
	3	0	4.9	0	19.0	0	2.4		17.3	
	4	6	7.1	1	13.1	16	11.0		27.0	
	5	1	6.2	6	10.9	25	9.4		13.3	
	6	6	4.2	11	9.4	14	27.4		18.5	
	小計	13	24.0	18	59.1	55	50.7			83.0
7	1	0	4.8	6	12.9	7	51.8	174	24.4	
	2	0	5.1	12	13.5	21	53.9		43.7	
	3	16	4.7	4	12.4	1	46.1		20	56.2
	4	3	3.3	1	8.3	1	35.6		6	32.6
	5	欠測	1.8	1	5.6	3	36.0		1	18.3
	6	0	0.8	0	5.9	3	28.2		5	17.2
	小計	19	20.5	24	58.6	36	251.6		206	192.2
8	1	0	0.6	3	3.3	8	20.0	24	17.6	
	2	3	0.4	0	4.8	6	15.6		0	11.2
	3	1	0.6	0	3.8	8	11.7		2	6.1
	4	0	0.4	3	1.9	4	5.9		0	5.7
	5	0	0.6	2	6.5	8	3.9		2	12.3
	6	0	0.4	2	10.9	0	2.2		2	5.7
	小計	4	3.0	10	31.2	34	59.2			58.6
9	1	0	0	7	8.8	0	3.2	33	8.7	
	2	0	0.2	0	6.9	0	2.6		1	3.3
	3	0	0.4	1	4.2	0	1.9		8	6.6
	4	0	0.4	0	1.4	0	0.6		6	11.8
	5	欠測	0.1	4	2.9	0	2.1		14	5.8
	6	0	0	0	3.1	0	1.1		3	3.8
	小計	0	1.1	12	27.3	0	11.4			39.9
10	1	4	0.3	0	3.6	2	0.4	1	1.8	
	2	1	0	0	2.0	0	0.3		0	0.6
	3	0	0	0	0.2	0	0.7		0	0
	4	0	0	0	0.2	0	0		0	0.4
	5	0	0	0	0.1	0	0.1		0	0.4
	6	0	0	0	0	0	0		0	0.3
	小計	5	0.3	0	6.1	2	1.8			3.7
合計	41	49.1	64	183.7	128	376.9	264	382.4		

第33表 予察灯によるイネカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0					↑	
	2	0	0						
	3	0	0						
	4	0	0						
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
6	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
7	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	欠測	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
8	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	1	0	0	0	0	0		0
	小計	1	0	0	0	0	0		0
9	1	0	0	0	0	1	0	↓	0
	2	1	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	欠測	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	1	0	0	0	1	0		0
10	1	0	0	0	0	0	0	↓	0
	2	0	0	0	0	0	0		0
	3	0	0	0	0	0	0		0
	4	0	0	0	0	0	0		0
	5	0	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0		0
	小計	0	0	0	0	0	0		0
合計		2	0	0	0	1	0	0	0

第34表 予察灯によるフタオビコヤガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平均	本年	平均	本年	平均	本年	平均	
4	1	0	0		—		—	↑	—	
	2	0	0		—		—		—	
	3	0	0		—		—		—	
	4	0	0		—		—		—	
	5	0	0	0	0.2	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0.2	0	0		0	
5	1	0	0	0	0.2	0	0	欠測	0	
	2	0	0	0	0.3	0	0		0	
	3	0	0.2	0	1.3	0	0.2		0.1	
	4	0	0.2	0	0.5	0	0		0	
	5	0	0.2	0	0.2	0	0		0	
	6	0	0.1	0	0.1	0	0.2		0.1	
	小計	0	0.7	0	2.6	0	0.4		0.2	
6	1	0	0	0	0	0	0	↓	0	
	2	0	0.1	0	0	0	0.1		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0	0	0.1	0	0.5		0.2	
	5	0	0	0	0.3	0	0.5		0.4	
	6	0	0.2	0	0.2	0	0.9		0.1	
	小計	0	0.4	0	0.6	0	2.0		0.7	
7	1	0	0.4	0	0.1	0	1.1	↓	0.2	
	2	欠測	0.1	0	0.2	0	0.8		0	0.3
	3	0	0.1	0	0.5	0	3.6		0	0.6
	4	0	3.5	0	0.5	0	3.8		0	1.9
	5	0	1.7	0	0.4	0	5.8		0	6.1
	6	0	0.7	0	1.4	0	13.3		0	4.0
	小計	0	6.5	0	3.1	0	28.3		0	13.0
8	1	0	0.5	0	1.4	0	13.0	↓	0	
	2	0	1.7	0	4.1	0	9.1		0	4.0
	3	0	4.2	0	7.3	0	7.6		0	7.8
	4	0	7.7	0	8.3	0	9.8		0	8.3
	5	0	2.6	0	3.6	0	7.0		0	5.1
	6	0	2.3	2	4.1	0	4.9		0	2.6
	小計	0	18.9	2	28.8	0	51.3		0	29.6
9	1	0	0.4	0	3.4	0	2.1	↓	0	
	2	0	0.4	0	3.0	0	1.3		0	0.9
	3	0	0.4	0	1.1	0	0.4		0	0.6
	4	0	0	0	0.4	0	0		0	0.1
	5	欠測	0	0	0.6	0	0.1		0	0.2
	6	0	0	0	0.1	0	0		0	0
	小計	0	1.2	0	8.6	0	4.0		0	2.6
10	1	0	0	0	0	0	0	↓	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0	0	0	0	0		0	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0		0	0
合計	0	27.7	2	43.9	0	86.1	0	46.0		

イ. ムギ類（二条オオムギ）

（ア）調査地点

- a. 県予察ほ場 鳥取市橋本
- b. 一般ほ場 倉吉市新田・中江、北栄町江北

（イ）調査観察結果

- a. 県予察ほ場

第1表 県予察ほ場における調査（うどんこ病）

調査日	上位3葉の 平均病斑面積率(%)
12.10	0
1.17	0
2.14	0
3.14	0
4.1	0
12	0
21	0
5.2	0
11	0
20	0

注) 品種：しゅんれい

第2表 県予察ほ場における調査（赤かび病）

調査日	発病穂率(%)	発病度
4.21	0	0
26	0	0
5.2	0	0
6	0	0
11	0	0
16	0	0
20	0	0
26	0	0

注) 品種：しゅんれい

b. 一般ほ場（令和4年5月）

第3表 一般ほ場における調査（うどんこ病）

市町村	調査地点	調査番号	5月10日	
			上位3葉の平均病斑面積率 (%)	
北栄町	江北	①	0	
		②	0	
		③	0	
倉吉市	中江	①	0	
		②	0	
倉吉市	新田	①	0	
		②	0	
		③	0	
		④	0	
		⑤	0	
発生ほ場率 (%)			0	

第4表 一般ほ場における調査（網斑病）

市町村	調査地点	調査番号	5月10日	
			発病茎率 (%)	上位3葉の平均病斑面積率 (%)
北栄町	江北	①	100	47.1
		②	100	23.2
		③	100	14.2
倉吉市	中江	①	100	17.3
		②	100	59.9
倉吉市	新田	①	100	50.7
		②	100	27.8
		③	100	20.0
		④	100	27.0
		⑤	70.0	4.7
発生ほ場率 (%)			100	-

第5表 一般ほ場における調査（その他）

病害虫名	調査ほ場数	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計	
縞萎縮病	10	0	0	0	0	0	0
小さび病	10	0	0	0	0	0	0
赤かび病	10	0	0	0	0	0	0
黒節病	10	0	0	0	0	0	0
雲形病	10	0	0	0	0	0	0
斑葉病	10	0	0	0	0	0	0

注) 調査月日：令和4年5月10日

ウ. ダイズ

(ア) 一般ほ場における調査地点

市町村	地点	市町村	地点
鳥取市	橋本	湯梨浜町	長和田
鳥取市	中大路	湯梨浜町	門田
鳥取市河原町	谷一木	北栄町	瀬戸
岩美町	法正寺	米子市	今在家
倉吉市	中江	米子市	東八幡
倉吉市	寺谷	米子市	下郷
湯梨浜町	長江	米子市淀江町	亀浜

(イ) 一般ほ場における調査観察結果

第1表 一般ほ場におけるダイズ害虫の発生状況

調査月日	ハスモンヨトウ							
	調査ほ場数	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	平均白変か所数
		甚	多	中	少	計		
9月21～26日	44	0	0	0	14	14	31.8	0.9

第2表 一般ほ場における成熟期の被害状況（100英サンプリング調査）

サンプリング日	調査ほ場数	紫斑病						モザイク病（褐斑粒）					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月20日～11月11日	35	0	0	0	4	4	11.4	2	0	0	0	2	5.7

サンプリング日	調査ほ場数	フタスジヒメハムシ						カメムシ類					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月20日～11月11日	35	0	0	2	26	28	80.0	0	3	6	20	29	82.9

サンプリング日	調査ほ場数	マメシンクイガ シロイチモジマダラメイガ					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計	
10月20日～11月11日	35	0	0	2	10	12	34.3

## (ウ) フェロモントラップ

第3表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数

月・半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		鳥取市河原町和奈見		湯梨浜町長和田	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5・1	0.0	0.9	-	-	-	-
5・2	3.0	0.7	-	-	-	-
5・3	1.7	2.5	-	-	-	-
5・4	3.3	4.3	-	-	-	-
5・5	6.0	8.5	-	-	-	-
5・6	3.0	8.0	-	-	-	-
6・1	9.2	7.3	-	-	-	-
6・2	25.8	10.2	-	-	-	10.6
6・3	32.0	17.6	-	-	-	11.7
6・4	75.0	16.0	-	-	-	14.6
6・5	36.0	18.0	-	5.9	89.1	28.9
6・6	46.0	32.6	109.4	42.6	445.7	36.6
7・1	69.0	33.9	153.0	32.0	560.0	57.7
7・2	42.7	41.0	82.4	31.7	490.3	93.1
7・3	33.3	39.0	24.0	24.0	342.9	124.2
7・4	37.0	43.3	27.6	31.5	209.2	147.4
7・5	55.8	34.9	44.3	41.7	371.0	139.0
7・6	57.0	39.5	62.7	56.4	467.7	198.0
8・1	29.2	30.7	112.2	67.5	623.3	244.7
8・2	79.0	43.7	336.8	97.1	907.9	273.0
8・3	81.7	40.9	202.8	108.9	826.1	330.0
8・4	53.3	40.2	243.8	95.2	716.6	345.0
8・5	45.0	38.0	259.0	161.1	582.9	478.9
8・6	73.7	66.6	475.8	177.0	587.1	551.7
9・1	27.3	64.5	604.2	164.8	750.4	504.6
9・2	194.6	70.6	-	195.3	1473.3	478.5
9・3	72.9	65.2	-	140.0	870.7	358.0
9・4	164.2	62.6	-	173.2	1080.0	262.5
9・5	67.1	59.3	-	87.1	692.1	267.4
9・6	83.3	55.8	-	79.9	413.6	212.3
10・1	43.0	61.7	-	100.4	333.6	283.8
10・2	43.3	51.6	-	-	393.6	338.3
10・3	55.7	58.3	-	-	366.6	265.5
10・4	38.0	57.5	-	-	303.6	179.6
10・5	32.5	53.3	-	-	363.6	169.0
10・6	41.5	71.1	-	-	289.9	172.9

注) 鳥取市橋本：武田乾式トラップ、その他の地点：ファネルトラップ

## (エ) 予察灯

第4表 予察灯によるイチモンジカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0					↑		
	2	0	0							
	3	0	0							
	4	0	0							
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0		0	
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0	0	0	0	0		0	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0		0	
6	1	0	0	0	0	0	0	↓	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0.1	0	0	0	0		0	
	5	0	0	0	0	0	0		0.5	
	6	1	0.1	0	0.1	0	0		0.2	
	小計	1	0.2	0	0.1	0	0		0.7	
7	1	0	0.3	0	0	0	0	↓	0.1	
	2	欠測	1.0	1	0.2	0	0		0	0.1
	3	1	0.9	0	0	0	0.2		1	0
	4	1	1.1	0	0.3	0	0		0	0
	5	0	1.1	0	0.2	0	0		0	0.2
	6	1	0.5	1	0.2	0	0		0	0.1
	小計	3	4.9	2	0.9	0	0.2		1	0.5
8	1	0	1.1	2	0.4	0	0	1	0	
	2	0	0.8	1	0.4	0	0	0	0.1	
	3	1	0	1	0.4	0	0	1	0	
	4	1	0.4	0	0.2	0	0.1	0	0	
	5	1	0.2	0	0.4	0	0	0	0.3	
	6	0	0	0	0.4	0	0	0	0.2	
	小計	3	2.5	4	2.2	0	0.1	2	0.7	
9	1	1	0.2	0	0.1	0	0	0	0.2	
	2	0	0.1	2	0.2	0	0	0	0.1	
	3	2	0.3	0	0.4	0	0	0	0	
	4	2	0.3	0	0.4	0	0	0	0.1	
	5	欠測	0.1	0	0.2	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0.2	0	0	0	0	
	小計	5	1.0	2	1.5	0	0	0	0.4	
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		12	8.7	8	4.7	0	0.3	3	2.3	

第5表 予察灯によるホソヘリカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0					↑		
	2	0	0							
	3	0	0							
	4	0	0							
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0		0	
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0	0	0	0	0		0	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0		0	
6	1	0	0	0	0	0	0	↓	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0	0	0	0	0		0	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0		0	
7	1	0	0	1	0	0	0	↓	0.1	
	2	欠測	0	0	0.1	0	0		0	0.1
	3	0	0	0	0	0	0		0	0.2
	4	0	0	0	0.2	0	0		0	0
	5	0	0.1	0	0.1	0	0		0	0.1
	6	0	0.1	0	0	0	0		0	0.2
	小計	0	0.2	1	0.4	0	0		0	0.7
8	1	0	0.2	0	0.2	0	0	0	0.1	
	2	0	0.2	0	0.2	0	0	0	0.2	
	3	0	0	0	0	0	0.1	0	0.3	
	4	0	0	0	0	0	0.1	0	0	
	5	0	0.2	0	0.3	1	0.1	0	0.1	
	6	0	0	0	0.4	0	0	0	0	
	小計	0	0.6	0	1.1	1	0.3	0	0.8	
9	1	0	0	0	0.1	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0.1	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.1	
	5	欠測	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0.1	
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		0	0.8	1	1.5	1	0.4	0	1.6	

第6表 予察灯によるアオクサカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0					↑		
	2	0	0							
	3	0	0							
	4	0	0							
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0		0	
	小計	0	0	0	0	0	0			0
5	1	0	0	0	0	0	0	欠測	0	
	2	0	0	0	0	0	0		0	
	3	0	0	0	0	0	0		0	
	4	0	0	0	0	0	0		0	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0.1	0	0		0	
	小計	0	0	0	0.1	0	0			0
6	1	0	0	0	0	0	0	↓	0	
	2	0	0	0	1.2	0	0		0	
	3	0	0	0	0.1	0	0		0	
	4	0	0	0	0	0	0		0	
	5	0	0	0	0	0	0		0	
	6	0	0	0	0	0	0.1		0.1	
	小計	0	0	0	1.3	0	0.1			0.1
7	1	0	0.1	0	0	0	0	↓	0	
	2	欠測	0	0	0	0	0		0	0.4
	3	0	0	0	0.2	0	0		0	0.1
	4	0	0.1	0	0	0	0		0	0.5
	5	0	0	0	0.2	1	0.6		0	0.2
	6	2	0	1	0.7	0	0.1		0	0.1
	小計	2	0.2	1	1.1	1	0.7		0	1.3
8	1	8	0.5	3	0.8	2	0.6	3	0.2	
	2	0	0.8	0	0.4	0	0.1	0	0.4	
	3	0	0.1	1	0.2	2	0.3	7	0	
	4	2	0.1	0	0.3	6	0.8	1	0	
	5	2	0.2	1	0.5	0	0.1	3	0	
	6	0	0	0	0	5	0.8	0	0.1	
	小計	12	1.7	5	2.3	15	2.7	14	1.1	
9	1	0	0	0	0.5	1	0.1	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	1	0	
	3	1	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	1	0	
	5	欠測	0.1	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	1	0.1	0	0.5	0	0.1	2	0	
10	1	0	0	0	0.1	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0.2	0	0	0	0	
	3	1	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0.1	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	1	0	0	0.4	0	0	0	0	
合計		16	2.0	6	5.7	16	3.5	16	2.5	

## 7 果樹病害虫の発生予察調査結果

### (1) 主な果樹病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積* (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率** (%)
			甚	多	中	少	計	
ナシ	589	黒斑病	0	0	10	116	126	21.4
		黒星病	0	2	10	68	80	13.6
		赤星病	0	0	1	16	17	2.9
		うどんこ病	0	0	2	66	68	11.5
		輪紋病	0	0	0	30	30	5.1
		ナシヒメシンクイ	0	0	3	81	84	14.3
		モモシンクイガ	0	0	0	11	11	1.9
		ハマキムシ類	0	0	2	22	24	4.1
		ハダニ類	0	1	10	252	263	44.7
		カメムシ類	0	0	3	38	41	7.0
		コナカイガラムシ類	0	0	2	63	65	11.0
		アブラムシ類	0	0	6	160	166	28.2
		ニセナシサビダニ	0	0	5	236	241	40.9
ブドウ	73	晩腐病	0	0	1	27	28	38.4
		黒とう病	0	0	1	3	4	5.5
		べと病	0	0	2	26	28	38.4
		灰色かび病	0	0	1	19	20	27.4
		チャノキイロアザミウマ	0	0	1	19	20	27.4
		ハマキムシ類	0	0	2	18	20	27.4
カキ	227	炭疽病	0	1	2	58	61	26.9
		灰色かび病	0	0	1	10	11	4.8
		うどんこ病	0	0	3	66	69	30.4
		落葉病類	0	0	2	29	31	13.7
		カキノヘタムシガ	0	0	0	2	2	0.9
		カイガラムシ類	0	1	4	34	39	17.2
		カメムシ類	0	0	5	35	40	17.6
		ハマキムシ類	0	0	3	24	27	11.9
		チャノキイロアザミウマ	0	0	0	2	2	0.9
		カキクダアザミウマ	0	0	0	2	2	0.9
		樹幹害虫 (ヒメコスカシバ、 フタモンマダラメイガ)	0	0	9	74	83	36.6

作付面積\*は、農林水産省作物統計情報（令和5年3月30日確報）より引用

面積率\*\* = 発生程度別面積の合計 (ha) / 作付面積 (ha) × 100

## (2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

### ア. ナシ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
黒斑病 (やや少ない)	4、6、7月の果実における発生量は平年並～平年に比べて少なく、6、7月の新梢葉における発生量も同様であり、収穫期の果実被害は少なかった。	本病の一年枝上の越冬伝染源量は平年並～やや少なかった。開花期～小袋掛け前の胞子飛散量は、調査半月による差が大きく一定の傾向は無かった。少発生には、病原菌の蔓延期である梅雨期の降雨量が少ない傾向で推移したことが影響したと推察された。
黒星病 (平年並)	5月中旬の発生量は平年に比べてやや少なかったものの、後に発生に好適な気象条件が見込まれたため6月2日付けで病害虫発生予察注意報第2号を発表した。6月中下旬は、葉における発生量が平年に比べてやや多かったものの、収穫果被害は目立たなかった。 なお、6月以降の発生量は園による差が大きく、菌密度が高い園では収穫期まで長期間被害が認められた。	冬季の罹病芽の量は平年に比べて少なかったが、前年の発生量から越冬した罹病落葉の量はやや多いと推察された。春季の花そう基部からの分生子飛散量は4月中旬以降に増加して平年に比べてやや多い傾向で推移し、その飛散盛期は4月下旬と5月下旬と考えられた。落葉からの子う胞子飛散盛期は、4月中～下旬(4月13～14日が最多)であり、その期間の飛散量は平年に比べて多かった。県平均開花日は4月11日であり、主な一次感染時期は満開期～落花期頃と考えられた。‘新甘泉’の果実感受性が高い期間は降雨量が少なかった。
輪紋病 (少ない)	発生は少なく、被害は問題とならなかった。	前年の発生量はやや多く、越冬伝染源量もやや多いと推察された。果実への主要感染時期を含む梅雨入り(確定値)～7月上旬までの降雨量が平年に比べて少ない傾向であり、例年に比べて感染に不適な条件であったと推察された。
ハダニ類 (やや多い)	発生時期は、ほぼ平年並の7月中下旬頃から増加し、発生量は、平年に比べてやや多かった。発生種は、カンザワハダニやナミハダニが中心であった。	梅雨明け後の気象条件が、ハダニ類の増殖に好適な条件であったと考えられる。
コナカイガラムシ類 (平年並)	収穫果実において寄生果がみられ、平年並の被害量であった。クワコナカイガラムシ越冬世代のふ化幼虫の発生時期は平年並であった。マツモトコナカイガラムシの発生時期は、各世代ともに平年に比べてやや早かった。発生盛期は、第一世代成虫は平年並、越冬世代成虫、第二世代成虫は平年に比べてやや早かった。誘殺数は、越冬世代成虫、第一世代成虫は平年に比べてやや多く、第二世代成虫は平年並であった。	ふ化時期の調査、フェロモントラップの調査から、カイガラムシ類の種類によって発生時期にバラツキがあるため、防除適期を見極めるのが困難である。
アブラムシ類 (平年並)	発生時期、発生量はともに平年並であった。5月以降に一部地域で発生密度が高い園が確認されたが、概ね平年並の発生量であった。	定期防除が実施された。アブラムシ類に効果の高い薬剤が普及している。
カメムシ類 (やや多い)	予察灯の誘殺数は平年に比べてやや多い～多く、チャバネアオカメムシは、5月下旬、6月下旬、7月、8月下旬～9月上旬、クサギカメムシは、7月上旬、7月下旬～8月中旬に、ツヤアオカメムシは、6月中旬、7月中旬、8月上中旬頃に発生量が増加したと考えられた。一部地域のナシ園においてカメムシ類の果実被害が確認されたが、平年並～やや少ない被害量であった。	クサギカメムシの越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量は平年に比べてやや多いと推察された。7月以降、カメムシ類の加害活動に好適な条件となった。7月～9月にかけて追加防除が実施された。
ニセナシサビダニ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。新梢の停止時期はほぼ平年並で、新梢被害が確認されたがやや少ない傾向であった。	効果の高い薬剤が普及している。発芽前防除および5～6月の防除により発生密度が抑えられた。
モモシクイガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、平年に比べて誘殺数がやや多い地点がみられたが、概ね平年並の発生量であった。発生時期は、ほぼ平年並であった。収穫調査の被害量は平年並であった。	防除の徹底。有袋栽培が主である。
ナシヒメシクイ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、平年に比べてやや多かった。発生時期はほぼ平年並であった。収穫調査の被害量は、平年並～やや多い傾向であった。	7～8月の基幹防除、収穫前の防除の徹底がされたと考えられる。
ハマキムシ類 (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、越冬世代成虫は平年に比べてやや多く、第一世代成虫は平年並～やや多く、第二世代は概ね平年並であった。また、発生時期は平年並であった。	基幹防除が徹底されたと考えられる。

## イ. ブドウ

病害虫名（概評）	発生経過の概要	発生原因の解析
晩腐病 （平年並）	発生量が少なかった地域もあったが一部で発生があり、全体としては平年並の発生量であった。	防除が徹底された。梅雨期前半の降水量が少ない傾向で推移した。
べと病 （平年並）	防除が不十分な園や風通しの悪い園の一部で発生が認められたが、全体としては少なかった。ハウスの谷部等で一部で認められたが、昨年よりも減少した。	防除が徹底された。梅雨期前半の降水量が少ない傾向で推移した。
灰色かび病 （やや少ない）	風あたりの強い園では発生が認められた。	防除が徹底された。
チャノキイロアザミウマ （やや少ない）	黄色粘着板トラップ（無加温ハウス）の結果、8月下旬～9月中旬にかけて誘殺数が増加したが、平年に比べてやや少なかった。果実の被害量についても平年に比べてやや少なかった。	防除が徹底された。
ハマキムシ類 （平年並）	フェロモントラップ調査の結果、発生量・発生時期は、各世代ともに概ね平年並であった。収穫果に被害が見られたものの全体的にやや少なかった。	防除が徹底された。

## ウ. カキ

病害虫名（概評）	発生経過の概要	発生原因の解析
炭疽病 （やや多い）	‘富有’、‘輝太郎’で発生が認められた。‘輝太郎’でこれまで発生のない園で認められた。一部の園で発生が認められた。昨年までの多発園で被害が認められ、それ以外の園でも発生が増加傾向。9月29日付けで、病害虫発生予察注意報が発表された。	菌密度が増加傾向であり、4月第6半旬及び7月中旬の降雨により枝への感染が起こり、8月～9月上旬の降雨で果実感染が拡大した。
うどんこ病 （やや少ない）	一部の園で発生が認められたが、全体として発生量はやや少なかった。	防除が徹底された。
カキノヘタムシガ （平年並）	発生時期、発生量ともに平年並であった。	被害量は例年少ない。越冬量が平年並であったものと推察される。
カメムシ類 （やや多い）	予察灯の誘殺数は平年に比べてやや多い～多く、チャバネアオカメムシは、5月下旬、6月下旬、7月、8月下旬～9月上旬、クサギカメムシは、7月上旬、7月下旬～8月中旬に、ツヤアオカメムシは、6月中旬、7月中旬、8月上旬頃に発生量が増加した。収穫果に被害が見られ、平年に比べてやや多かった。	クサギカメムシの越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量はやや多いと推察された。7月以降、カメムシ類の加害活動に好適な条件となった。8月中旬～9月下旬にかけて追加防除が実施された。
アザミウマ類 （平年並）	発生量、被害ともに平年並であった。	近年、被害が少ない。
フジコナカイガラムシ （やや多い）	フジコナカイガラムシのフェロモントラップ調査の結果、発生時期は、越冬世代は平年並、第一世代、第二世代は平年に比べてやや早かった。誘殺数は、越冬世代、第一世代成虫は平年並、越冬世代、第二世代成虫は平年に比べてやや多かった。収穫果に被害が見られ、平年に比べてやや多かった。	世代を経るごとに発生時期のバラツキが大きくなり、適期防除を見極めるのが困難である。
樹幹害虫 （ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ） （平年並）	フェロモントラップ調査の結果（ヒメコスカシバ）、発生時期、発生量ともに平年並であった。一部地域で被害が確認されたが平年並の被害量であった。	昨年の樹幹害虫の被害量は平年並であったため、越冬量は平年並と推察された。近年、被害が多い。簡易で安価な防除手法がない。

## エ. その他（特記事項）

病害虫名 （概評） 【樹種】	発生経過の概要	発生原因の解析
クワゴマダラヒトリ （少ない） 【果樹類】	春季のクワゴマダラヒトリは、一部地域で発生が見られたが、全体としての発生量は少ない傾向であった。	発生量が減少した要因は不明であるが、現在、発生密度が低い時期と推察される。

### (3) 調査の概要と結果

#### ア ナシ

#### (ア) 生育状況

第1表 県予察ほ場及び地区予察ほ場における生育状況（二十世紀）

調 査 項 目	県予察ほ場（園試）		
	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>
	月. 日	月. 日	月. 日
ア 催 芽 期	3. 11	3. 4	3. 11
イ 発 芽 期	3. 23	3. 12	3. 22
ウ 脱 苞 期	4. 1	3. 21	3. 29
エ 展 葉 期	4. 6	3. 29	4. 4
オ 開 花 始 め	4. 8	3. 31	4. 6
1 満 開	4. 12	4. 3	4. 11
2 落 花	4. 22	4. 12	4. 19
カ 新梢の生育状況			
1 新梢の伸長開始	4. 25	4. 20	4. 19
2 停 止 期	7. 1	7. 1	7. 2
3 第2次伸長停止期	- <sup>b</sup>	8. 2	8. 8
キ 袋 掛 期			
1 小 袋	5. 10	5. 3	5. 10
2 大 袋	6. 3	6. 11	6. 9
ク 落 葉 期	11. 29	11. 17	11. 19

<sup>a</sup> 平成29年～令和3年の平均

<sup>b</sup> 欠測

概要：本年の県内の平均的満開日は4月11日となった。4～5月の平均気温は5月上旬を除き平年に比べて高く推移したが、5月以降の降水量は平年を大きく下回ったことから、葉色値は平年並となり、展葉数は平年を下回った。

主な病害虫の発生量について、病害は概ね平年並以下であり、虫害ではハダニ類とカメムシ類がやや多かった。

(イ) 黒斑病

a. 分生胞子の形成状況

第2表 二十世紀ナシ露地栽培ほ場における胞子採集状況

月・半旬	本年	平年
3・5	3	3.2
6	0	7.6
4・1	0	6.8
2	6	4.4
3	15	7.0
4	8	7.1
5	25	13.3
6	8	15.9
5・1	6	14.6
2	4	17.7
3	10	33.4
4	103	61.8
5	73	87.5
6	60	156.7

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均  
採集時間：午前10時30分～正午の1.5時間  
検鏡：カバーガラス (18×18mm) 内の *Alternaria* spp. 胞子数

b. 新梢葉の発病状況

第3表 県予察ほ場における発病状況

月・旬	調査葉数 (枚)	病葉数 (枚)	病葉率 (%)	
			本年	平年
5・中	125	2	1.6	1.0
	164	2	1.2	1.4
6・上	205	3	1.5	2.6
	244	5	2.0	3.5
	292	9	3.1	5.4
7・上	357	23	6.4	7.3
	373	70	18.8	10.0
	383	88	23.0	11.0
8・上	387	98	25.3	11.8
	381	96	25.2	12.2
	368	88	23.9	13.9
9・上	361	100	27.7	16.9
	335	137	40.9	19.5
	307	145	47.2	23.4

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

第4表 新梢葉の発病状況

地 区		新 梢 葉 の 発 病 率 (%)								
		6 月			7 月			9 月		
		本年	前年	平年 <sup>a</sup>	本年	前年	平年 <sup>a</sup>	本年	前年	平年 <sup>a</sup>
県予察ほ場		2.6	1.7	3.4	5.4	9.4	10.9	10.7	15.1	17.9
東 部	鳥取市									
	河原町 山 上	0	- d	- d	0.6	- d	- d	14.9	- d	- d
	佐治町 高 山	1.1	0	- c	0	4.6	- c	1.9	6.1	- c
	青谷町 青 谷	1.3	5.3	- b	0.5	8.2	- b	5.7	7.8	- b
	八頭町 花 原	2.3	0	0.3	1.0	0.5	1.4	3.8	0.5	3.7
中 部	湯梨浜町1 別 所	2.6	2.1	1.9	0.6	0	1.9	1.1	1.1	3.2
	湯梨浜町2 勝負谷	4.2	1.5	0.9	1.0	0.5	1.6	2.8	8.3	4.8
	倉吉市 中 野	2.3	0.5	0.6	2.4	0	1.6	2.6	1.6	4.1
	琴浦町 竹ノ内	6.9	1.6	1.4	0.5	2.5	3.4	4.9	1.6	3.1
	南部町 朝 金	0.9	0	- b	0	0	- b	0.8	0.5	- b
平 均		2.4	1.4	1.4	1.2	2.9	3.5	4.9	4.7	6.1

- <sup>a</sup> 平成24年～令和3年の平均
- <sup>b</sup> 令和元年より調査園を変更した。
- <sup>c</sup> 令和3年より調査園を変更した。
- <sup>d</sup> 令和4年より調査園を変更した。

c. 果実の発病状況

第5表 収穫果実及び病落果の発病状況

地 区	収 穫 果 実						病 落 果 率 (%)		
	月 日	調 査 果 数	病 果 数	病 果 率	前 年	平 年 <sup>a</sup>	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>
県予察ほ場	9. 2	200	11	5.5%	2.5%	8.1%	9.6	3.2	9.1

<sup>a</sup> 平年：平成24年～令和3年の平均

第6表 ポリ袋検定による幼果の発病状況

地 区	ポリ袋検定法による 幼果の発病率 (%)			
	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>	
県予察ほ場	4.0	0	1.5	
東 部	鳥取市			
	河原町 山 上	- <sup>d</sup>	- <sup>e</sup>	- <sup>e</sup>
	佐治町 高 山	0	0	- <sup>c</sup>
	青谷町 青 谷	2.0	0	- <sup>b</sup>
	八頭町 花 原	0	1.0	0.3
中 部	湯梨浜町1 別 所	0	0	0.5
	湯梨浜町2 勝負谷	0	0	1.0
	倉吉市 中 野	0	0	0.5
	琴浦町 竹ノ内	0	0	0.9
	南部町 朝 金	0	0	- <sup>b</sup>
平 均		0.7	0.1	0.8

<sup>a</sup> 平成24年～令和3年の平均

<sup>b</sup> 令和元年より調査園を変更した。

<sup>c</sup> 令和3年より調査園を変更した。

<sup>d</sup> 樹の伐採により調査を行えなかった。

<sup>e</sup> 令和4年より調査園を変更した。

第7表 破袋調査による果実発病状況

地 区	被 袋 果 の 発 病 率 (%)						
	6 月			7 月			
	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>	
県予察ほ場	1.7	0	2.0	8.3	1.7	6.7	
東 部	鳥取市						
	河原町 山 上	0	- <sup>d</sup>	- <sup>d</sup>	0	- <sup>d</sup>	- <sup>d</sup>
	佐治町 高 山	0	0	- <sup>c</sup>	0	1.7	- <sup>c</sup>
	青谷町 青 谷	1.7	1.7	- <sup>b</sup>	3.3	6.7	- <sup>b</sup>
	八頭町 花 原	0	0	0.2	0	0	0.3
中 部	湯梨浜町1 別 所	0	1.7	0.2	0	0	0
	湯梨浜町2 勝負谷	0	0	0.3	0	0	0
	倉吉市 中 野	1.7	0	0.3	6.7	0	0.7
	琴浦町 竹ノ内	0	0	0.5	0	0	1.7
	南部町 朝 金	0	0	- <sup>b</sup>	0	0	- <sup>b</sup>
平 均		0.5	0.4	0.6	1.8	1.1	1.6

<sup>a</sup> 平成24年～令和3年の平均

<sup>b</sup> 令和元年より調査園を変更した。

<sup>c</sup> 令和3年より調査園を変更した。

<sup>d</sup> 令和4年より調査園を変更した。

第8表 県内定点調査ほ場における越冬密度調査（11～12月調査）

地 区		病 枝 率 (%)		枝当たり病斑数(個)		短果枝の病芽率(%)	
		本 年	平 年 <sup>a</sup>	本 年	平 年 <sup>a</sup>	本 年	平 年 <sup>a</sup>
県予察ほ場		6.7	8.7	0.1	0.1	1.7	1.3
東 部	鳥取市						
	河原町 山 上	6.7	- <sup>d</sup>	0.1	- <sup>d</sup>	1.7	- <sup>d</sup>
	佐治町 高 山	0	- <sup>b</sup>	0	- <sup>b</sup>	3.3	- <sup>b</sup>
	青谷町 青 谷	0	- <sup>c</sup>	0	- <sup>c</sup>	0	- <sup>c</sup>
	八頭町 花 原	6.7	2.0	0.1	0.0	3.3	4.0
中 部	湯梨浜町1 別 所	0	1.3	0	0.0	5.0	2.6
	湯梨浜町2 勝負谷	13.3	2.0	0.3	0.1	3.3	0.3
	倉吉市 中 野	13.3	2.0	0.1	0.0	0	1.8
	琴浦町 竹ノ内	0	7.1	0	0.1	0	0.3
	南部町 朝 金	0	- <sup>c</sup>	0	- <sup>c</sup>	1.7	- <sup>c</sup>
平 均		4.7	3.9	0.1	0.1	2.0	1.7

<sup>a</sup> 平成24年度～令和3年度の平均

<sup>b</sup> 令和3年度より調査園を変更した。

<sup>c</sup> 令和元年度より調査園を変更した。

<sup>d</sup> 令和4年より調査園を変更した。

(ウ) 黒星病

a. 分生孢子及び子のう孢子の孢子飛散消長

第9表 芽基部病斑上からの分生孢子採集数

月・半旬	雨水中の分生孢子数(個/10ml)		
	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>
3・5	1.5	0	1.7
6	5.3	0	5.0
4・1	降雨なし	23.8	8.7
2	0.3	降雨なし	9.6
3	36.9	12.5	6.5
4	降雨なし	23.0	6.2
5	47.1	降雨なし	35.2
6	48.4	11.4	15.1
5・1	降雨なし	2.1	11.0
2	2.0	170.5	21.1
3	6.2	34.7	8.4
4	降雨なし	51.4	18.2
5	10.0	18.0	70.5
6	75.1	7.5	14.6

<sup>a</sup> 平成24年～令和3年の平均

第10表 病落葉からの子のう孢子採集数

月・半旬	病落葉からの子のう孢子数(個)		
	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>
3・5	0	0	5.8
6	7	0	21.2
4・1	0	0	18.6
2	0	0	6.8
3	305	1	15.5
4	2	0	6.0
5	59	0	54.3
6	62	0	3.7
5・1	0	0	1.3
2	1	0	0.2
3	1	0	0
4	0	0	0
5	0	0	0
6	0	0	0

<sup>a</sup> 平成28年～令和3年の平均  
調査方法を変更した値を令和2年度より採用。

第11表 春期ナシ黒星病の分生孢子飛散時期

年次	飛散始め	最盛期	終期
本年	月.日 3.21	月.日 4.21	月.日 - <sup>b</sup>
前年	3.20	5.10	5.31
平年 <sup>a</sup>	3.26	5.4	5.26

<sup>a</sup> 平成24年～令和3年の平均

<sup>b</sup> 飛散が終息しなかったため把握できなかった。

第12表 春期ナシ黒星病の子のう胞子飛散時期

年次	飛散始め	最盛期	終期
本年	月.日 3.26	月.日 4.13	月.日 5.15
前年	4.14	4.14	4.14
平年 <sup>a</sup>	4.1	4.13	4.27

<sup>a</sup> 平成28年～令和3年の平均

b. 幼果の発病調査

第13表 県内定点調査ほ場における発病状況（5月調査）

地区名		品種	発病果率（%）		
			本年	前年	平年 <sup>a</sup>
県予察ほ場		幸水	0	0	0
東部	鳥取市 久末	豊水	0	0	0.5
	佐治町 津無	豊水	0	0	0
	佐治町 津無	新甘泉	0	0	0
	青谷町 河原	新甘泉	0.3	0.3	1.1
	八頭町 山路	新甘泉	0	0	0.1
中部	湯梨浜町 方面	新甘泉	0	0	0
	倉吉市 悴谷	幸水	0	0	0
	倉吉市 関金	幸水	1.0	15.7	5.6
	琴浦町 西宮	幸水	0	0	0
西部	大山町 陣構	新甘泉	0	0.7	3.0
	米子市 稲吉	新甘泉	0	0	0.1
	南部町 朝金	幸水	0	0	0
平均			0.1	1.3	0.8

<sup>a</sup> 平成24年～令和3年のうち2年以上の値の平均

c. 休眠期における芽りん片病斑の発生状況

第14表 ナシ黒星病の越冬病芽割合

地区名		品種	花芽数	病芽数	病芽率（%）		
					本年	前年	平年 <sup>a</sup>
県予察ほ場		新甘泉	120	0	0	0	0.7
		幸水	118	0	0	0	0.5
東部	鳥取市1	豊水	130	1	0.8	3.3	5.5
		幸水	117	0	0	3.5	1.7
	鳥取市2	新甘泉	302	0	0	0	1.3
		豊水	104	5	4.8	0.7	5.5
	鳥取市3	新甘泉	119	1	0.8	0	2.7
	八頭町	新甘泉	124	1	0.8	0	- <sup>b</sup>
	豊水	116	6	5.2	0	4.0	
中部	湯梨浜町	新甘泉	115	0	0	0	1.0
	倉吉市	新甘泉	100	1	1.0	1.2	1.2
		幸水	121	0	0	0	0.2
	琴浦町	新甘泉	78	0	0	0	0.5
西部	大山町1	新甘泉	155	0	0	0	2.2
	大山町2	新甘泉	164	4	2.4	1.7	3.0
平均					1.1	0.7	2.1

<sup>a</sup> 平成25年～令和4年の期間で3年以上の値の平均値

<sup>b</sup> 令和2年から調査品種を変更または追加した

(エ) 赤星病

a. バクシン上の冬孢子堆と小生子の形成時期

第15表 県予察ほ場におけるバクシン上の冬孢子堆成熟状況及び小生子形成状況

調査月・日	ナシの生育状況	冬孢子堆成熟状況		小生子形成状況	
		本年	前年	本年	前年
3.22	展葉期	50%	30%	+	+
3.29					30%
4.1					50%
4.5					++
4.6					+++
4.8					+++
4.9	満開期	80%	100%	++~+++	
4.11					
4.12					
4.15					

b. 果そう葉の発病状況

第16表 県予察ほ場及び地区予察ほ場における赤星病の発病状況（6月）

項目	八頭町		湯梨浜町		県予察ほ場	
	本年	前年	本年	前年	本年	前年
調査葉数	300	300	300	300	300	300
病葉率(%)	0	0	0	1.7	0	1.0

(オ) ナシヒメシンクイ

第17表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	県予察ほ場		湯梨浜町		鳥取市福部町		八頭町花原	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	10.0	2.9	97.0	61.6	27.0	14.7	87.5	17.6
中	6.0	2.8	124.0	65.3	66.0	31.3	139.8	31.3
下	12.0	1.4	34.5	34.1	33.6	18.9	42.7	31.5
5・上	6.0	1.7	19.5	23.7	14.4	9.5	10.3	8.9
中	0	0.3	15.3	17.6	9.0	3.1	6.2	4.9
下	0	0.2	24.8	5.5	8.0	4.1	12.8	1.8
6・上	3.0	1.6	78.0	41.3	52.0	17.5	33.0	16.3
中	10.0	1.7	59.0	51.7	69.0	40.6	30.0	26.9
下	2.0	1.4	46.0	21.2	29.0	20.8	24.0	15.8
7・上	7.0	2.4	34.0	24.9	30.0	13.2	30.0	10.5
中	8.0	5.4	78.0	33.9	29.0	24.3	20.0	14.3
下	10.0	3.1	47.0	29.4	45.0	28.0	25.0	25.8
8・上	4.7	12.5	40.8	39.3	35.0	23.7	36.0	19.8
中	8.3	7.1	68.4	40.9	26.0	24.7	56.0	19.2
下	10.0	6.3	85.8	65.5	74.0	35.1	43.0	24.1
9・上	5.0	18.1	40.0	70.1	64.6	35.0	35.5	14.9
中	10.0	9.0	9.0	28.5	46.5	26.5	13.6	10.5
下	3.0	1.9	3.1	7.3	19.2	9.3	0	1.9
10・上	1.0	0.2	0.9	1.2	3.8	2.3	0	0.2
中	0	0	0	0.3	1.0	0.1	0	0.0
下	0	0	0	0.3	0	0	0	0
計	116.0	80.1	905.0	663.5	682.0	382.6	645.3	296.3

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

要約：総誘殺数は、福部町、八頭町で平年に比べて多く、県予察ほ場、湯梨浜町でやや多かった。

(カ) モモシクイガ

第18表 フェロモントラップ（武田製）による誘殺消長

月・旬	県予察ほ場		湯梨浜町		鳥取市福部町		八頭町花原	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0	0	1.0	0.9	0	0	0	0
下	0	0	11.0	29.9	0	2.4	0	2.4
6・上	0	0.2	108.5	104.7	11.0	5.5	8.5	9.3
中	0	0.3	165.5	78.7	11.0	13.4	14.6	18.5
下	0	0	130.0	49.5	38.0	13.1	10.0	15.0
7・上	0	0	141.0	78.3	18.0	18.0	9.0	14.0
中	0	0	72.0	24.4	11.0	6.5	1.0	6.4
下	0	0	92.0	33.3	4.0	6.2	11.0	5.1
8・上	0	0.5	101.5	80.7	4.0	18.8	54.0	16.1
中	0	0.1	135.0	63.9	10.0	16.9	48.0	9.3
下	0	0	82.0	53.4	5.0	4.6	16.0	5.8
9・上	0	0	45.0	60.8	4.6	3.0	0.9	0.5
中	0	0	22.5	14.1	0.5	1.4	0.1	0.3
下	0	0	0	1.5	0	0.1	0	0
10・上	0	0	0	0.3	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1.1	1107.0	674.5	117.0	109.8	173.0	102.6

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

要約：総誘殺数は、湯梨浜町で平年に比べて多く、八頭町でやや多く、福部町で平年並。

県予察ほ場で平年に比べて少なかった。

(キ) ハマキムシ類

a. チャノコカクモンハマキ

第19-1表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	チャノコカクモンハマキ							
	県予察ほ場		八頭町池田		鳥取市福部町		湯梨浜町北福	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	3.0	2.9	0	0.5	0	0.4	0	3.0
中	5.0	5.9	1.0	1.3	7.0	4.5	1.0	2.3
下	13.6	12.6	4.0	4.3	9.0	9.4	2.0	1.6
5・上	62.4	38.1	6.0	13.8	55.0	29.5	1.0	0.7
中	22.3	23.5	2.0	9.1	42.0	23.4	2.0	1.2
下	3.7	3.6	8.0	4.8	12.0	6.8	2.0	0.6
6・上	0.4	2.5	4.0	2.4	2.0	3.6	1.0	0.4
中	3.6	6.6	4.0	3.6	30.0	12.9	2.0	0.7
下	15.0	19.0	14.0	9.1	54.0	20.6	2.0	0.3
7・上	7.0	23.5	8.0	10.1	45.0	14.7	0.0	1.1
中	0	4.5	2.0	3.3	13.0	8.7	1.0	0.5
下	5.0	3.3	2.0	3.2	31.0	11.4	1.0	0.8
8・上	7.8	7.1	0	10.4	36.0	19.3	0	1.0
中	8.3	9.3	4.0	7.0	23.0	11.6	0	0.9
下	9.8	3.9	1.0	3.7	8.0	15.7	0	1.2
9・上	9.1	5.2	0	2.1	25.0	32.0	0	1.3
中	25.9	17.8	5.0	6.8	54.0	25.0	0	1.3
下	45.6	31.6	5.0	6.9	51.0	27.2	0	1.7
10・上	46.4	36.5	5.0	11.0	52.0	22.3	2.0	0.4
中	27.0	24.8	10.0	6.0	24.0	13.8	1.0	0.3
下	15.0	13.0	2.0	3.2	10.0	5.3	1.0	0.5
計	336.0	295.4	87.0	122.7	583.0	318.1	19.0	21.8

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

要約：総誘殺数は、福部町で平年に比べてやや多く、県予察ほ場、八頭町、湯梨浜町で平年並。

b. チャハマキ

第19-2表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	チャハマキ							
	県予察ほ場		八頭町池田		鳥取市福部町		湯梨浜町北福	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0.1	0	0.6	5.0	0.6	40.0	6.2
中	0	0.1	8.0	3.9	17.0	1.6	45.0	19.1
下	9.1	0.4	40.0	10.4	21.0	3.2	51.0	20.3
5・上	8.9	3.3	82.0	11.1	73.0	21.2	60.0	29.1
中	7.2	2.3	6.0	11.0	85.0	24.5	65.0	42.3
下	1.8	0.9	12.0	6.9	34.0	22.2	75.0	67.9
6・上	2.0	0.3	22.0	8.7	26.0	11.4	25.0	63.3
中	0	0.4	4.0	4.3	9.0	4.9	25.0	45.3
下	0	0.1	8.0	2.3	26.0	6.2	29.0	29.3
7・上	1.0	1.1	4.0	3.4	4.0	8.6	45.0	16.3
中	1.0	0.9	2.0	2.9	5.0	11.3	47.0	30.0
下	0	1.1	17.0	5.6	7.0	9.7	48.0	37.0
8・上	0.3	0.4	6.0	8.1	4.0	9.3	30.0	21.8
中	2.5	0.3	1.0	5.7	3.0	7.7	31.0	20.4
下	0.3	2.9	4.0	2.3	4.0	8.6	34.0	17.1
9・上	5.5	0.7	12.0	3.7	12.0	8.7	30.0	37.3
中	5.5	0.6	10.0	4.1	9.0	22.0	26.0	40.3
下	0.4	1.6	14.0	4.2	1.0	36.5	70.0	32.7
10・上	3.6	3.1	0	10.9	33.0	38.8	137.0	21.3
中	3.0	5.6	15.0	6.2	9.0	21.1	103.0	24.6
下	4.0	2.9	14.0	8.0	36.0	15.9	67.0	23.4
計	56.0	29.0	281.0	124.3	423.0	294.0	1083.0	645.0

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

要約：総誘殺数は、八頭町、福部町、湯梨浜町で平年に比べてやや多く、県予察ほ場で平年並。

c. ハマキムシ類による幼果の被害

第20表 地区予察ほ場における被害状況(6月上旬調査)

地点	6月		収穫期	
	調査果数	被害果率(%)	調査果数	被害果率(%)
八頭町	300	0	150	0
湯梨浜町	300	0	30	0

要約：果実被害は確認されなかった。

(ク) コナカイガラムシ類

a. コナカイガラムシ類の越冬密度調査

第21表 県内定点ほ場における発生状況(1バンドあたり)

年次	県予察ほ場		巡回調査園(9園)	
	幼虫 <sup>1)</sup>	卵のう <sup>2)</sup>	幼虫	卵のう
本年	0	0	0	0
平年	0	0	0	0

(注) <sup>1)</sup>：マツモトコナカイガラムシ幼虫

<sup>2)</sup>：クワコナカイガラムシ卵のう

要約：バンド内にコナカイガラムシ類は確認されなかった。

b. クワコナカイガラムシ

第22表 県予察ほ場におけるふ化状況

区別	ふ化初日	50%ふ化日	ふ化終息日	50%ふ化日
				平年比(日)
百葉箱	月日	月日	月日	
	越冬世代	4.28 (5.2)	5.7 (5.8)	5.13 (5.20)
第1世代	- (7.1)	- (7.7)	- (7.17)	-

(注) ( )内の平年の月日

平年：平成24年～令和3年の平均

要約：ふ化最盛期は、越冬世代は平年並であった。第一世代については、卵のうが採取できず、調査を行えなかった。

c. 収穫果実の被害

第23表 果実の被害状況

	被害果率(%)		
	県予察ほ場(6号)	八頭町	湯梨浜町
本年	0	0	0
平年	0	0	0

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均  
要約：被害は確認されなかった。

(ケ) ハダニ類

第24表 県予察ほ場におけるハダニ類の越冬密度調査

種類	年次別	県予察ほ場
1. クワオオハダニ卵 (短果枝あたり)	本年	0
	平年	0.3
2. カンザワハダニ (バンドあたり)	本年	0
	平年	0.0
3. ナミハダニ (バンドあたり)	本年	0
	平年	0.1

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均  
要約：ハダニ類の越冬密度は平年に比べて少なかった。

第25表 県内定点調査ほ場におけるハダニ類の越冬密度調査

調査地点	カンザワハダニ (バンドあたり)			ナミハダニ (バンドあたり)			クワオオハダニ (短果枝あたり)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
東部 鳥取市 佐治町 鳥取市 青谷町 八頭町 郡家	0	0	-	0	0	-	10.9	38.0	-
	0	0	-	0	0	-	2.8	20.0	-
	0	15.3	40.1	0	13.7	1.8	0	0	0
中部 倉吉市 中野 湯梨浜町 別所 北栄町 由良宿 琴浦町 竹ノ内	0	0	0.1	0	0	0	0	2.4	0.2
	6.8	0	0.3	0	0	0.1	2.3	0.0	0.8
	0	0.3	0.0	0	0.7	0.1	0	0	0.3
	0	0.7	8.3	0	1	0.1	0	0	0.3
西部 大山町 中山 南部町 朝金	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
平均	0.8	1.8	8.1	0	1.7	0.3	1.8	6.7	0.3

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均。

青谷町は令和元年度、佐治町は令和3年度、大山町は令和4年度から調査地点変更したため、平年値は未記載。

要約：カンザワハダニは平年並、ナミハダニは平年に比べて少なく、クワオオハダニは平年に比べてやや多かった。

第26表 県予察ほ場におけるクワオオハダニ越冬卵のふ化状況

区別	ふ化 初日	50% ふ化日	ふ化 終息日	50%ふ化日 平年比
	月.日	月.日	月.日	
百葉箱	- (4.14)	- (4.22)	- (5.1)	-

(注) ( )内は平年の月日 平年：平成24年～令和3年の平均

要約：本年度は越冬卵を採取できなかったため、調査を行えなかった。

第27表 県予察ほ場におけるハダニ類の発消長（1葉当たり雌個体数）

月・旬	カンザワハダニ		ナミハダニ		クワオオハダニ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0
6・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0.0	0	0
7・上	0	0.0	0	0.0	0	0
中	0	0.0	0	0	0	0
下	0	0	0	0.0	0	0
8・上	0	0.1	0.0	0.1	0	0
中	0	0.0	0.0	0.1	0	0
下	2.0	0.1	0	0.1	0	0.0
9・上	0.1	0.7	0.1	0.1	0	0.0
中	0.1	0.2	0.0	0.2	0	0.0
下	0.1	0.0	0.1	0.1	0	0
10・上	0.1	0.1	0	0.1	0	0
中	0.1	0.1	0	0.1	0	0.0
下	0	0.0	0	0.0	0	0

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均、3樹100葉調査

ダニ剤の散布履歴（7/8 ダニコングフロアブル、8/5 ダニゲッターフロアブル、8/9 ダニオーテフロアブル、9/8 コロマイト乳剤）

第28表 地区予察ほ場におけるハダニ類寄生葉率<sup>1)</sup>の推移

地区 月・旬	八頭町			湯梨浜町		
	ナミハダニ	カンザワハダニ	クワオオハダニ	ナミハダニ	カンザワハダニ	クワオオハダニ
5・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
6・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
7・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
8・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
9・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

(注) 1) 50葉当たり寄生葉率、( )内の数字は1葉当たり虫数

要約：調査期間中ハダニ類の発生は確認されなかった。

第29表 県内定点調査ほ場における発生状況（7月調査）

地区	寄 生 葉 率 (%)	寄 生 葉 率 (%)					
		クワオオハダニ		カンザワハダニ		ナミハダニ	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
東部	鳥取市 佐治町	0	-	0	-	0	-
	鳥取市 青谷町	1.7	-	30.0	-	0	-
	八頭町 花原	1.7	0.2	16.7	2.3	0	0.7
中部	倉吉市 中野	0	0	0	0	0	0.2
	湯梨浜町 別所	0	4.8	25.0	7.7	0	0.5
	北栄町 園試	0	0	0	0	0	0
西部	琴浦町 竹ノ内	0	5.3	1.7	6.3	0	0
	大山町 坪田	0	-	0	-	0	-
	南部町 朝金	0	0.2	0	1.5	0	0
平均		0.4	1.8	8.1	3.0	0.0	0.2

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

青谷町は令和元年度、佐治町は令和3年度、大山町は令和4年度から調査地点変更したため、平年値は未記載。

要約：[クワオオハダニ] 平年比：やや少ない  
 [カンザワハダニ] 平年比：やや多い  
 [ナミハダニ] 前年比：少ない

(コ) ニセナシサビダニ

第30表 ニセナシサビダニの成若虫の  
葉当たり密度（県予察ほ場）

月・旬	本年	平年
5・上	4.2	2.7
中	39.6	10.7
下	454.8	79.8
6・上	1144	470.6
中	643.2	1099.4
下	1701.6	1265.9
7・上	2771.2	655.4
中	—	—

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均  
(殺ダニ剤無散布条件下)

要約：発生時期は平年並。発生量は平年に比べて多かった。

(サ) カメムシ類

a. 種類別の誘殺個体数

第31表 誘殺されたカメムシの種類別個体数（3地区合計）

種類	本年	平年
チャバネアオカメムシ	8,198	7,149.5
クサギカメムシ	3,386	2,945.6
ツヤアオカメムシ	2,384	3,826.3
アオクサカメムシ	359	171.1

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

要約：アオクサカメムシは平年に比べてやや多く、  
チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、  
ツヤアオカメムシは平年並。

第32表 予察灯による誘殺状況（チャバネアオカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	前年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0.0
下	11.7	1.5	1.9	0	20.9	1.0
5・上	26.3	3.9	1.1	10.0	19.1	9.3
中	25.0	61.9	0.4	20.6	30.8	34.2
下	144.0	33.1	4.6	21.1	152.2	52.5
6・上	78.3	44.0	6.4	26.1	40.4	47.8
中	117.7	32.1	53.6	31.9	123.6	33.8
下	588.0	87.0	360.0	9.3	307.0	71.7
7・上	419.0	123.8	438.0	47.0	322.0	112.5
中	405.0	78.6	191.0	7.0	288.0	97.5
下	382.0	65.6	314.0	21.0	286.0	93.4
8・上	321.5	178.8	307.9	81.4	195.0	151.5
中	174.2	343.8	335.1	270.3	140.0	178.0
下	105.3	224.7	208.0	482.3	137.7	205.8
9・上	202.7	89.4	161.8	26.0	156.7	208.4
中	100.3	59.7	174.2	—	204.7	123.6
下	24.0	48.2	31.0	—	17.3	70.8
10・上	30.0	34.6	9.0	12.0	2.7	58.6
中	0	1.8	1.0	9.0	0	6.7
下	0	0.4	0	0	0	0.6
合計	3155.0	1513.0	2599.0	1075.0	2444.0	1557.5

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均、八頭町は令和3年度から調査地点を変更。表中の「—」は欠測。

要約：総誘殺数は、県予察ほ場、湯梨浜町で平年に比べてやや多かった。八頭町では前年に比べて多かった。

第33表 予察灯による誘殺状況（クサギカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	前年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0.3
中	0	0	0	0	0	0.1
下	0	0	0	0	0.9	0.9
5・上	0	0.1	0	0	0.1	0.7
中	2.0	1.5	0	0	1.2	0.4
下	0	0.8	0	0	1.8	1.1
6・上	2.3	0.3	1.5	1.6	2.6	2.1
中	5.7	1.7	14.5	5.3	6.4	1.7
下	39.0	3.3	70.0	7.1	25.0	4.4
7・上	62.0	11.7	140.0	17.0	98.0	14.0
中	58.0	26.3	109.0	43.0	75.0	25.7
下	89.0	44.8	310.0	63.7	124.0	55.0
8・上	248.0	84.6	502.0	126.6	202.3	100.9
中	89.0	90.4	347.7	248.7	162.5	163.2
下	20.0	35.7	123.3	193.0	119.2	99.5
9・上	9.7	4.9	123.8	2.0	39.2	24.5
中	9.3	1.9	42.2	-	72.9	18.4
下	0	0.9	9.0	-	14.3	19.8
10・上	0	2.9	1.0	8.0	2.7	23.6
中	0	1.8	1.0	6.0	1.1	17.0
下	1.0	2.8	6.0	0	0.9	10.2
合計	635.0	316.4	1801.0	722.0	950.0	583.4

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均 八頭町は令和3年度から調査地点を変更。表中の「-」は欠測。  
 要約：総誘殺数は、県予察ほ場、湯梨浜町で平年に比べて多かった。八頭町で前年に比べて多かった。

第34表 予察灯による誘殺状況（ツヤアオカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	前年	本年	平年
4・上	0	0	0.8	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
下	1.0	0	0.6	0.0	0	0.1
5・上	1.0	1.4	0.4	0.4	0	0.7
中	22.0	13.2	0	0.9	5.2	4.9
下	2.0	33.7	0	1.1	12.8	12.9
6・上	15.3	36.2	1.6	2.7	18.9	44.4
中	73.7	55.3	16.4	3.3	79.1	48.0
下	142.0	106.1	33.0	0.7	81.0	147.8
7・上	53.0	120.4	26.0	6.0	91.0	148.9
中	45.0	58.4	43.0	4.0	93.0	118.2
下	18.0	96.8	49.0	0.9	104.0	97.0
8・上	101.5	149.1	117.6	15.7	147.8	150.1
中	98.5	116.7	105.4	154.4	87.5	133.7
下	36.0	49.3	66.0	35.0	36.2	100.0
9・上	18.7	46.6	40.8	3.0	64.2	74.6
中	12.3	31.8	52.2	-	105.4	62.8
下	15.3	25.4	98.0	-	45.0	55.8
10・上	12.7	32.0	41.0	22.9	20.0	52.6
中	2.0	13.6	6.0	22.1	4.6	19.9
下	4.0	19.0	10.0	7.0	6.4	15.2
合計	674.0	1005.1	707.8	280.0	1002.0	1287.5

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均、八頭町は令和3年度から調査地点を変更。表中の「-」は欠測。  
 要約：総誘殺数は、県予察ほ場、湯梨浜町で平年並。八頭町で前年に比べて多かった。

第35表 予察灯による誘殺状況（アオクサカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	前年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
下	0	0.1	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0.1	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0
6・上	0	0.4	0	0	0	0.1
中	1.0	1.0	0	0	0	0.1
下	10.0	0.9	0	0	0	0.3
7・上	13.0	2.8	0	0	1.0	0.3
中	18.0	14.1	34.0	10.0	0	1.3
下	29.0	25.3	56.0	10.1	0	0.7
8・上	20.0	21.3	55.3	13.7	0	0.4
中	9.6	16.4	15.5	18.4	0	0.6
下	7.4	13.9	6.2	46.7	0	0.2
9・上	17.7	5.3	5.8	2.0	0	0.3
中	34.3	0.9	19.2	-	0	0.3
下	4.0	0.9	2.0	-	0	0.3
10・上	0	0.4	0	35.4	0	0
中	0	0.3	0	31.6	0	0.4
下	0	0.1	0	0	0	0.0
合計	164.0	104.2	194.0	168.0	1.0	5.4

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均、八頭町は令和3年度から調査地点を変更。表中の「-」は欠測。  
要約：総誘殺数は、県予察ほ場、湯梨浜町で平年並。八頭町で前年に比べて多かった。

第36表 合成集合フェロモントラップ<sup>1)</sup>による誘殺状況

月・旬	県予察ほ場				八頭町花原（水田畦畔）			
	チャバネアオカメムシ	クサギカメムシ	ツヤアオカメムシ	マルホシヒラタヤトリハエ	チャバネアオカメムシ	クサギカメムシ	ツヤアオカメムシ	マルホシヒラタヤトリハエ
4・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	2.0	0	0	0	0	0	0	0
下	16.8	2.0	0	2.7	2.6	0	0	2.6
5・上	44.2	1.0	3	19.3	2.9	0	0	1.4
中	37.8	2.7	10.7	21.7	1.9	0	0	4.1
下	29.2	5.3	7.3	21.3	3.7	0	0	0.9
6・上	29.0	16.3	5.5	21.0	31.7	0	0	2.1
中	30.0	6.7	4.5	10.0	27.3	0	0	0.9
下	59.0	3.0	0	20.0	134.0	0	0	0
7・上	66.0	1.0	1.0	32.0	613.0	0	0	0
中	60.0	0	0	3.0	142.0	0	0	0
下	90.0	0	1.0	2.0	102.0	0	0	0
8・上	56.0	0	0.2	0	63.4	0	0	0
中	25.8	0	0.8	1.7	22.4	0	0	0
下	16.2	1.0	0	5.3	12.2	0	0	0
9・上	13.7	0	0	4.5	4.2	0.8	0	0
中	1.3	0	0	0.5	12.8	0.2	0	1.0
下	4.2	0	0.2	8.5	2.7	0	0	0
10・上	0.8	0	0.8	8.5	5.3	0	3.0	0
中	0	0	3.0	1.0	2.0	3.0	2.0	3.0
下	0	0	0	4.0	0	0	1.0	2.0
合計	582.0	39.0	38.0	187.0	1186.0	4.0	6.0	18.0

(注) <sup>1)</sup> ルアーはチャバネアオカメムシ用誘引剤、水盤式トラップ

要約：チャバネアオカメムシの誘殺数は、県予察ほ場で5月上旬～8月上旬、八頭町で6月上旬～8月上旬に増加した。

第37表 クサギカメムシの越冬調査

地点	個体数/トラップ				平均
	2019年	2020年	2021年	2022年	
佐治町	5.5	9.0	1.5	8	5.3
河原町	24.5	8.0	13.5	8.5	19.9
八頭町	8.5	3.0	4	4.5	5.7
湯梨浜町	11.0	7.5	15	3.5	8.3
関金町	0.5	1.0	0.5	0.5	1.3
倉吉市	10.5	12.5	24	8.5	21.0
北栄町	0.5	1.0	0.5	0	0.9
琴浦町	8.0	7.0	30	8.5	12.8
大山町	0.5	3.0	9.5	1	4.1
南郷町	2.0	0.5	0	0.5	3.5
平均	7.2	5.3	9.9	4.4	8.0

注) 表中の数字はトラップ当たりの成虫の捕獲数。  
要約: 捕獲数は平年に比べて少なかった。

b. 果実の被害調査

第38表 地区予察ほ場における被害状況

月・旬	八頭町(新興)			湯梨浜町(山梨・二十世紀)		
	調査 果数	被害果率(%)		調査 果数	被害果率(%)	
		本年	平年		本年	平年
5・中	50	0	0.4	50	0	0
7・下	50	0	1.1	50	0	0

(注) 調査時期: 八頭町池田・・・5月20日・7月25日  
湯梨浜町・・・5月14日・7月10日  
平年: 平成24年～令和3年の平均  
要約: 被害は確認されなかった。

第39表 定点調査ほ場における被害状況(7月28日調査)

調査 地点	品種	被害果率(%)		
		本年	前年	平年
鳥取市	豊水	0	0	0.1
倉吉市	幸水	0	0	0.1
北栄町	幸水	0	0	0.0
平均		0	0	0.1

(注) 平年: 平成24年～令和3年の平均  
北栄町は、200果/園の露地無袋果実(幸水・豊水等)における調査  
要約: 被害は確認されなかった。

(シ) アブラムシ類

第40表 県予察ほ場におけるアブラムシ類の寄生新梢率の推移

月・半旬	寄生新梢率(%)						
	ワタアブラムシ		モモアカアブラムシ		ユキヤナギアブラムシ		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4月 5半旬	0	0.6	0	0	0	0	
	-	2.2	-	0.5	-	0.3	
5月	1半旬	0	4.7	0	1.5	0	4.5
	2半旬	0	5.3	0	1.3	4.4	6.2
	3半旬	3.9	6.4	1.3	1.4	9.1	7.9
	4半旬	7.3	8.7	4.2	1.7	21.9	14.0
	5半旬	10.9	15.2	3.0	1.5	27.7	20.5
	6半旬	19.8	19.1	0	1.1	40.5	25.7
6月	1半旬	18.4	19.6	0	0.8	38.6	25.8
	2半旬	22.6	15.3	0	0.3	45.2	26.6
	3半旬	20.0	9.7	0	0.2	56.8	18.3
	4半旬	12.0	9.0	0	0.2	44.0	16.3
	5半旬	1.6	4.8	0	0	7.2	11.3
	6半旬	-	2.0	-	0.2	-	4.0
7月	1半旬	-	2.0	-	0.4	-	2.1
	2半旬	-	0.6	-	0	-	0.4
	3半旬	-	0	-	0	-	0
	4半旬	-	-	-	-	-	-
	5半旬	-	-	-	-	-	-
	6半旬	-	-	-	-	-	-

(注) 平年: 平成24年～令和3年の平均、殺虫剤無散布の条件下  
要約: 発生時期は平年並～やや遅く、発生量はユキヤナギアブラムシが平年に比べてやや多く、ワタアブラムシは平年並。モモアカアブラムシは平年に比べてやや少なかった。

第41表 県内定点調査ほ場における発生状況（5月調査）

地区	寄生新梢率（%）								
	ワタアブラムシ（黒）		ワタアブラムシ（緑）		モモアカアブラムシ		ユキヤナギアブラムシ		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
東部	鳥取市 佐治町高山	0	-	0	-	0	-	3.3	-
	青谷町青谷	0	-	0	-	0	-	6.7	-
	八頭町 上峰寺	0	1.7	0	0	6.7	2.0	13.3	3.7
中部	倉吉市 中野	0	0.4	0	0	0	0.4	0	0
	湯梨浜町 別所	0	0	0	0	0	0.4	0	0
	北栄町（園試）	0	0.4	0	0	0	0	0	2.0
	琴浦町 竹ノ内	0	3.0	0	0	0	1.0	6.7	0.7
西部	大山町 坪田	0	-	0	-	0	-	0	-
	南部町 朝金	13.3	2.7	0	0	0	0	0	1.2
平均		1.5	1.4	0.0	0	0.7	0.6	3.3	1.3

（注）平年：平成24年～令和3年の平均、大山町と青谷町は令和元年、佐治町は令和3年度から調査地点を変更したため、平年値は未記載

イ. ブドウ

（ア）生育状況

第1表 県予察ほ場における生育状況（園芸試験場砂丘地農業研究センター）

作型・品種	年次	萌芽期	展葉期	開花期			着色期	成熟期	落葉期
				始め	満開	終り			
無加温ハウス デラウエア	本年	月.日 3.12	月.日 3.28	月.日 4.30	月.日 5.05	月.日 5.10	月.日 6.10	月.日 7.15～7.21	月.日 11.10
	前年	3.08	3.22	4.27	5.02	5.07	6.10	7.10～7.15	11.10
	平年	3.14	3.25	4.29	5.05	5.10	6.10	7.15～7.21	11.12
巨峰	本年	3.18	3.28	5.11	5.18	5.25	7.01	7.25～8.17	11.10
	前年	3.08	3.29	5.12	5.18	5.21	6.29	7.20～8.15	11.10
	平年	3.16	3.29	5.07	5.14	5.17	6.26	8.04～8.14	11.16
ピオーネ	本年	3.18	3.28	5.11	5.18	5.25	7.01	7.25～8.17	11.10
	前年	3.08	3.29	5.12	5.18	5.21	6.29	7.20～8.15	11.10
	平年	3.16	3.29	5.07	5.15	5.18	6.28	8.04～8.15	11.17

（注）平年：平成24年～令和3年の平均

要約

- ・冬季の気温が低く、2月下旬の降雪の影響で被覆が遅れたため、各品種の萌芽期は昨年と比べて5～10日程度遅れた。
- ・この生育の遅れは、開花期、成熟期まで影響した。
- ・6月下旬に記録的な高温に見舞われ、デラウエアにおいては小粒化し、巨峰・ピオーネにおいては着色不良が発生した。
- ・病害の発生は全体的に少なかった。
- ・虫害では、アザミウマ類やハマキムシ類の発生は平年並であった。

（イ）晩腐病・灰色かび病など

第2表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘農業研究センター）

病害名	調査月日	品種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
晩腐病	月.日 8.4	巨峰	1樹	30房	0房	0%	0%
灰色かび病	5.8	巨峰	1樹	30房	0房	0%	0%
白腐病	8.4	巨峰	1樹	30房	0房	0%	0%

要約： 晩腐病、灰色かび病、白腐病の発生はみられなかった。

(ウ) チャノキイロアザミウマ

第3表 粘着トラップ「黄色平板」によるチャノキイロアザミウマの誘殺消長  
(砂丘地農業研究センター：露地栽培、無加温ハウス栽培)

月・旬	露地栽培		無加温ハウス栽培	
	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0
中	0	0.3	0	0.1
下	0	0.4	0	0.1
5・上	0	0.2	0	0
中	0	1.0	0	0
下	0	0.8	0	2.6
6・上	0	0.9	0	1.3
中	0	1.3	0	1.2
下	0	6.5	0	2.0
7・上	6	11.6	2	8.1
中	10	30.4	7	38.0
下	14	55.9	2	186.7
8・上	5	116.1	1	134.3
中	15	155.6	8	101.1
下	43	119.9	18	120.0
9・上	37	58.2	157	81.8
中	71	49.6	40	44.4
下	43	24.5	25	19.5
10・上	30	8.4	19	11.8
中	1	2.0	0	2.8
下	1	0.6	0	0.4
合計	276	644.2	279	756.2

(注) 平年：平成24年～令和3年

要約：露地の発生量は平年に比べてやや少なく、8月下旬～9月下旬が発生のピークであった。無加温ハウスの発生量は平年に比べてやや少なく、8月下旬から発生量が増え、9月上旬が発生のピークであった。

(エ) チャノココクモンハマキ

第4表 フェロモントラップによるチャノココクモンハマキの誘殺消長  
(砂丘地農業研究センター：露地栽培、無加温ハウス栽培)

月・旬	露地栽培		無加温ハウス栽培	
	本年	平年	本年	平年
4・上	6	3.3	0	0.1
中	34	19.7	2	2.3
下	76	35.5	2	3.7
5・上	50	58.3	2	4.0
中	40	25.8	0	3.1
下	8	6.0	0	0.4
6・上	1	2.3	0	0.1
中	70	18.6	2	1.1
下	63	38.1	1	4.0
7・上	31	18.8	1	2.3
中	10	12.0	2	1.8
下	28	30.4	9	7.0
8・上	35	39.9	9	10.0
中	24	16.6	4	3.5
下	19	13.0	1	3.3
9・上	40	28.0	7	6.7
中	108	60.9	7	15.0
下	96	75.7	24	19.9
10・上	79	49.0	18	18.5
中	67	28.9	23	11.9
下	34	13.9	19	6.9
11・上	25	7.7	20	4.1
中	18	1.6	15	1.8
下	16	1.5	16	0.5
合計	978	605.5	184	132.0

(注) 平年：平成24年～令和3年

要約：露地の発生量は平年に比べてやや多く、8月～10月にかけて発生量が多かった。無加温ハウスの発生量は平年並であった。露地では、4月下旬、5月上旬、6月中旬、8月上旬、9月中旬、10月上旬にピークがみられた。無加温では、7月下旬、9月下旬、10月中旬にピークがみられた。

第5表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘地農業研究センター）

害虫名	調査月日	品種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
ハマキムシ類	月・日 8.4	ピオーネ	2樹	15房	0房	0%	0%

要約：被害はなかった。

(オ) 果実吸蛾類

第6表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘地農業研究センター）

害虫名	調査月日	品種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
果実吸蛾類	月.日 8.4	ピオーネ	2樹	15房	0房	0%	0%

要約：被害はみられなかった（防蛾灯設置あり）。

ウ. カキ

(ア) 生育状況（品種：富有）

第1表 県予察ほ場における生育状況（河原試験地）

調査項目	本年	平年
	月.日	月.日
萌芽期	3.06	2.16
発芽期	3.17	3.16
展葉期	4.10	4.09
開花初期	5.21	5.22
最盛期	5.22	5.24
終期	5.26	5.28
新梢発育 停止期	5.21	5.26
果実の着色 始め	9.25	9.24
落葉期	11.29	11.28

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

要約：展葉期は平年より1日遅く、満開は平年より2日早かったが、着色始めは平年より1日遅く、その後の着色の進行は遅かった。

果実の10日間肥大量は、7月中旬以降に平年を下回り、後期肥大期も平年並から平年をやや下回ったため、小玉となった。

へたすき、軟果は少なく、秀率は平年並であった。炭疽病の発生は平年並で、問題にならない程度であった。

## (イ) カメムシ類・カキノヘタムシガ・モモノゴマダラノメイガ

第2表 県予察ほ場における予察灯による誘殺状況（河原試験地）

月・半旬	カメムシ類								カキノヘタムシガ		モモノゴマダラノメイガ	
	チャバネアオカメムシ		アオクサカメムシ及びツヤアオカメムシ		クサギカメムシ		総計		本年	平年	本年	平年
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年				
5・1	0	1.6	0	0.1	0	0.6	0	2.3	0	0.0	0	0.0
2	4	1.7	0	0.2	0	0.2	4	2.1	0	0.0	0	0.0
3	1	5.4	1	0.5	4	0.3	6	6.2	0	0.0	0	0.0
4	13	15.3	0	1.2	1	1.3	14	17.8	0	0.2	0	0.0
5	30	30.6	2	1.6	0	0.2	32	32.4	0	0.0	0	0.0
6	52	65.3	2	3.5	0	2.4	54	71.2	0	0.3	0	0.1
6・1	24	23.4	7	7.3	1	1.9	32	32.6	0	1.0	0	0.2
2	5	12.3	1	11.6	0	2.9	6	26.8	0	0.3	0	0.7
3	27	26.2	11	25.7	6	3.3	44	55.2	0	0.1	0	0.7
4	206	15.7	42	18.5	5	1.9	253	36.1	0	0.0	1	0.5
5	188	14.2	32	16.8	10	1.1	230	32.1	0	0.0	0	0.4
6	423	43.5	44	53.3	15	3.2	482	100.0	0	0.0	0	0.4
7・1	237	59.3	26	30.2	36	9.1	299	98.6	0	0.0	0	0.2
2	386	55.0	62	39.8	85	13.2	533	108.0	0	0.0	0	0.0
3	289	52.8	80	34.3	78	26.0	447	113.1	0	0.0	0	0.0
4	239	73.1	64	33.5	66	40.2	369	146.8	0	0.1	0	0.0
5	271	69.5	40	31.9	92	70.2	403	171.6	0	0.2	0	0.0
6	467	77.0	91	58.1	263	112.2	821	247.3	0	0.5	0	0.2
8・1	426	93.2	111	42.2	361	124.7	898	260.1	0	0.0	0	0.0
2	294	148.0	111	78.7	339	150.0	744	376.7	0	0.0	0	0.0
3	372	173.2	134	81.7	390	172.6	896	427.4	0	0.0	0	0.4
4	286	184.2	74	66.7	139	140.2	499	391.1	0	0.1	0	0.0
5	230	365.6	52	86.5	108	145.4	390	597.5	0	0.0	0	0.2
6	266	241.6	35	53.8	35	51.5	336	346.9	0	0.0	0	0.2
9・1	230	177.9	39	28.8	22	21.5	291	228.2	0	0.0	0	0.1
2	160	245.8	20	31.0	9	14.9	189	291.7	0	0.0	0	0.2
3	630	167.7	195	22.7	50	15.8	875	206.2	0	0.0	0	0.0
4	442	106.0	118	26.3	46	10.7	606	143.0	0	0.0	1	0.4
5	108	239.5	80	39.1	25	15.4	213	294.0	0	0.0	0	0.9
6	52	166.8	43	77.1	9	13.6	104	257.5	0	0.0	0	0.5
10・1	59	116.8	42	66.7	9	9.8	110	193.3	-	-	-	-
2	0	116.5	14	62.7	0	15.3	14	194.5	-	-	-	-
3	4	9.8	18	26.5	1	5.9	23	42.2	-	-	-	-
4	1	2.7	30	50.3	3	5.6	34	58.6	-	-	-	-
5	8	1.6	27	24.1	1	3.9	36	29.6	-	-	-	-
6	0	0.6	0	11.5	0	2.0	0	14.1	-	-	-	-
合計	6,430	3,199.4	1,648	1,244.4	2,209	1,209.0	10,287	5,652.8	0	2.8	2	6.3

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

要約：カメムシ類（特にチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）は6月下旬から9月中旬まで平年よりも多い状態が続いたが、防除により被害は平年よりも少なかった。

カキノヘタムシガ、モモノゴマダラノメイガの誘殺数は平年よりも少なく、被害はなかった。

## (ウ) ハマキムシ類、ヒメコスカシバ

第3表 県予察ほ場における誘殺消長

月・旬	チャハマキ		チャノコカクモンハマキ		ヒメコスカシバ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0.1	0	0.0	0	0.0
中	0	0.3	1	0.7	0	0.0
下	9	1.6	2	3.2	0	0.2
5・上	27	3.7	8	14.4	0	1.2
中	35	3.7	10	10.0	1	0.6
下	9	3.2	1	1.7	1	1.0
6・上	6	3.6	0	0.4	0	0.1
中	12	2.8	0	4.3	0	0.1
下	4	0.8	8	11.6	0	0.1
7・上	0	0.1	8	14.8	0	0.0
中	0	1.2	4	2.2	1	0.0
下	11	3.4	7	3.9	0	0.6
8・上	2	1.9	5	10.0	1	2.6
中	4	1.4	9	6.7	1	3.1
下	1	0.8	2	2.0	2	3.4
9・上	1	0.7	4	5.7	0	1.8
中	1	1.4	6	13.6	0	0.8
下	11	1.6	16	14.9	0	0.8
10・上	13	1.9	1	11.4	0	0.0
中	27	5.6	0	5.9	0	0.3
下	29	4.1	1	3.0	0	0.1
合計	202	43.8	93	140.3	7	16.8

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

要約：チャハマキの誘殺数は平年より多かったが、  
定期防除により果実被害は少なかった。

ヒメコスカシバの誘殺数は平年より少なく、被害  
は平年よりやや少なかった。

## (エ) アワフキ類

第4表 予察灯による成虫の誘殺状況

月・半旬	コガシラアワフキ		モンキアワフキ	
	本年	平年	本年	平年
5・1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.2
6・1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0
7・1	0	1.7	0	0.0
2	3	0.7	0	0.0
3	0	1.3	0	0.0
4	0	0.6	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.8
3	0	0.0	2	4.4
4	0	0.0	5	5.1
5	0	0.0	13	24.7
6	0	0.0	12	27.3
10・1	0	0.0	16	21.9
2	0	0.0	2	5.9
3	0	0.0	0	2.2
4	0	0.0	0	0.6
5	0	0.0	1	0.4
6	0	0.0	0	0.0
合計	3	4.5	51	93.9

(注) 平年：平成24年～令和3年の平均

要約：アワフキムシ類の誘殺数は平年より少なく、  
果実の被害は平年よりもやや少なかった。

## 8 野菜病害虫の発生予察調査結果

### (1) 主な野菜病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
			甚	多	中	少	計	
スイカ	368	つる枯病	0	0	7	99	106	28.8
		炭疽病	0	0	8	97	105	28.5
		疫病・褐色腐敗病	0	0	0	5	5	1.4
		うどんこ病	0	0	10	80	90	24.5
		菌核病	0	0	0	79	79	21.5
		アブラムシ類	0	0	0	27	27	7.3
		ハダニ類	0	0	0	20	20	5.4
キャベツ	104	黒腐病	0	0	3	13	16	15.4
		菌核病	0	0	0	5	5	4.8
		べと病	0	0	0	7	7	6.7
		軟腐病	0	0	0	11	11	10.6
		モンシロチョウ	0	0	0	21	21	20.2
		コナガ	0	0	0	38	38	36.5
		ヨトウガ	0	0	0	10	10	9.6
		ハスモンヨトウ	0	0	13	16	29	27.9
		シロイチモジヨトウ	0	0	0	6	6	5.8
		アブラムシ類	0	0	0	25	25	24.0
ハイマダラノメイガ	0	0	0	19	19	18.3		
ブロッコリー	796	軟腐病	0	1	23	72	96	12.1
		べと病	0	0	0	20	20	2.5
		黒腐病	0	6	17	220	245	30.8
		黒すす病	12	21	35	182	250	31.4
		コナガ	0	0	0	265	265	33.3
		ハスモンヨトウ	0	0	0	280	280	35.2
		ハイマダラノメイガ	0	0	0	48	48	6.0
夏ネギ	173	さび病	0	0	9	91	100	57.8
		黒斑病	0	2	34	110	146	84.4
		萎縮病	0	0	0	3	3	1.7
		べと病	0	0	15	27	42	24.3
		軟腐病	0	1	24	35	60	34.7
		ネギハモグリバエ	0	0	0	47	47	27.2
		ネギアザミウマ	0	0	0	109	109	63.0

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
			甚	多	中	少	計	
秋冬ネギ	320	さび病	0	0	0	10	10	3.1
		黒斑病	0	2	27	84	113	35.3
		萎縮病	0	0	0	2	2	0.6
		萎凋病	0	2	9	32	43	13.4
		べと病	0	0	1	7	8	2.5
		軟腐病	0	2	7	15	24	7.5
		アブラムシ類	0	0	0	3	3	0.9
		ネギハモグリバエ	0	0	0	86	86	26.9
		ネギアザミウマ	0	0	0	201	201	62.8
		ネギコガ	0	0	0	40	40	12.5
		シロイチモジヨトウ	0	0	0	65	65	20.3
		ハスモンヨトウ	0	0	0	7	7	2.2
イチゴ	21	灰色かび病	0	0	1	11	12	57.1
		うどんこ病	0	0	0	11	11	52.4
		炭疽病	0	0	0	9	9	42.9
		アブラムシ類	0	0	3	10	13	61.9
		ハダニ類	0	0	0	9	9	42.9
		ハスモンヨトウ	0	0	0	2	2	9.5
ナガイモ	55	炭疽病	0	2	5	25	32	58.2
		ナガイモコガ	0	0	0	13	13	23.6
		ハダニ類	0	0	0	9	9	16.4
		シロイチモジヨトウ	0	0	0	6	6	10.9
ラッキョウ	176	白色疫病	0	0	2	19	21	11.9
		灰色かび病	0	0	12	110	122	69.3
		ネギハモグリバエ	0	0	0	48	48	27.3
		ネギアザミウマ	0	0	0	84	84	47.7

作付面積は、農林水産省統計情報、令和3年産野菜生産出荷統計（令和4年12月20日確報）より

ラッキョウは令和2年産地域特別野菜生産状況（令和4年7月13日公表）を参照

## (2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

### ア. スイカ

病害虫名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
つる枯病 (平年並)	発生時期は平年並で、5月下旬からトンネル内の水滴が当たりやすいつる先から発生し、6月下旬には発生量は平年並となった。	5～6月の降水量が平年と比べて少なく、発生を抑制する気象条件となった。7月は降水量が増加し、発病を助長する気象条件となったが、防除が徹底された。
疫病・褐色腐敗病 (平年並)	5月、6月は発生が認められなかったが、7月以降、発生量が増加した。最終では発生時期は平年並で、発生量は平年並であった。	5～6月の降水量が平年と比べて少なく、発生を抑制する気象条件となった。7月は降水量が増加し、発病を助長する気象条件となったが、防除が徹底された。
炭疽病 (平年並)	発生時期は平年並で、5月下旬からトンネル内の水滴が当たりやすいつる先から発生し、6月下旬には発生量は平年並となった。	5～6月の降水量が平年と比べて少なく、発生を抑制する気象条件となった。7月は降水量が増加し、発病を助長する気象条件となったが、防除が徹底された。
うどんこ病 (平年並)	発生時期は平年並で、5月上旬以降に発生が確認されたため、追加防除が実施された。最終の発生量は平年並であった。	5月の降水量が少なく、発生を助長する気象条件となったが、防除が徹底された。防除適期を逸したほ場では多発したほ場もあった。
菌核病 (平年並)	前年度発生ほ場など一部ほ場で発生が多くなったが、全体の発生量は平年並となった。発生時期は平年並であった。	4月上旬の平均気温が平年と比べて低く、発生を助長する気象条件となったが、4月中下旬～5月の高温および定期防除の徹底により、発生が抑制された。
アブラムシ類 (やや多い)	黄色水盤トラップの誘殺数は、5月中旬から7月上旬にかけてやや多く推移したが、その後は平年並であった。ほ場での発生量はやや多かった。発生時期は平年並であった。	4～5月の平均気温が高く、発生を助長する気象条件であったが、定期防除が徹底された。
ハダニ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除が徹底された。

## イ. キャベツ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
黒腐病 (平年並)	9月以降、発生量が増加し9月下旬には発生量はやや多くなった。10月以降、発生量は横ばいないし減少して、最終的な発生時期・発生量は平年並であった。	9月の気温が高く、曇雨天が多かったことが助長要因となった。定期防除及び追加防除が徹底された。
菌核病 (平年並)	発生時期、発生量は平年並であった。	8～9月の気温が高く、発病に好適な気象条件にならなかった。
軟腐病 (平年並)	発生時期、発生量は平年並であった。	9月の気温が高く、曇雨天が多かったことが助長要因となった。定期防除及び追加防除が徹底された。
べと病 (平年並)	発生時期、発生量は平年並であった。	育苗期の防除が徹底された。9月の気温が高く、発病に好適な気象条件にならなかった。10月以降気温低下及び降水量が増加し、発生が増加した。
黒斑細菌病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (やや少ない)	黄色水盤トラップの誘殺数は、5月中旬から7月上旬にかけてやや多く推移したが、その後は平年並であった。ほ場での発生量はやや少なかった。発生時期は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
モンシロチョウ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
コナガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、5月の誘殺数はやや多かったが、それ以降は平年並であった。ほ場での発生時期、発生量は平年並であった。	4～5月の気温が高く、降水量が少なかったため、発生の助長要因となった。定期防除が徹底された。
ヨトウガ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、ヨトウガ、ハスモンヨトウの誘殺数は平年並で、シロイチモジヨトウの誘殺数はやや多かった。誘殺のピークは平年と比べてやや遅く推移し、7月中旬、9月下旬に誘殺数が増加した。ほ場での発生時期・発生量は平年並であった。	8月の気温が高かったため、発生の助長要因となった。定期防除を実施した。
タマナギンウワバ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハイマダラノメイガ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

## ウ. ブロッコリー

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
軟腐病 (平年並)	9月以降、発生量が増加し9月下旬には発生量はやや多くなった。10月以降、発生量は横ばいないし減少して、最終的な発生時期・発生量は平年並であった。	9月の気温が高く、曇雨天が多かったことが助長要因となった。定期防除及び追加防除が徹底された。
黒腐病 (平年並)	9月以降、発生量が増加し9月下旬には発生量はやや多くなった。10月以降、発生量は横ばいないし減少して、最終的な発生時期・発生量は平年並であった。	9月の気温が高く、曇雨天が多かったことが助長要因となった。定期防除及び追加防除が徹底された。
べと病 (平年並)	9月下旬、発生は確認されなかったが、10月調査時に本ぼで発病が確認された。発生時期、発生量は平年並であった。	育苗期の防除が徹底された。9月の気温が高く、発病に好適な気象条件にならなかった。10月以降気温低下及び降水量が増加し、発生が増加した。
黒すす病 (やや多い)	8月中旬に育苗中の発生が認められた。本ぼでの発生時期は平年並である。また、本ぼでは、9月以降発生量が増加し、10月中旬現在やや多い発生量となった。	8～9月の曇雨天が続いたことから、助長要因となった。定期防除に加え、降雨後の追加防除が行われたが、防除適期を逸し、多発するほ場で見受けられた。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの誘殺数は、5月中旬から7月上旬にかけてやや多く推移したが、その後は平年並であった。ほ場での発生時期、発生量は平年並であった。	定期防除を実施した。
モンシロチョウ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
コナガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、5月の誘殺数はやや多かったが、それ以降は平年並であった。ほ場での発生時期、発生量は平年並であった。	4～5月の気温が高く、降水量が少なかったため、発生の助長要因となった。定期防除が徹底された。
ヨトウガ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、ヨトウガ、ハスモンヨトウの誘殺数は平年並で、シロイチモジヨトウの誘殺数はやや多かった。誘殺のピークは平年と比べてやや遅く推移し、7月中旬、9月下旬に誘殺数が増加した。ほ場でのヨトウ類の発生時期は平年並で、8月の発生量は平年並、9月はやや多かった。	8月の気温が高かったため、発生の助長要因となった。定期防除を実施した。
タマナギンウワバ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

## エ. ネギ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
さび病 (平年並)	春：発生時期、発生量ともに平年並となった。 秋：発生時期、発生量ともに平年並であった。	4月の気温が高く、発病に好適条件となったが、定期防除が徹底された。その後は気温が高く推移し、発病に好適条件とならなかった。
黒斑病 (平年並)	5月下旬の発生時期は平年並で、発生量は平年並であった。8月下旬から9月下旬にかけて被害が増加したが、全体では、発生量は平年並であった。	7月、8月降雨後の高温及び台風の強風によるネギの根痛みなどからの葉先枯れが多く見受けられた。9月の気温が高く、助長要因となったが、定期防除が徹底された。
萎縮病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	媒介虫であるアブラムシ類の発生が平年並であったことから、平年並の発生量となった。
軟腐病 (平年並)	8月下旬以降発病が増加したものの、発生時期は平年並・発生量は平年並であった。	7月、8月の降水量が多く、9月の気温が高く推移したことから助長要因となったが、防除が徹底された。
べと病 (平年並)	春：5月の発生時期は平年並、発生量は5月末から発生量が急激に増加し、春作全体としてはやや多くなった。 秋：発生は認められなかった。	4～5月の気温が高く、発病に好適な条件であったが、防除が徹底された。9月以降も防除が徹底された。
白絹病 (平年並)	発生時期は平年並で、7月下旬から発生した。最終的な発生量は平年並であった。	7月の高温と降雨により発生が助長されたが、防除の徹底により発生の増加が抑えられた。
萎凋病 (平年並)	発生時期は平年並で、一部のほ場で発生が多かったものの、全体での発生量は平年並であった。	7～8月の降水量が多かったことから、発生が助長される気象条件であった。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの誘殺数は、6月中旬から7月下旬、8月下旬から9月下旬に増加した。ほ場の発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ネギハモグリバエ (やや多い)	発生時期はやや遅く、発生量は8月下旬以降やや多かった。	3～4月の平均気温が高く、発生の助長要因となった。
ネギアザミウマ (やや多い)	発生時期はやや早く、発生量はやや多かった。	3～4月の平均気温が高く、降水量が少なかったため、発生の助長要因となった。

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
シロイチモジヨトウ (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数はやや多かった。ほ場での発生時期は平年並で、8月下旬以降の発生量はやや多かった。	8月の気温が高かったため、発生の助長要因となった。
ネギコガ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハスモンヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は平年並であった。誘殺のピークは平年と比べてやや遅く推移し、7月中旬、9月下旬に誘殺数が増加した。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

## オ. イチゴ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
灰色かび病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	育苗期における防除の徹底により、苗床での発生の増加が抑えられた。
炭疽病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	育苗期における防除の徹底により、苗床での発生の増加が抑えられた。
うどんこ病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	育苗期における防除の徹底により、苗床での発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (やや多い)	黄色水盤トラップの誘殺数は、5月中旬から7月上旬に増加した。ほ場での発生時期はやや早く、発生量はやや多かった。	4～5月の気温が高く、降水量が少なかったことから、発生の助長要因となったが、防除が徹底された。
ハダニ類 (平年並)	発生時期はやや早く、発生量は平年並であった。	4～5月の気温が高く、降水量が少なかったことから、発生の助長要因となったが、防除が徹底された。
ハスモンヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は平年並であった。ほ場での幼虫の発生時期、発生量は平年並であった。	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は平年並であった。

## カ. ナガイモ

病虫害名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
炭疽病 (平年並)	7月下旬頃から発生し、8月下旬には発生量が増加し始めたものの、最終的な発生量は平年並である。	7月、8月の降水量が多く、9月の気温が高く推移したことから発生の助長要因となったが、防除が徹底された。
ナガイモコガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は6月下旬から9月上旬にかけてやや少なく推移したが、その後は平年並となった。ほ場での発生時期、発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
シロイチモジヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は平年並であった。ほ場での幼虫の発生時期、発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

## キ. ラッキョウ (令和4年産)

病虫害名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
白色疫病 (平年並)	2月以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。発生時期は平年並であった。	12～1月の降雪量が多く、2月は曇雨天が多かったことから、発病を助長する気象条件であったが、定期防除が徹底された。
灰色かび病 (平年並)	4月中旬以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。発生時期は平年並であった。	3月の気温が高く、ラッキョウ地上部が繁茂したため、発病を助長する要因となった。定期防除が徹底された。
ネギハモグリバエ (平年並)	発生時期・発生量は平年並であった。	定期防除を実施した。
ネギアザミウマ (平年並)	黄色粘着板トラップの結果、誘殺数は平年並であった。ほ場での発生時期・発生量は平年並であった。	定期防除を実施した。

(3) 調査の概要と結果

ア. スイカ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 黄色水盤によるアブラムシ類の誘殺数

月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数
4.1	1.4	6.1	94.4	8.1	3.3	10.1	0.0
4.2	5.4	6.2	193.8	8.2	0.6	10.2	0.0
4.3	9.3	6.3	343.1	8.3	4.7	10.3	0.0
4.4	13.6	6.4	260.6	8.4	6.0	10.4	0.0
4.5	13.6	6.5	195.8	8.5	6.4	10.5	0.0
4.6	20.4	6.6	166.3	8.6	7.0	10.6	0.0
5.1	25.0	7.1	51.4	9.1	3.6		
5.2	14.6	7.2	32.1	9.2	45.1		
5.3	23.0	7.3	16.7	9.3	58.3		
5.4	49.4	7.4	6.4	9.4	0.0		
5.5	85.0	7.5	4.1	9.5	0.0		
5.6	114.0	7.6	5.1	9.6	0.0		

b. 一般ほ場における調査

第2表 巡回調査ほ場の概要

作型	定植期	開花期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
ビニールハウス	3月上旬	4月下旬	6月中旬～下旬	東伯郡 北栄町(由良宿、妻波、大谷、高千穂、下種)	5 (各1ほ場)
大型トンネル	3月下旬	5月上旬	6月下旬～7月上旬	東伯郡 北栄町 由良宿	2
				” ” 大谷	2
				” ” 高千穂	1
				倉吉市 横田	1

第3表 巡回調査ほ場における発病調査（菌核病）

作型	地区	調査月日 (月.日)	菌核病					
			調査ほ場数	程度別ほ場数				
				甚	多	中	少	計
ビニールハウス	北栄	4.13	5	0	0	0	0	0
		5.2	5	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5.26	5	0	0	0	0	0
		6.24	5	0	0	0	0	0
	倉吉	5.26	2	0	0	0	0	0
		6.24	2	0	0	0	0	0
	合計	5.26	7	0	0	0	0	0
		6.24	7	0	0	0	0	0

**第4表 巡回調査ほ場における発病調査（つる枯病、うどんこ病）**

作型	地区	調査月日 (月・日)	つる枯病					うどんこ病						
			調査 地点数	程度別ほ場数				調査 地点数	程度別ほ場数					
				甚	多	中	少		計	甚	多	中	少	計
ビニール ハウス	北栄	4.13	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		5.2	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5.26	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		6.24	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	1	1
	倉吉	5.26	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
		6.24	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
	合計	5.26	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0
		6.24	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	01	1

**第5表 巡回調査ほ場における発病調査（疫病・褐色腐敗病、炭疽病）**

作型	地区	調査月日 (月・日)	疫病・褐色腐敗病					炭疽病						
			調査 地点数	程度別ほ場数				調査 地点数	程度別ほ場数					
				甚	多	中	少		計	甚	多	中	少	計
トンネル	北栄	5.26	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	4	4
		6.24	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	1	1
	倉吉	5.26	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	1	1
		6.24	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	7	7
	合計	5.26	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	5	5
		6.24	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	8	8

**第6表 巡回調査ほ場における発生調査（アブラムシ類、ハダニ類）**

作型	地区	調査月日 (月・日)	アブラムシ類					ハダニ類						
			調査 地点数	程度別ほ場数				調査 地点数	程度別ほ場数					
				甚	多	中	少		計	甚	多	中	少	計
ビニール ハウス	北栄	4.13	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		5.2	25	0	0	0	1	1	25	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5.26	25	0	0	0	11	11	25	0	0	0	3	3
		6.24	25	0	0	0	12	12	25	0	0	0	7	7
	倉吉	5.26	10	0	0	0	7	7	10	0	0	0	5	5
		6.24	10	0	0	0	2	2	10	0	0	0	2	2
	合計	5.26	35	0	0	0	18	18	35	0	0	0	8	8
		6.24	35	0	0	0	14	14	35	0	0	0	9	9

イ. キャベツ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

コナガ						ヨトウガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	12.7	7.1	7.1	9.1	0.0	5.1	9.1	7.1	0.7	9.1	0.0
5.2	36.1	7.2	2.9	9.2	0.9	5.2	16.2	7.2	0.3	9.2	9.0
5.3	35.3	7.3	0.4	9.3	1.7	5.3	11.0	7.3	0.0	9.3	16.7
5.4	44.4	7.4	2.1	9.4	2.9	5.4	7.0	7.4	0.0	9.4	23.6
5.5	60.7	7.5	2.1	9.5	6.6	5.5	3.6	7.5	0.0	9.5	15.2
5.6	48.9	7.6	1.3	9.6	6.9	5.6	1.7	7.6	0.0	9.6	10.8
6.1	15.6	8.1	0.0	10.1	4.3	6.1	0.9	8.1	0.0	10.1	1.4
6.2	10.8	8.2	0.0	10.2	4.9	6.2	0.7	8.2	0.0	10.2	1.4
6.3	13.1	8.3	1.7	10.3	3.0	6.3	0.6	8.3	0.0	10.3	1.4
6.4	22.6	8.4	3.0	10.4	0.0	6.4	0.1	8.4	0.3	10.4	1.4
6.5	14.1	8.5	4.3	10.5	2.0	6.5	0.0	8.5	0.7	10.5	1.0
6.6	6.9	8.6	7.0	10.6	2.0	6.6	0.0	8.6	2.0	10.6	1.0

第2表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

カブラヤガ						タマナヤガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	25.5	7.1	31.4	9.1	0.0	5.1	0.8	7.1	0.3	9.1	0.3
5.2	18.7	7.2	15.6	9.2	3.0	5.2	2.1	7.2	0.3	9.2	0.3
5.3	16.0	7.3	5.0	9.3	6.0	5.3	0.9	7.3	0.7	9.3	0.6
5.4	13.1	7.4	5.0	9.4	10.0	5.4	0.0	7.4	0.0	9.4	0.1
5.5	9.3	7.5	2.7	9.5	6.0	5.5	0.0	7.5	0.0	9.5	0.0
5.6	6.9	7.6	3.3	9.6	4.4	5.6	2.5	7.6	0.6	9.6	0.0
6.1	2.3	8.1	2.5	10.1	2.1	6.1	1.5	8.1	2.2	10.1	0.0
6.2	1.6	8.2	1.3	10.2	0.4	6.2	0.0	8.2	4.4	10.2	0.0
6.3	1.9	8.3	0.8	10.3	0.0	6.3	0.0	8.3	1.8	10.3	0.0
6.4	6.4	8.4	0.7	10.4	0.0	6.4	0.0	8.4	2.0	10.4	0.0
6.5	15.4	8.5	0.7	10.5	1.0	6.5	0.3	8.5	5.0	10.5	0.0
6.6	20.6	8.6	3.0	10.6	1.0	6.6	1.4	8.6	1.7	10.6	0.0

b. 一般ほ場における調査

第3表 巡回調査ほ場の概要

は種期	定植期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
7月上旬	8月上旬	10月上旬	倉吉市 横田	2
～	～	～	東伯郡 北栄町 高千穂	1
7月下旬	9月上旬	12月	” ” 此山	2

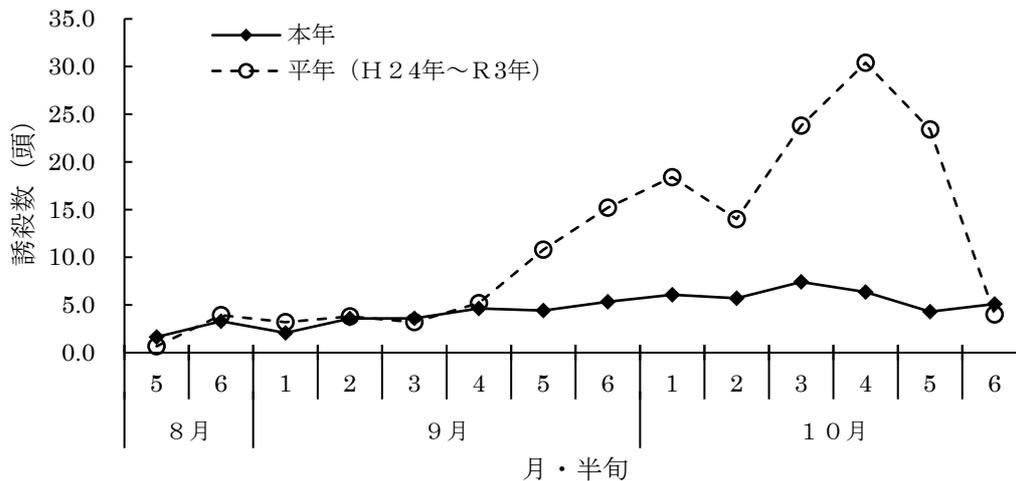
**第4表 フェロモントラップの設定**

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
倉吉市 下米積 (病害虫発生状況調査ほ)	8月21日～ 10月31日	コナガ	SEトラップ

**第5表 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）**

倉吉市下米積

月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数
8.5	0.7	9.6	15.2
8.6	3.9	10.1	18.4
9.1	3.2	10.2	14
9.2	3.8	10.3	23.8
9.3	3.2	10.4	30.4
9.4	5.2	10.5	23.4
9.5	10.8	10.6	4.0



**第1図 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長（倉吉市下米積）**

**第6表 巡回調査ほ場における発病調査（黒腐病、菌核病、べと病）**

地区	調査月日 (月・日)	調査 ほ場数	黒腐病					菌核病					べと病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
北栄	8.30	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.30	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.30	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	5	0	0	6	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	5	0	0	5	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**第7表 巡回調査ほ場における発病調査（軟腐病、黒斑細菌病）**

地区	調査月日 (月.日)	調査 ほ場数	軟腐病					黒斑細菌病						
			程度別ほ場数					程度別ほ場数						
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計		
北栄	8.30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.30	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2		
	10.28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2		
	10.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**第8表 巡回調査ほ場における発生調査（コナガ、アオムシ、ヨトウガ・ハスモンヨトウ）**

地区	調査月日 (月.日)	調査 ほ場数	コナガ					アオムシ					ヨトウガ・ハスモンヨトウ						
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数						
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計		
北栄	8.30	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.30	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	10.28	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計	8.30	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	10.28	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	

**第9表 巡回調査ほ場における発生調査（アブラムシ、タマナギンウワバ、ネキリムシ）**

地区	調査月日 (月.日)	調査 ほ場数	アブラムシ					タマナギンウワバ					ネキリムシ					
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	
北栄	8.30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.30	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**第10表 巡回調査ほ場における発生調査（ハイマダラノメイガ）**

地区	調査月日 (月.日)	調査 ほ場数	ハイマダラノメイガ				
			程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計
北栄	8.30	3	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	0	0
倉吉	8.30	2	0	0	0	0	0
	10.28	2	0	0	0	0	0
合計	8.30	5	0	0	0	0	0
	10.28	5	0	0	0	0	0

**ウ. ブロココリー**

**第1表 定点調査ほ場の概要**

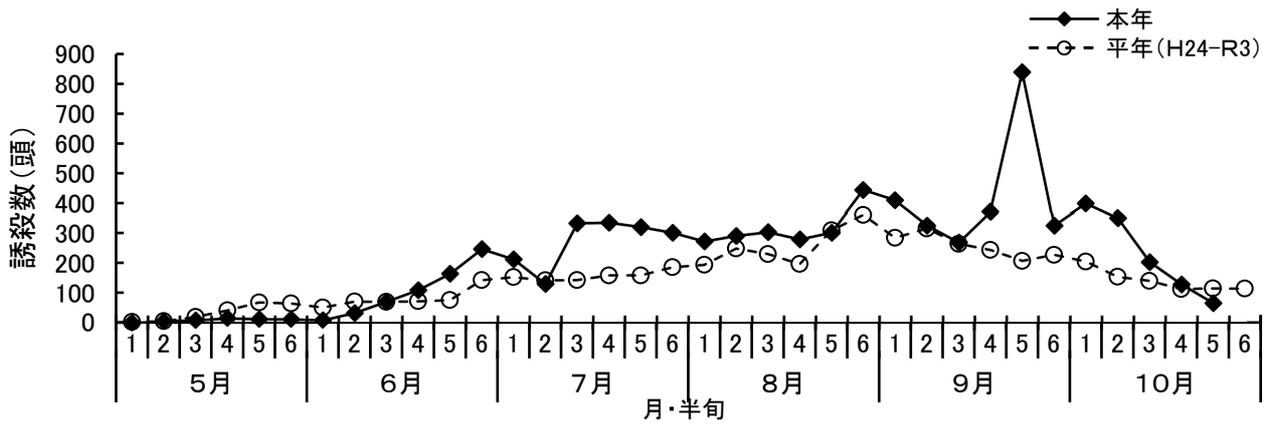
は種期	定植期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
3月上旬 ～ 3月下旬	4月上旬 ～ 4月下旬	6月上旬 ～ 6月下旬	東伯郡 琴浦町 高野 " " 杉下 西伯郡 大山町 下甲	2 1 4
7月上旬 ～ 8月下旬	8月上旬 ～ 9月下旬	10月上旬 ～ 12月	東伯郡 北栄町 高千穂 " " 大谷 西伯郡 大山町 下甲	1 2 4

**第2表 フェロモントラップの設定**

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
西伯郡 大山町 下甲 (病害虫発生状況調査ほ)	5月1日～ 10月31日	ハスモンヨトウ	ファネルトラップ
		コナガ	SEトラップ

**第3表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）**

大山町下甲					
月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数
5.1	-	7.1	213.0	9.1	410.3
5.2	5.6	7.2	130.7	9.2	325.7
5.3	8.6	7.3	333.8	9.3	269.1
5.4	15.7	7.4	335.6	9.4	371.8
5.5	12.7	7.5	321.0	9.5	839.2
5.6	12.3	7.6	301.7	9.6	325.7
6.1	9.3	8.1	272.9	10.1	399.3
6.2	33.6	8.2	291.5	10.2	350.5
6.3	71.3	8.3	303.9	10.3	203.8
6.4	110.1	8.4	280.0	10.4	129.3
6.5	165.0	8.5	302.2	10.5	66.4
6.6	247.3	8.6	444.4	10.6	-

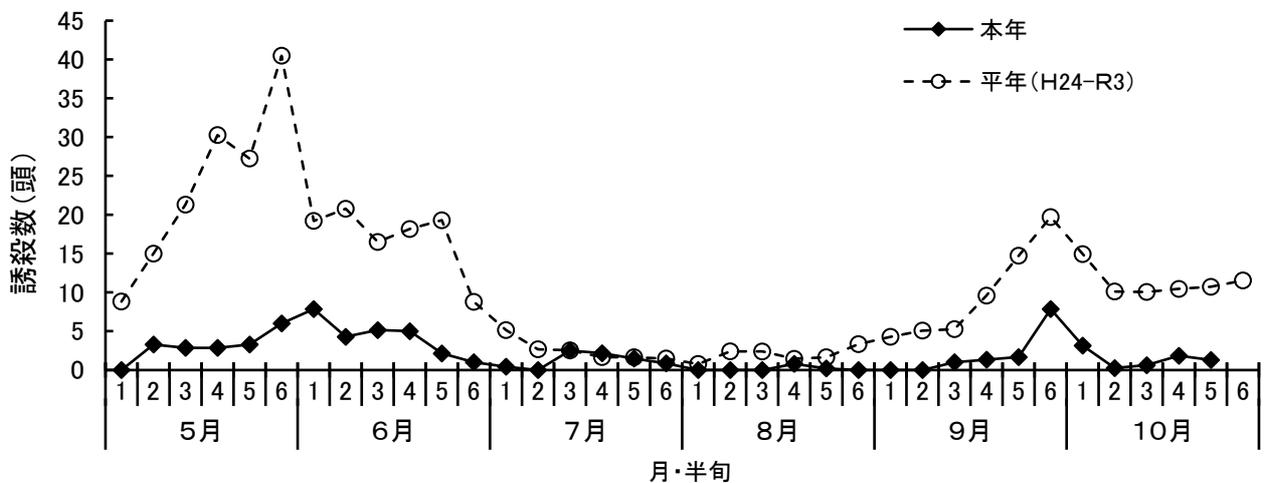


第1図 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺消長（大山町下甲）

第4表 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

大山町下甲

月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	-	7.1	0.4	9.1	0.0
5.2	3.3	7.2	0.0	9.2	0.0
5.3	2.9	7.3	2.5	9.3	1.0
5.4	2.9	7.4	2.2	9.4	1.3
5.5	3.3	7.5	1.5	9.5	1.7
5.6	6.0	7.6	0.9	9.6	7.9
6.1	7.9	8.1	0.0	10.1	3.1
6.2	4.3	8.2	0.0	10.2	0.3
6.3	5.1	8.3	0.0	10.3	0.6
6.4	5.0	8.4	0.8	10.4	1.8
6.5	2.1	8.5	0.2	10.5	1.3
6.6	1.0	8.6	0.0	10.6	-



第2図 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長（大山町下甲）

**第5表 巡回調査ほ場における発病調査（黒腐病、べと病、軟腐病、黒すす病）**

地区	調査月日 (月. 日)	調査 ほ場数	黒腐病					べと病					軟腐病					黒すす病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	5.19	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8.30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	4	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	10.28	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
北栄	5.19	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8.30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	10.28	3	0	0	0	3	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
合計	5.19	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8.30	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	7	0	0	1	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
	10.28	7	0	0	0	4	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6

**第6表 巡回調査ほ場における発生調査（コナガ、アオムシ、ヨトウガ・ハスモンヨトウ）**

地区	調査月日 (月. 日)	調査 ほ場数	コナガ					アオムシ					ヨトウガ・ハスモンヨトウ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	8.30	4	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2
	10.28	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北栄	8.30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.30	7	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2
	10.28	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**第7表 巡回調査ほ場における発生調査（ネキリムシ、ハイマダラノメイガ）**

地区	調査月日 (月. 日)	調査 ほ場数	ネキリムシ					ハイマダラノメイガ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	8.30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北栄	8.30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.30	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エ. ネギ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

シロイチモジヨトウ						ネギコガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	1.4	7.1	58.6	9.1	62.1	5.1	18.2	7.1	47.1	9.1	7.1
5.2	5.1	7.2	49.1	9.2	30.4	5.2	32.4	7.2	23.6	9.2	6.7
5.3	5.8	7.3	46.9	9.3	27.0	5.3	104.9	7.3	7.0	9.3	6.0
5.4	8.0	7.4	62.9	9.4	97.9	5.4	107.6	7.4	3.6	9.4	4.3
5.5	11.4	7.5	54.9	9.5	73.1	5.5	85.7	7.5	9.3	9.5	14.9
5.6	28.3	7.6	42.2	9.6	73.4	5.6	149.1	7.6	13.4	9.6	15.4
6.1	31.0	8.1	31.8	10.1	99.3	6.1	99.1	8.1	8.0	10.1	7.1
6.2	36.5	8.2	53.1	10.2	38.7	6.2	121.2	8.2	2.5	10.2	4.9
6.3	41.9	8.3	41.5	10.3	22.4	6.3	163.8	8.3	3.9	10.3	3.4
6.4	33.0	8.4	43.4	10.4	20.7	6.4	204.1	8.4	9.4	10.4	2.1
6.5	32.6	8.5	50.7	10.5	15.5	6.5	138.2	8.5	17.1	10.5	0.5
6.6	33.8	8.6	38.0	10.6	15.5	6.6	87.5	8.6	10.8	10.6	0.5

第2表 黄色粘着トラップによるアザミウマ類成虫の誘殺数（県予察ほ場）

月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数
5.1	0.0	7.1	0.0	9.1	0.0
5.2	0.0	7.2	0.0	9.2	0.0
5.3	1.7	7.3	0.0	9.3	0.4
5.4	1.6	7.4	0.0	9.4	2.1
5.5	0.7	7.5	0.0	9.5	4.4
5.6	5.1	7.6	0.0	9.6	4.4
6.1	0.9	8.1	0.0	10.1	2.1
6.2	0.0	8.2	0.0	10.2	0.4
6.3	0.0	8.3	0.0	10.3	0.0
6.4	0.7	8.4	0.0	10.4	0.0
6.5	0.3	8.5	0.0	10.5	0.0
6.6	0.0	8.6	6.0	10.6	0.0

注)黄色粘着トラップ10cm×10cm 当り虫数

b. 一般ほ場における調査

第3表 巡回調査ほ場の概要

地 区	調査場所	調査ほ場数
米 子	米子市 富益町	5
境 港	境港市 森岡町	5

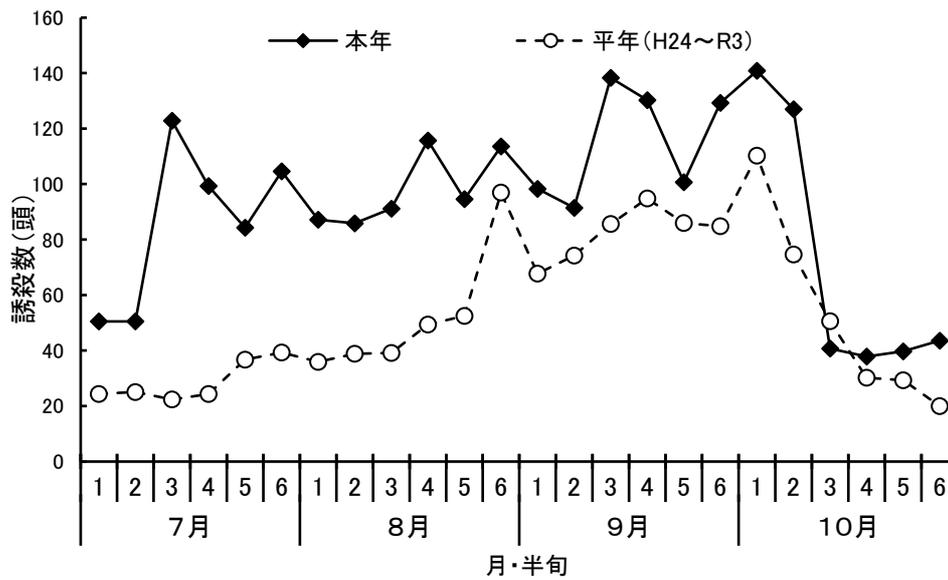
第4表 フェロモントラップ調査地点の設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
米子市 夜見町 (病害虫発生状況調査ほ)	7月1日～ 10月31日	シロイチモジヨトウ	SEトラップ

第5表 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺数

米子市夜見町

月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
7.1	50.5	9.1	98.3
7.2	50.5	9.2	91.4
7.3	122.9	9.3	138.3
7.4	99.3	9.4	130.3
7.5	84.3	9.5	100.7
7.6	104.6	9.6	129.3
8.1	87.1	10.1	140.9
8.2	85.9	10.2	127.0
8.3	91.1	10.3	40.7
8.4	115.7	10.4	37.9
8.5	94.6	10.5	39.7
8.6	113.6	10.6	43.6



第1図 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺消長（米子市夜見町）

**第6表 巡回調査ほ場における発病調査（さび病、黒斑病、萎縮病、べと病）**

地区	調査月日 (月. 日)	調査 ほ場数	さび病					黒斑病					萎縮病					べと病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	4.11	5	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5.24	5	0	0	0	4	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	6.24	5	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.27	5	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.30	5	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
境港	4.11	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.24	5	0	0	2	2	4	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	1	0	2	2	5
	6.24	5	-	-	-	-	-	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.27	5	-	-	-	-	-	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.30	5	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.30	5	0	0	0	1	1	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4.11	10	0	0	0	3	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5.24	10	0	0	2	6	8	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	1	0	2	4	7
	6.24	10	-	-	-	-	-	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.27	10	-	-	-	-	-	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.30	10	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.30	10	0	0	0	1	1	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

**第7表 巡回調査ほ場における発病調査（軟腐病、萎凋病、白絹病）**

地区	調査月日 (月. 日)	調査 ほ場数	軟腐病					萎凋病					白絹病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	6.24	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8.30	5	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
境港	6.24	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8.30	5	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6.24	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	8.30	10	0	0	4	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

第8表 巡回調査ほ場における発生調査

(ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、アブラムシ、ネギコガ)

地区	調査月日 (月.日)	調査ほ場数	ネギハモグリバエ					ネギアザミウマ					アブラムシ					ネギコガ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	4.11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.24	5	0	0	0	1	1	0	4	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.24	5	0	0	0	0	0	1	2	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	0	0	2	2	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.30	5	0	0	0	1	1	3	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.30	5	0	0	1	4	5	0	4	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
境港	4.11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.24	5	0	0	0	3	3	0	1	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.24	5	0	0	0	0	0	2	2	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	0	0	3	1	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.30	5	0	0	0	0	0	4	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.30	5	0	0	1	3	4	2	3	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4.11	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.24	10	0	0	0	4	4	0	5	3	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.24	10	0	0	0	0	0	3	4	3	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	10	0	0	0	0	0	5	3	2	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.30	10	0	0	0	1	1	7	3	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.30	10	0	0	2	7	9	2	7	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第9表 巡回調査ほ場における発生調査 (シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ)

地区	調査月日 (月.日)	調査ほ場数	シロイチモジヨトウ					ハスモンヨトウ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	5.24	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.24	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.30	5	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0
	9.30	5	1	1	1	1	4	0	0	0	0	0
境港	5.24	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.24	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.30	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	9.30	5	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	5.24	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.24	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.27	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.30	10	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0
	9.30	10	1	2	1	1	5	0	0	0	0	0

注)表中の「-」は調査対象でないことを示す。

## オ. イチゴ

### 第1表 巡回調査ほ場の概要

品 種	調査場所	調査ほ場数
とっておき 章 姫	東伯郡 湯梨浜町 長瀬	2
紅ほっぺ	” ” 浅津	2

### 第2表 病害虫発生状況調査ほの概要

品 種	調査場所	調査ほ場数
章 姫	倉吉市 沢谷	1
とっておき	東伯郡 湯梨浜町 橋津	1
紅ほっぺ	東伯郡 北栄町 西園	1

### 第3表 病害虫発生状況調査ほにおける調査結果

地区	調査 月日 (月. 日)	病害虫名							
		灰色かび病	うどんこ病			炭疽病	アブラムシ類	ハダニ類	ハスモンヨトウ
		発病果率 (%)	発病葉率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	幼虫寄生株率 (%)	
倉吉	6.20	-	0	-	0	8.0	0	-	
	11.20	0	-	0	0	0	0	0	
	1.18	12.0	-	0	0	8.0	0	0	
湯梨浜	6.20	-	0	-	0	8.0	0	-	
	11.20	0	-	0	4.0	0	0	0	
	1.18	0	-	0	0	0	0	0	
北栄	6.20	-	0	-	0	0	0	-	
	11.20	0	-	0	0	0	0	0	
	1.18	0	-	0	0	0	0	0	

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

### 第4表 巡回ほ場における調査結果（うどんこ病、炭疽病）

地区	調査月日 (月. 日)	調査 ほ場 数	うどんこ病					炭疽病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
湯梨浜	5.27	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.28	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**第5表 巡回ほ場における調査結果（アブラムシ類、ハダニ類）**

地区	調査月日 (月. 日)	調査 ほ場数	アブラムシ類					ハダニ類				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
湯梨浜	5.27	4	2	0	0	1	3	1	0	0	0	1
	6.28	4	0	0	0	2	2	0	0	1	0	1

**カ. ナガイモ（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）**

**第1表 フェロモントラップによるナガイモコガ雄成虫の誘殺数（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）**

月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数
5.1	1.4	7.1	75.0	9.1	320.0
5.2	0.3	7.2	37.3	9.2	990.3
5.3	4.6	7.3	12.9	9.3	1394.9
5.4	5.7	7.4	15.7	9.4	1225.7
5.5	5.7	7.5	87.1	9.5	1318.1
5.6	9.4	7.6	173.0	9.6	1121.0
6.1	3.9	8.1	131.3	10.1	240.0
6.2	3.7	8.2	53.1	10.2	69.7
6.3	5.0	8.3	106.6	10.3	20.0
6.4	11.0	8.4	232.3	10.4	9.3
6.5	12.1	8.5	400.7	10.5	3.0
6.6	11.9	8.6	594.0	10.6	3.0

**キ. ラッキョウ**

**第1表 巡回調査ほ場の概要**

地区	品種	調査場所	調査ほ場数
福部	ラクダ	鳥取市 福部町 細川	2
		〃 〃 海士	1
		〃 〃 浜湯山	2
北栄		東伯郡 北栄町 東新田場	1
		〃 〃 国坂	1
		〃 〃 西園	1
		〃 〃 東園	1
		〃 〃 由良	1

**第2表 巡回調査ほ場における調査結果（白色疫病、灰色かび病）**

地区	調査月日 (年. 月. 日)	調査 ほ場数	白色疫病					灰色かび病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
福部	R3.3.29	5	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1
	R3.12.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R4. 1.21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北栄	R3.3.29	5	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0
	R3.12.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R4. 1.21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	R3.3.29	10	0	0	0	6	6	0	0	0	1	1
	R3.12.2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R4. 1.21	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**第3表 巡回調査ほ場における調査結果（ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ）**

地区	調査月日 (年. 月. 日)	調査 ほ場数	ネギハモグリバエ					ネギアザミウマ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
福部	R3.3.29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R3.12.2	5	0	0	0	3	3	0	0	0	1	1
北栄	R3.3.29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	R3.12.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
合計	R3.3.29	10	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	R3.12.2	10	0	0	0	3	3	0	0	0	5	5

**ク. サトイモ（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）**

**第1表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）**

月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	0.5	7.1	32.1	9.1	43.6
5.2	0.9	7.2	23.1	9.2	19.1
5.3	1.9	7.3	18.9	9.3	12.7
5.4	1.6	7.4	25.7	9.4	52.1
5.5	0.7	7.5	25.1	9.5	52.9
5.6	0.0	7.6	25.5	9.6	52.6
6.1	0.6	8.1	18.3	10.1	50.7
6.2	6.7	8.2	19.4	10.2	31.3
6.3	15.6	8.3	39.9	10.3	22.4
6.4	7.8	8.4	42.4	10.4	16.4
6.5	17.0	8.5	38.6	10.5	7.5
6.6	24.4	8.6	35.0	10.6	7.5

ケ. トマト（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

タバコガ						オオタバコガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	0.0	7.1	3.6	9.1	2.9	5.1	0.0	7.1	1.4	9.1	3.6
5.2	0.0	7.2	4.9	9.2	15.7	5.2	0.0	7.2	1.4	9.2	2.3
5.3	0.0	7.3	5.3	9.3	21.6	5.3	0.0	7.3	2.4	9.3	2.1
5.4	0.0	7.4	3.6	9.4	10.7	5.4	0.0	7.4	6.4	9.4	5.0
5.5	0.0	7.5	8.7	9.5	10.6	5.5	0.0	7.5	4.1	9.5	6.0
5.6	0.0	7.6	8.0	9.6	9.5	5.6	0.0	7.6	3.1	9.6	6.3
6.1	0.0	8.1	6.3	10.1	5.0	6.1	0.0	8.1	1.8	10.1	6.4
6.2	1.0	8.2	10.6	10.2	2.1	6.2	0.0	8.2	1.9	10.2	5.9
6.3	2.5	8.3	18.1	10.3	1.1	6.3	0.0	8.3	15.2	10.3	5.7
6.4	5.2	8.4	14.3	10.4	0.7	6.4	0.0	8.4	15.1	10.4	5.7
6.5	2.3	8.5	5.7	10.5	2.0	6.5	3.4	8.5	10.0	10.5	17.0
6.6	0.0	8.6	10.0	10.6	2.0	6.6	5.6	8.6	4.0	10.6	17.0

### Ⅲ ミバエ類等侵入警戒調査事業

#### 1 事業の目的

新たに国内に侵入し、又は既に国内の一部に存在している有害動物又は有害植物がまん延して有用な植物に重大な損害を与える恐れが生じる。その前に本県への侵入状況を把握し、これらの駆除又はそのまん延防止に資するため、ミバエ類等侵入警戒調査実施要領の定めるところにより、植物防疫所に協力する。本県では、チチュウカイミバエ、コドリング、トマトキバガ、火傷病、スイカ果実汚斑細菌病を対象として侵入警戒調査を実施する。

#### 2 令和4年度調査結果

すべての調査地点において、当該病害虫は発見されなかった。

#### 3 対象害虫

	チチュウカイミバエ	コドリング	トマトキバガ
寄主植物	果樹、果菜類、豆類等	ナシ、リンゴ、モモ等	トマト等ナス科植物
使用トラップ	スタイナー型	SEトラップ	
使用誘引剤	トリメドラルア剤	コドレルア剤	トマトキバガフェロモン剤
調査方法	フェロモントラップによる誘殺数の確認		
トラップの設置場所	風通しの良い木陰等の地上1.5メートル程度の位置（樹園地等）		夏秋トマト施設の出入り口周辺
調査地点	農試調査：鳥取市(1)、八頭町(1)、日吉津村(1) 園試調査：北栄町(1) (計4か所)		園試調査 北栄町(2)
調査期間	令和4年4月～11月		令和4年4月～ 令和5年3月
調査時期	毎月1～2回、15～30日間隔		

#### 4 対象病害

	スイカ果実汚斑細菌病	火傷病
寄主植物	スイカなど	ナシ、リンゴ、オウトウなど
調査方法	スイカの育苗期及び果実肥大期から結実期までについて、病徴の有無を確認調査	主な寄主植物（ナシなど）の開花期及び新梢伸長期から果実の肥大期までについて、病徴の有無を確認調査
調査地点	園試調査 倉吉市(2)、北栄町(10) (計12か所)	園試調査 鳥取市、八頭町、倉吉市、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、大山町、米子市、南部町 (計25か所)
調査期間	令和4年2月～6月	令和4年4月～11月

付表 令和4年 半旬別気象表

1 鳥取市（鳥取地方気象台）

月	半旬	気 温 (°C)					降水量(mm)		日照時間(h)		
		平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年
		本年	平年	本年	平年	本年	平年				
1月	1	3.1	4.9	10.6	8.8	-0.2	1.7	7.0	33.1	9.7	11.3
	2	0.2	4.6	7.8	8.5	-5.4	1.4	25.5	34.1	23.4	11.0
	3	5.2	4.3	14.7	8.2	-1.0	1.2	3.0	34.7	22.1	11.0
	4	3.9	4.1	13.6	7.9	-1.1	0.9	43.5	32.5	16.6	11.0
	5	7.4	3.9	15.4	7.7	-0.7	0.7	25.0	31.0	14.5	11.2
	6	5.6	3.8	16.1	7.6	-1.3	0.7	41.0	37.1	19.3	14.1
	平均(合計)	4.2	4.3	13.0	8.1	-1.6	1.1	145.0	202.5	105.6	69.6
2月	1	6.2	3.9	13.6	7.9	-0.5	0.6	13.0	29.7	13.9	12.7
	2	5.6	4.2	16.5	8.3	0.0	0.6	34.0	29.2	14.5	13.3
	3	10.6	4.5	20.5	8.8	1.5	0.9	19.5	30.0	29.9	14.0
	4	3.8	4.9	17.6	9.3	-2.8	1.1	46.0	28.7	27.8	15.7
	5	9.3	5.4	23.0	10.0	-1.8	1.4	2.5	25.1	36.4	17.4
	6	6.8	5.9	16.2	10.6	-1.5	1.8	2.0	13.9	13.4	10.8
	平均(合計)	7.1	4.8	17.9	9.2	-0.9	1.1	117.0	156.6	135.9	83.9
3月	1	10.2	6.4	20.1	11.2	1.1	2.1	52.0	23.5	20.1	18.3
	2	7.0	6.8	13.0	11.8	-0.3	2.4	0.0	23.8	18.6	19.3
	3	9.4	7.5	17.1	12.7	-0.8	2.7	30.5	22.9	26.3	20.9
	4	10.6	8.3	19.2	13.5	0.8	3.2	3.5	22.6	34.1	22.3
	5	10.9	8.9	20.6	14.2	1.9	3.8	39.5	23.0	25.7	23.0
	6	13.5	9.7	23.4	15.1	2.1	4.5	4.0	26.9	44.3	29.1
	平均(合計)	10.3	7.9	18.9	13.1	0.8	3.1	129.5	142.7	169.1	132.9
4月	1	14.6	10.7	25.8	16.3	4.6	5.4	26.5	20.5	34.9	26.3
	2	10.1	11.7	19.3	17.4	1.0	6.3	0.0	17.8	41.2	27.7
	3	13.1	12.7	23.2	18.4	1.5	7.2	5.5	16.5	30.6	28.8
	4	13.6	13.7	23.3	19.4	4.7	8.1	31.0	16.0	33.8	29.5
	5	14.8	14.6	25.6	20.3	5.8	9.0	0.0	15.7	46.0	30.7
	6	14.3	15.6	23.9	21.4	3.8	10.0	41.5	15.5	28.5	32.4
	平均(合計)	13.4	13.2	23.5	18.9	3.6	7.7	104.5	102.0	215.0	175.4
5月	1	15.2	16.6	26.8	22.4	7.7	11.0	31.5	16.8	26.8	32.9
	2	17.4	17.2	23.7	22.9	8.4	11.6	2.5	21.2	35.3	32.2
	3	19.5	17.6	29.1	23.3	10.0	12.2	3.5	22.7	25.6	32.1
	4	19.6	18.3	25.4	24.0	15.1	13.0	58.5	19.7	6.0	33.3
	5	19.5	19.1	27.2	24.8	13.4	13.8	27.0	18.0	21.5	33.8
	6	18.7	19.7	27.5	25.2	10.9	14.7	23.0	21.9	49.2	39.3
	平均(合計)	18.3	18.1	26.6	23.8	10.9	12.7	146.0	120.3	164.4	203.6
6月	1	21.3	20.3	27.9	25.7	12.5	15.5	26.0	17.4	26.8	31.0
	2	23.3	21.0	33.3	26.2	15.9	16.5	0.0	17.7	51.8	28.5
	3	23.7	21.7	29.4	26.6	20.1	17.5	60.5	20.6	14.1	26.4
	4	21.6	22.3	26.4	27.1	17.8	18.4	34.5	25.0	10.4	24.5
	5	22.3	23.0	32.5	27.6	15.6	19.3	0.5	30.8	39.8	21.9
	6	23.6	23.8	30.6	28.2	18.8	20.3	4.0	36.0	11.1	20.2
	平均(合計)	22.6	22.0	30.0	26.9	16.8	17.9	125.5	147.5	154.0	152.5

月 半旬	気 温 (°C)						降水量(mm)		日照時間(h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
7 月	1	28.8	24.6	34.6	28.9	24.6	21.1	27.0	39.2	33.1	20.3
	2	27.3	25.2	31.9	29.6	24.3	21.8	12.0	39.4	20.5	21.4
	3	25.9	25.8	30.1	30.4	23.1	22.3	110.5	36.8	12.9	23.9
	4	26.1	26.4	30.7	31.2	23.1	22.6	76.5	30.2	17.6	28.5
	5	26.5	27.1	31.4	32.0	22.5	23.1	13.5	22.2	18.4	32.4
	6	29.9	27.7	35.0	32.8	25.7	23.7	0.0	20.2	50.9	41.3
平均 (合計)	27.4	26.1	32.3	30.8	23.9	22.4	239.5	188.0	153.4	167.8	
8 月	1	30.3	28.0	35.6	33.2	26.7	24.0	0.0	15.8	44.7	35.9
	2	29.7	27.9	35.9	33.3	25.6	23.9	35.5	18.6	36.0	35.1
	3	29.2	27.6	33.6	32.9	25.5	23.6	18.5	21.4	16.6	33.2
	4	27.2	27.2	32.3	32.5	23.5	23.2	40.0	22.4	18.7	32.0
	5	26.8	26.8	31.2	32.0	23.8	22.7	15.0	22.9	12.6	30.9
	6	26.0	26.1	31.7	31.2	21.4	22.1	18.0	32.0	43.7	34.6
平均 (合計)	28.2	27.3	33.4	32.5	24.4	23.3	127.0	133.1	172.3	201.7	
9 月	1	26.0	25.2	29.7	30.3	23.0	21.4	81.0	34.2	20.9	26.6
	2	24.7	24.3	28.9	29.3	21.6	20.5	21.0	38.2	10.1	25.2
	3	26.6	23.5	32.4	28.4	22.9	19.6	0.0	38.4	36.7	24.2
	4	26.2	22.5	31.4	27.4	21.3	18.6	30.0	37.7	16.9	23.3
	5	21.4	21.4	27.0	26.3	16.6	17.4	6.0	35.8	17.5	22.8
	6	21.2	20.5	26.3	25.4	17.2	16.4	41.0	33.2	31.7	22.3
平均 (合計)	24.4	22.9	29.3	27.9	20.4	19.0	179.0	217.5	133.8	144.4	
10 月	1	22.0	19.7	27.7	24.6	16.2	15.5	13.5	29.4	31.0	22.0
	2	16.6	18.8	20.8	23.8	13.0	14.5	27.5	25.6	7.5	22.8
	3	17.1	17.8	22.8	23.0	12.8	13.4	0.0	24.8	23.5	24.1
	4	16.1	16.7	21.8	22.0	11.6	12.3	14.0	27.0	25.0	24.5
	5	16.2	15.8	21.6	21.1	11.9	11.4	53.0	27.4	23.9	24.1
	6	13.4	14.9	20.0	20.1	8.6	10.5	0.0	28.6	35.7	27.8
平均 (合計)	16.9	17.3	22.5	22.4	12.4	12.9	108.0	162.8	146.6	145.3	
11 月	1	14.3	14.1	18.7	19.3	10.7	9.6	14.5	20.8	19.0	22.6
	2	13.1	13.4	20.5	18.5	7.8	9.0	0.0	21.4	41.2	21.0
	3	15.4	12.4	20.6	17.2	10.5	8.2	13.0	24.7	22.2	18.7
	4	11.5	11.3	18.7	16.0	6.4	7.2	0.5	26.2	34.1	17.2
	5	13.6	10.4	17.4	15.1	9.8	6.4	24.5	25.2	18.9	16.4
	6	14.6	9.7	20.0	14.3	9.7	5.7	25.5	26.2	16.5	15.7
平均 (合計)	13.8	11.9	19.3	16.7	9.2	7.7	78.0	144.5	151.9	111.6	
12 月	1	6.7	8.8	10.3	13.2	3.6	4.9	21.0	30.1	10.1	14.9
	2	8.3	7.8	13.6	12.0	4.1	4.1	3.0	34.6	22.0	14.2
	3	6.8	6.9	10.7	11.0	4.1	3.4	43.0	36.2	8.4	13.3
	4	2.4	6.4	5.0	10.4	-0.2	2.8	22.0	35.2	3.4	12.9
	5	4.0	6.0	7.6	9.9	0.1	2.5	20.0	34.5	11.5	12.4
	6	5.3	5.4	9.3	9.3	2.4	2.0	8.5	41.1	10.2	14.2
平均 (合計)	5.6	6.9	9.4	11.0	2.4	3.3	117.5	211.7	65.6	81.9	

2 北栄町（園芸試験場）

平年値：昭和52年～令和3年の平均値  
降水量・日照時間：倉吉アメダス観測データ

月 半旬	気 温 (°C)						降水量 (mm)		日照時間 (h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
1 月	1	3.5	4.9	6.3	8.5	0.8	1.6	11.5	26.4	11.2	12.6
	2	5.4	4.8	10.1	8.9	2.1	1.3	10.0	24.8	24.7	14.5
	3	2.5	4.2	5.7	8.1	0.1	0.9	46.5	28.5	7.2	13.7
	4	3.3	4.2	6.0	8.1	0.9	0.9	36.0	24.3	9.0	13.9
	5	3.9	3.7	6.6	7.5	1.2	0.4	8.0	26.8	6.1	13.6
	6	4.4	3.9	8.2	8.0	1.5	0.5	39.5	26.2	9.1	18.8
平均 (合計)	3.8	4.3	7.2	8.2	1.1	0.9	151.5	157.0	67.3	87.1	
2 月	1	3.2	3.5	6.9	7.6	0.9	0.0	10.0	21.2	16.4	14.9
	2	3.2	3.9	7.3	8.5	0.5	-0.1	11.0	23.2	20.1	17.2
	3	5.7	4.9	9.9	9.6	1.8	0.8	2.0	20.4	22.7	16.6
	4	1.3	4.2	4.4	8.8	-1.3	0.2	38.5	24.5	5.2	17.8
	5	1.0	5.1	3.8	9.5	-1.9	1.1	28.0	18.0	7.1	19.0
	6	6.2	5.4	11.0	10.2	1.7	0.9	0	11.7	20.2	13.1
平均 (合計)	3.4	4.5	7.2	9.0	0.3	0.5	89.5	118.9	91.7	98.5	
3 月	1	7.9	5.8	12.9	10.5	3.5	1.5	8.5	23.6	22.2	19.8
	2	5.9	6.4	10.7	11.6	1.8	1.7	0	17.2	36.7	21.0
	3	13.3	6.9	18.7	12.4	8.8	1.7	21.0	18.3	24.9	23.9
	4	8.2	8.0	11.4	13.4	5.4	2.5	49.5	17.6	15.9	25.2
	5	8.6	7.9	13.8	13.2	3.7	2.8	6.5	22.4	26.4	24.8
	6	12.5	9.0	17.4	14.4	8.1	3.4	10.5	20.5	33.3	32.7
平均 (合計)	9.4	7.3	14.2	12.6	5.2	2.3	96.0	119.5	159.4	147.4	
4 月	1	8.2	10.0	13.2	15.8	3.0	4.2	0	18.0	48.8	31.3
	2	13.5	11.3	19.8	16.9	7.2	5.7	0	16.9	50.4	28.7
	3	15.5	11.6	19.6	16.8	12.2	5.9	36.0	20.3	18.0	29.8
	4	11.5	12.8	18.2	18.7	3.9	7.1	0	18.8	51.2	33.6
	5	16.7	13.5	22.4	19.2	11.8	8.1	11.0	13.6	25.8	34.2
	6	14.1	14.6	17.3	20.6	10.3	8.4	63.0	13.8	24.2	37.4
平均 (合計)	13.3	12.3	18.4	18.0	8.1	6.6	110.0	101.5	218.4	195.1	
5 月	1	13.2	15.7	19.6	21.3	5.8	9.8	0	13.7	47.5	34.6
	2	15.7	16.4	20.9	22.0	10.1	10.7	0.5	15.8	38.8	35.6
	3	17.3	16.5	21.5	21.8	13.5	10.9	15.0	27.6	14.5	33.1
	4	17.6	17.0	24.5	22.7	10.7	11.4	0	23.1	40.4	35.3
	5	18.9	17.9	24.3	23.6	12.3	12.2	0	13.5	49.3	38.0
	6	20.5	18.6	26.8	23.9	14.4	13.4	7.5	19.4	46.3	41.5
平均 (合計)	17.2	17.0	22.9	22.5	11.1	11.4	23.0	113.2	236.8	218.0	
6 月	1	19.6	19.3	25.2	24.8	13.5	14.0	5.0	15.8	43.5	37.9
	2	18.3	20.1	21.6	25.1	15.1	15.4	18.5	17.1	29.2	33.4
	3	19.5	20.6	22.6	25.3	16.3	16.3	6.5	21.3	16.2	30.5
	4	23.0	21.5	28.7	25.9	18.1	17.4	1.5	23.5	46.5	29.5
	5	26.1	21.7	31.4	25.8	21.1	18.0	22.5	43.8	29.6	25.4
	6	28.1	22.8	33.8	26.7	23.6	19.4	3.5	42.4	46.5	23.1
平均 (合計)	22.4	21.0	27.2	25.6	18.0	16.7	57.5	163.0	211.5	179.7	

月 半旬	気 温 (°C)						降水量 (mm)		日照時間 (h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
7 月	1	27.4	23.5	32.4	27.6	23.7	20.2	22.0	42.3	32.1	23.5
	2	25.7	24.1	29.6	28.3	23.0	20.4	8.0	42.9	21.2	26.8
	3	25.0	25.0	28.4	29.2	22.7	21.5	71.5	42.4	9.6	24.4
	4	24.7	25.1	29.6	29.5	21.5	21.4	105.0	33.8	15.6	31.1
	5	25.3	26.3	30.0	31.0	21.3	22.4	10.0	18.9	14.2	36.5
	6	28.5	26.6	32.1	31.3	24.8	22.6	0	13.5	48.5	46.0
平均 (合計)	26.1	25.1	30.4	29.5	22.8	21.4	216.5	193.8	141.2	188.4	
8 月	1	29.6	27.5	34.6	31.9	25.6	22.8	1.5	15.8	47.5	41.3
	2	28.6	26.8	34.5	31.6	24.7	22.7	39.5	22.4	34.8	36.3
	3	28.5	26.5	32.9	31.4	25.1	22.5	32.0	26.0	16.8	34.4
	4	26.3	26.1	31.5	31.0	22.5	22.4	92.0	19.0	18.4	35.0
	5	25.8	25.8	29.4	30.6	22.9	21.9	10.5	25.1	12.3	30.2
	6	24.9	25.5	29.7	30.5	20.3	21.6	40.0	28.1	39.0	38.8
平均 (合計)	27.3	26.4	32.1	31.2	23.5	22.3	215.5	136.4	168.8	215.9	
9 月	1	25.3	24.6	29.2	29.4	22.1	20.6	91.5	38.6	20.1	30.8
	2	23.8	23.5	27.7	28.1	20.2	19.7	26.0	42.4	6.6	26.3
	3	25.1	22.7	28.7	27.4	22.4	18.9	0	31.7	27.1	25.4
	4	24.7	21.9	28.6	26.6	21.0	17.7	28.5	41.1	10.8	26.0
	5	20.1	20.7	24.6	25.3	15.3	16.7	1.5	36.8	16.5	22.8
	6	20.0	20.0	23.9	24.6	16.1	15.7	73.0	41.0	28.4	24.2
平均 (合計)	23.2	22.2	27.1	26.9	19.5	18.2	220.5	231.7	109.5	155.6	
10 月	1	21.0	19.1	25.8	24.0	15.3	14.4	20.5	25.4	25.9	25.6
	2	16.5	18.3	20.2	23.3	12.6	13.7	13.5	21.9	5.7	26.7
	3	16.3	17.4	21.1	22.6	11.4	12.8	0.5	27.3	24.2	24.8
	4	15.4	16.0	20.4	21.3	11.1	11.0	53.0	36.9	23.7	27.2
	5	15.2	15.2	20.6	20.7	10.2	10.4	40.5	27.1	24.5	26.3
	6	13.2	14.5	18.8	19.8	7.9	9.5	0	20.3	34.4	29.7
平均 (合計)	16.3	16.7	21.2	22.0	11.4	12.0	128.0	158.9	138.4	160.3	
11 月	1	13.6	13.4	17.6	19.1	9.3	8.5	14.0	27.2	20.9	24.2
	2	12.3	13.5	19.8	18.7	6.7	8.8	0	21.4	42.3	22.8
	3	14.7	12.0	20.0	17.1	9.1	7.6	21.5	30.9	24.8	18.4
	4	10.7	10.8	17.8	16.0	5.5	6.4	0.5	21.0	34.4	18.7
	5	12.8	10.0	17.1	15.4	8.8	5.4	24.0	20.5	18.4	19.0
	6	14.0	9.3	19.2	14.0	8.5	5.1	25.5	30.2	17.8	16.6
平均 (合計)	13.0	11.5	18.6	16.7	8.0	7.0	85.5	151.1	158.6	119.7	
12 月	1	7.3	8.4	10.9	13.4	3.6	4.1	12.5	23.6	11.0	17.8
	2	8.2	7.7	13.2	12.4	3.8	3.7	0.5	25.4	24.2	17.0
	3	6.8	7.0	10.6	11.3	4.0	3.2	41.5	29.5	7.4	14.5
	4	2.8	6.2	5.4	10.4	0.0	2.5	11.0	24.5	3.8	14.4
	5	3.5	6.4	6.9	10.6	-0.2	2.5	21.0	22.9	4.9	15.0
	6	5.8	5.2	9.1	9.3	3.2	1.6	17.0	30.6	15.2	17.0
平均 (合計)	5.7	6.8	9.4	11.2	2.4	2.9	103.5	156.4	66.5	95.6	

<本業務年報中の表における注意事項>

表中に記載されている「-」及び「空欄」は、「調査未実施」もしくは「データの蓄積年数が少ないことによる平年値の省略」を示す。

---

## 鳥取県病虫害防除所

〒680-1142 鳥取市橋本260  
TEL : (0857) 53-1345  
FAX : (0857) 53-0723  
E-mail : byougaichu@pref.tottori.lg.jp

<ホームページアドレス>  
<http://www.jppn.ne.jp/tottori/>

---